

平成30年度

子ども・子育て県民意識調査報告書



平成31年1月

大分県福祉保健部 こども未来課

《目 次》

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査期間	2
3. 調査方法	2
4. 調査対象者	2
5. 回収率	3
6. 報告書の見方	4
7. 回答者の属性	5
第2章 調査結果	7
1 子どもと家族の状況	
同居・近居の状況	8
日頃、子どもを預かってもらえる人の有無	9
子どもの身の回りの世話などを主にしている人	9
2 生活状況や子育て環境	
(1) 少子化・子育てに対する意識	
理想とする子どもの数と実際に予定している子どもの数	10
理想よりも予定の子ども数の方が少ない理由	12
ゆったりとした気分で、お母さんが子どもと過ごす時間の有無	13
週に朝食を食べる回数	14
朝食・夕食を一緒に食べる相手	15
(2) 子育てについての不安・悩み・地域のかかわり	
子育てについて、気軽に相談できる人の有無	16
子育てが地域の人に支えられていると感じている割合	16
希望した時期や時間での保育・子育て支援サービスの利用の可否	17
子どもを育てていて良かったと思うこと	18
妊娠期から出産までの環境や支援についての満足感・充実感	19
乳幼児健診を受けての安心感や満足感の有無	19
子どもが生まれる前におむつ替えや食事をさせた経験の有無	20
子育てに関する情報の入手先	21
子育てにかかる費用について負担が大きいと感じているもの	22

(3) 子育てと仕事の両立の推進	
「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の周知度	23
現在の就労状況	24
勤務先における産前産後休暇や育児休業制度の有無と利用のしやすさ	25
育児休業制度の利用状況	26
病気の回復期の対応	27
父親・母親の子育てに関する役割分担の理想と現実の姿	28
父親の育児・家事の参画分野	30
父親の育児・家事の参画時間	32
父親の子育てへの参画の割合が低い理由	34
父親の子育てへの参画を進めるために必要なこと	35
(4) 子育て支援策の評価・期待	
子育て支援サービスの周知度	36
住んでいる地域の子育てのしやすさ	38
住んでいる地域が子育てしやすいと感じる理由	39
住んでいる地域が子育てしやすいと感じない理由	40
子ども・子育て支援において重要であるとするもの	41
「結婚・子育てポジティブキャンペーン」の認知度	43
(5) その他の具体的内容	
問3 子どもとの同居・近居の状況	44
問5 子どもの身の回りの世話などを主にしている人	45
問15 子どもを育てていてよかったと思うこと	45
問19 子育てに関する情報の入手先	46
問20 子育てにかかる費用について負担が大きいと感じているもの	46
問25 病気の回復期の対応	46
問27 父親の育児・家事の参画分野	53
問29 父親の子育てへの参画の割合が低い理由	54
問30 父親の子育てへの参画を進めるために必要なこと	57
問33 住んでいる地域が子育てしやすいと感じる理由	59
問34 住んでいる地域が子育てしやすいと感じない理由	60
問35 子ども・子育て支援において重要であるとするもの	62

第3章 資料	63
調査結果データ (H30年度)	64
調査依頼状 (就学前児童・小学生用)	87
調査票 (就学前児童用)	88
調査票 (小学生用)	103

第 1 章

調査の概要

1. 調査の目的

子育て満足度日本一の実現に向け、「おおいた子ども・子育て応援プラン（第3期計画）」に基づく各種施策の充実を図るため、プランをきめ細かく評価し、着実に推進するために、皆さまの子育てに関する生活実態や子育て支援に対するご意見・ご要望などを毎年お伺いしているもので、プランの総合的な評価等の進捗状況を把握することを目的に実施しました。

2. 調査期間

平成30年11月15日～平成30年11月30日

3. 調査方法

郵送による配布・回収

4. 調査対象者

就学前児童の保護者及び小学生（就学児童）の保護者 計3,000名

1. 就学前児童の保護者

県下18市町村において、0歳～5歳までの未就学児童2,020人の保護者を無作為抽出

2. 小学生（就学児童）の保護者

県下18市町村において、小学校1年～6年生までの児童980人の保護者を無作為抽出

5. 回収率

(1) 今回及び過去の調査における全体の配布・回収・回収率

調査年度		配布部数	回収数	有効回答数	回収率	有効回収率
H30年度 (今回)	就学前児童	2,020	976	976	48.3%	48.3%
	小学生	980	425	425	43.4%	43.4%
	計	3,000	1,401	1,401	46.7%	46.7%
H29年度	就学前児童	2,020	1,016	1,015	50.3%	50.2%
	小学生	980	436	436	44.5%	44.5%
	計	3,000	1,452	1,451	48.4%	48.4%
H28年度	就学前児童	2,020	1,002	1,002	49.6%	49.6%
	小学生	980	446	446	45.5%	45.5%
	計	3,000	1,448	1,448	48.3%	48.3%
H27年度	就学前児童	2,020	1,076	1,076	53.3%	53.3%
	小学生	980	523	523	53.4%	53.4%
	計	3,000	1,599	1,599	53.3%	53.3%
H23年度	就学前児童	1,600	760	759	47.5%	47.4%
	小学生	1,400	657	652	46.9%	46.6%
	計	3,000	1,417	1,411	47.2%	47.0%

(2) 今回調査における自治体別配布・回収・回収率

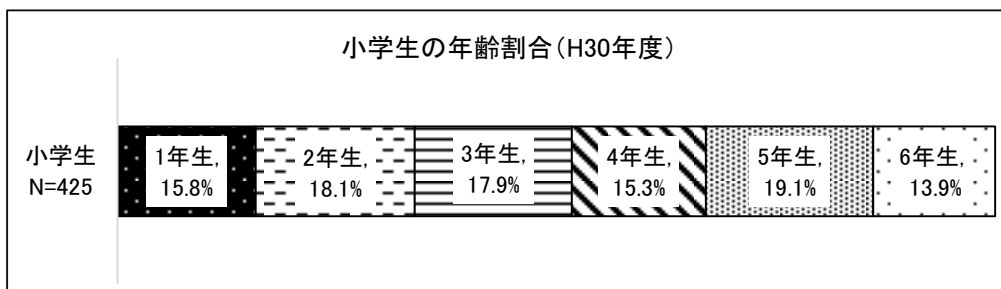
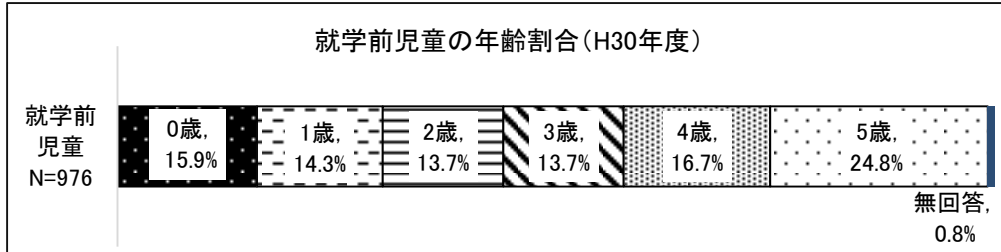
H30年度 自治体名	就学前児童			小学生		
	配布数	有効回答数	有効回収率	配布数	有効回答数	有効回収率
大分市	260	146	56.2%	140	71	50.7%
別府市	200	98	49.0%	100	48	48.0%
中津市	200	90	45.0%	100	42	42.0%
日田市	200	105	52.5%	100	39	39.0%
佐伯市	200	104	52.0%	100	45	45.0%
臼杵市	70	30	42.9%	30	14	46.7%
津久見市	70	32	45.7%	30	11	36.7%
竹田市	70	29	41.4%	30	16	53.3%
豊後高田市	70	27	38.6%	30	12	40.0%
杵築市	70	35	50.0%	30	15	50.0%
宇佐市	200	91	45.5%	100	45	45.0%
豊後大野市	70	36	51.4%	30	11	36.7%
由布市	70	41	58.6%	30	11	36.7%
国東市	70	31	44.3%	30	8	26.7%
姫島村	10	0	0.0%	10	0	0.0%
日出町	70	31	44.3%	30	12	40.0%
九重町	50	16	32.0%	30	15	50.0%
玖珠町	70	30	42.9%	30	10	33.3%
不明	0	4	—	0	0	—
全体	2,020	976	48.3%	980	425	43.4%

6. 報告書の見方

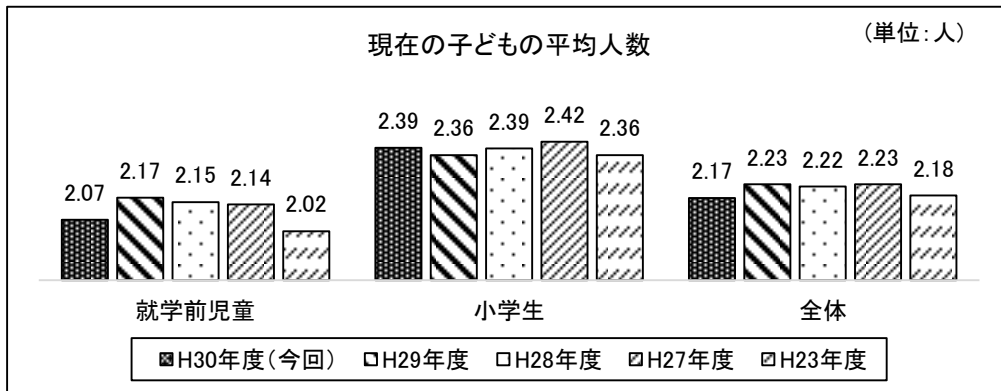
- (1) 回答結果の割合（％）は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、合計値が100.0％にならない場合があります。
- (2) 複数回答（複数の回答選択肢から二つ以上の選択肢を選ぶ）の設問の場合、選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0％を超える場合があります。
- (3) 表、グラフにおいて「無回答」とあるものは、回答がない、もしくは回答の判別が困難なものです。
- (4) グラフに表示している「N」は、有効回答総数、もしくはその設問に答えるべき該当者数を表しています。
- (5) 本文中の表、グラフにおいて、設問の選択肢が長い文章の場合、簡略化して表示している場合があります。
- (6) 本文中の表、グラフにおいて、平成23年12月、平成27年12月、平成28年1月、平成29年1月、平成30年1月実施の「子ども・子育て県民意識調査」を参考データとして表示しています。
- (7) 今回の調査結果を（6）の過去4回の調査と比較している所がありますが、標本数が異なる点に留意する必要があります。

7. 回答者の属性

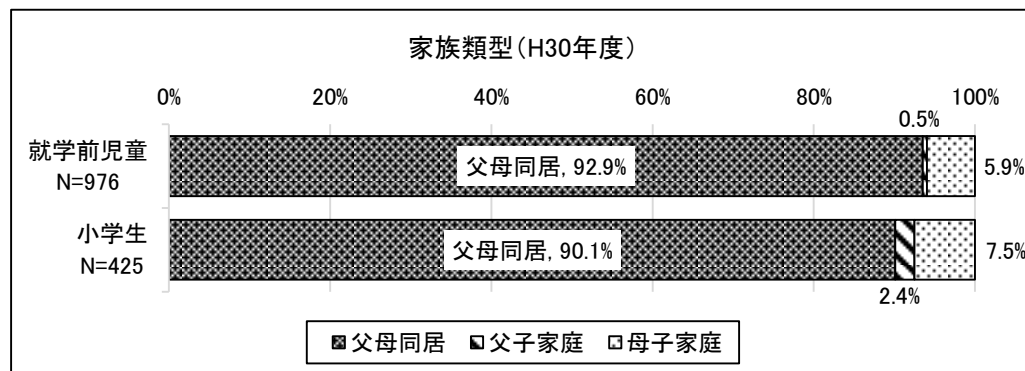
(1) 調査対象となる子どもの年齢と学年



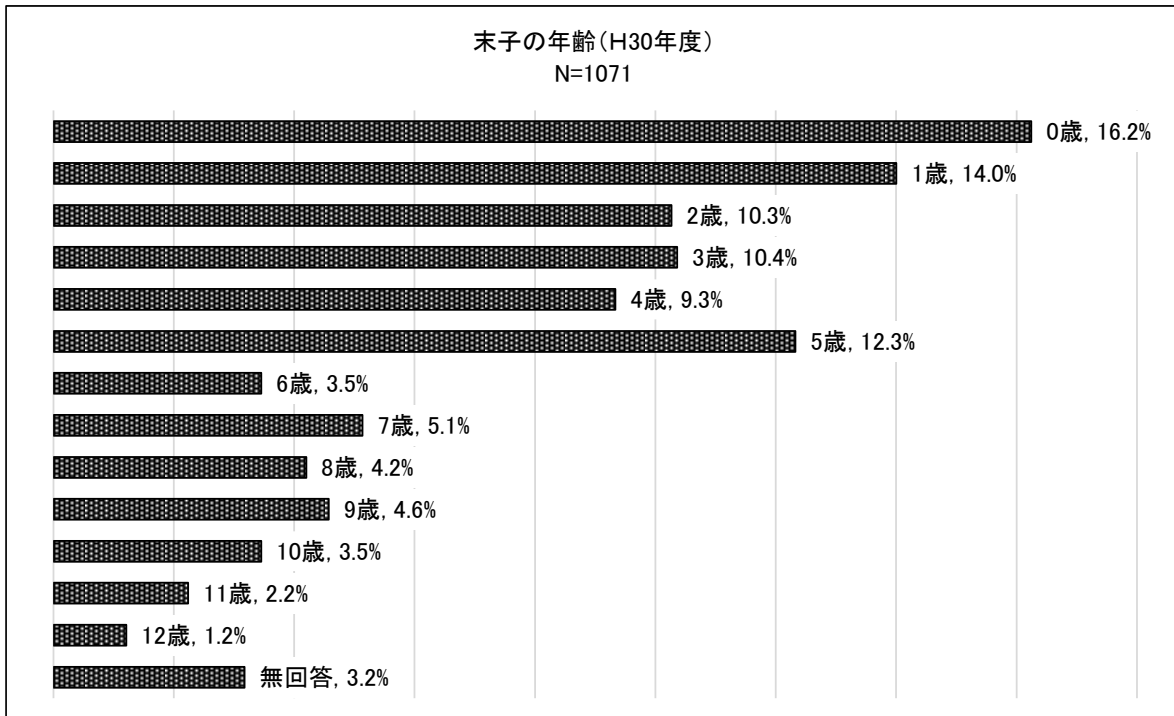
(2) 現在の子どもの平均人数



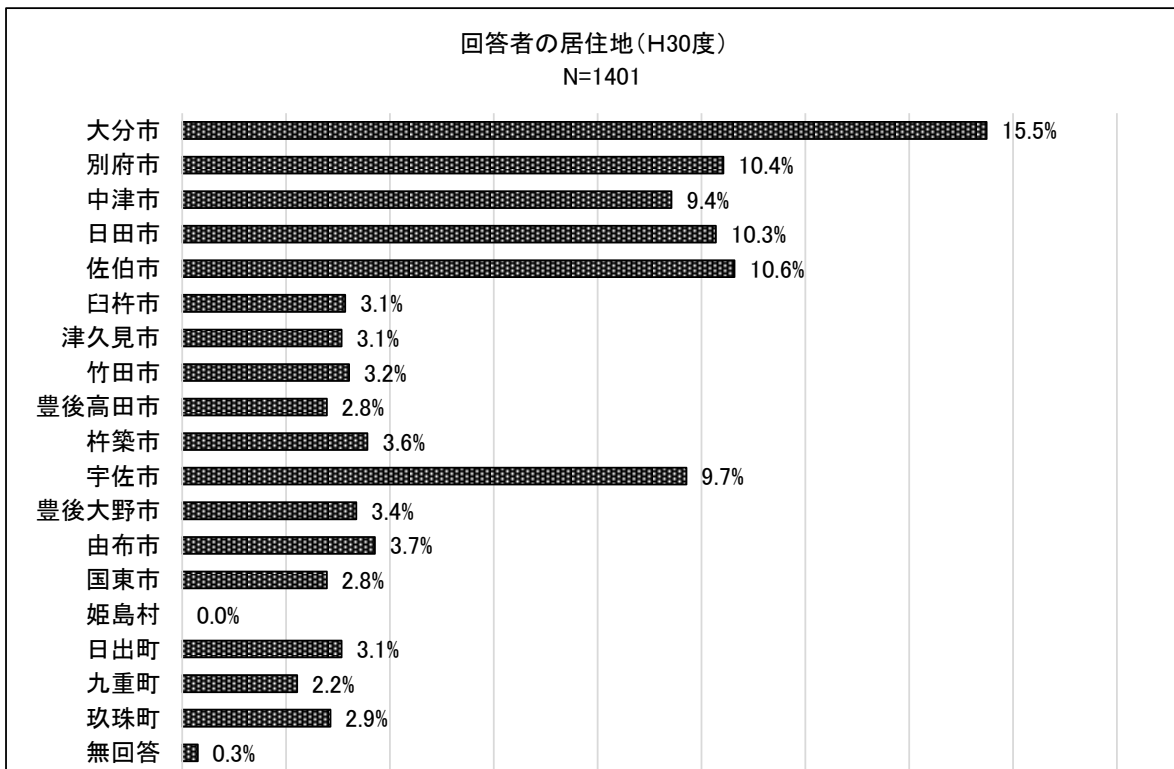
(3) 家族類型



(4) 末子の年齢（子どもが2人以上いる場合の末子年齢）



(5) 回答者の居住地

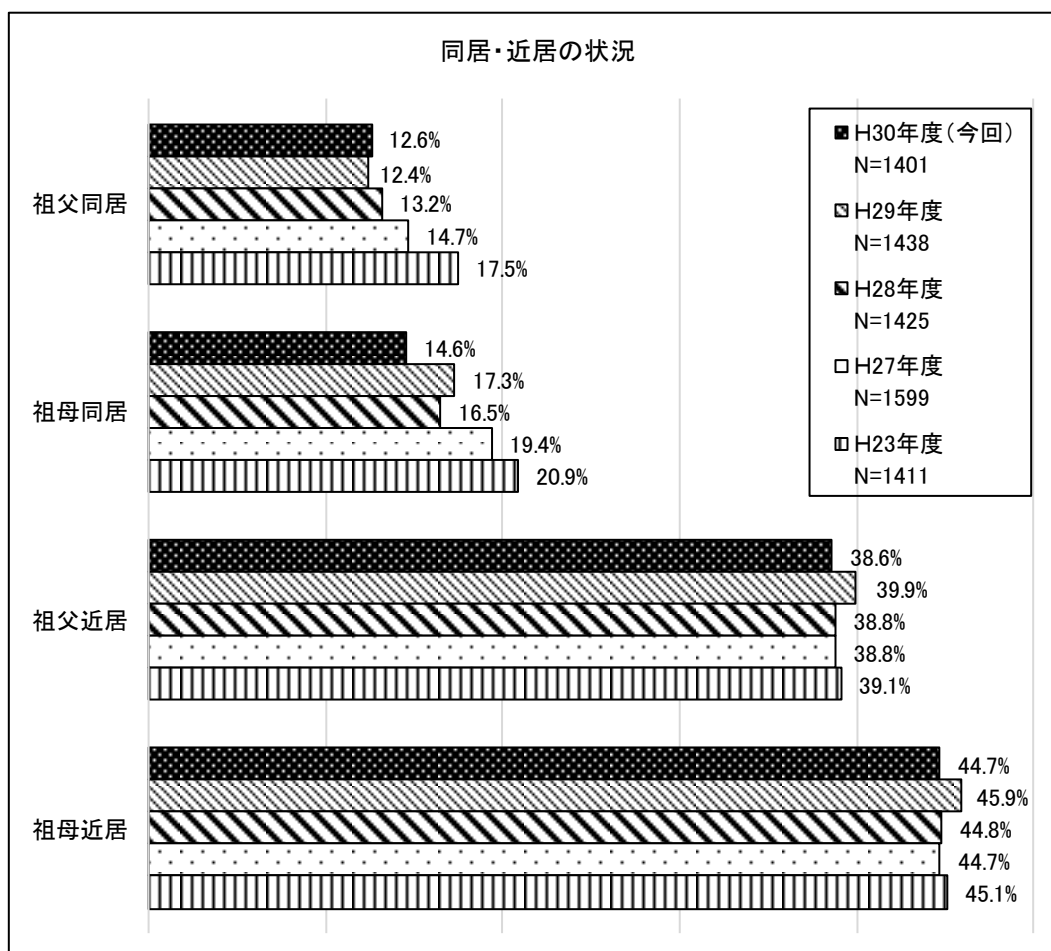


第2章 調査結果

1 子どもと家族の状況

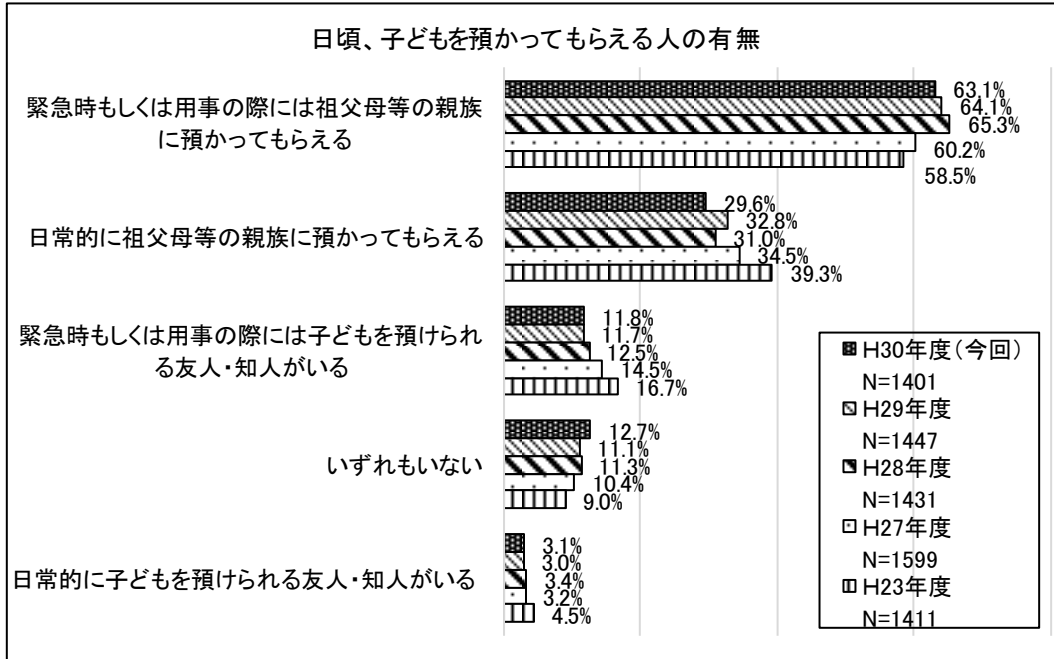
同居・近居の状況（問3 複数回答）

- 同居状況をみると、祖父同居は12.6%とH29年度よりやや増加しています。祖母同居は14.6%と過去4回の調査と比較しても減少しています。
- 近居状況をみると、祖父近居は38.6%、祖母近居は44.7%とH29年度より減少していますが、過去の調査と比較するとほぼ同様となっています。



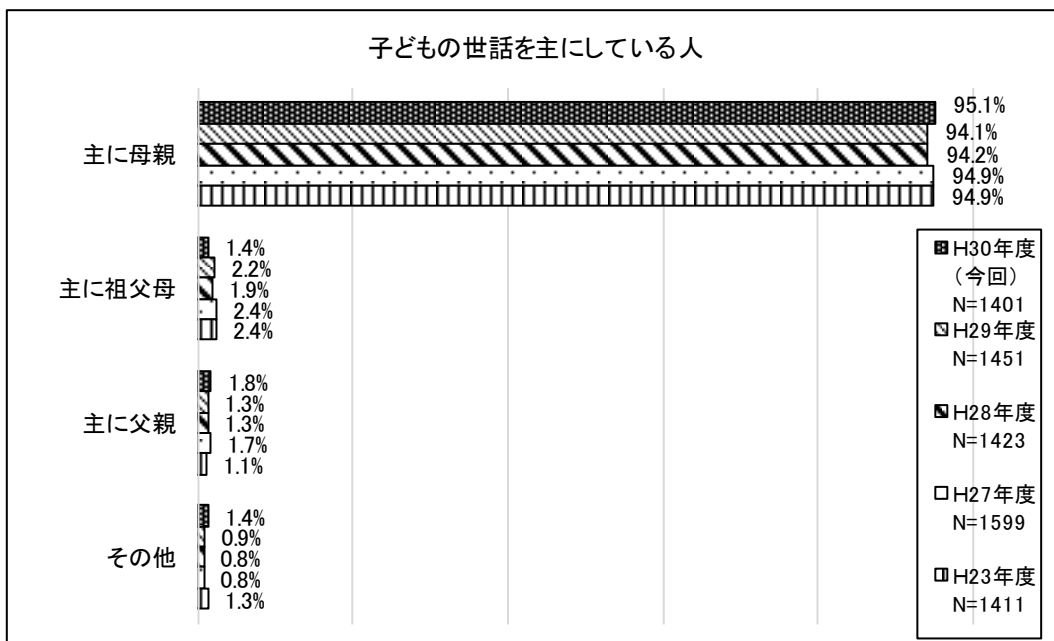
日頃、子どもを預かってもらえる人の有無（問4 複数回答）

- 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に子どもを預ってもらえる人は 63.1%と、前回調査よりやや減少しています。一方で、預ける人がいずれもない人は 12.7%と前回調査よりやや増加しています。



子どもの身の回りの世話などを主にしている人（問5）

- 子どもの身の回りの世話などを主にしている人は母親が 95.1%と、過去の調査とほぼ同様となっています。



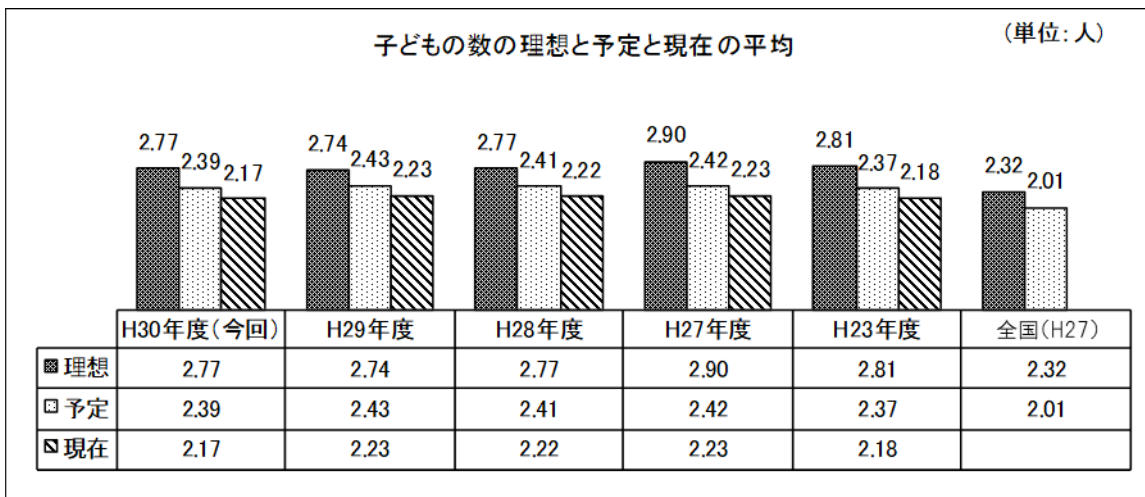
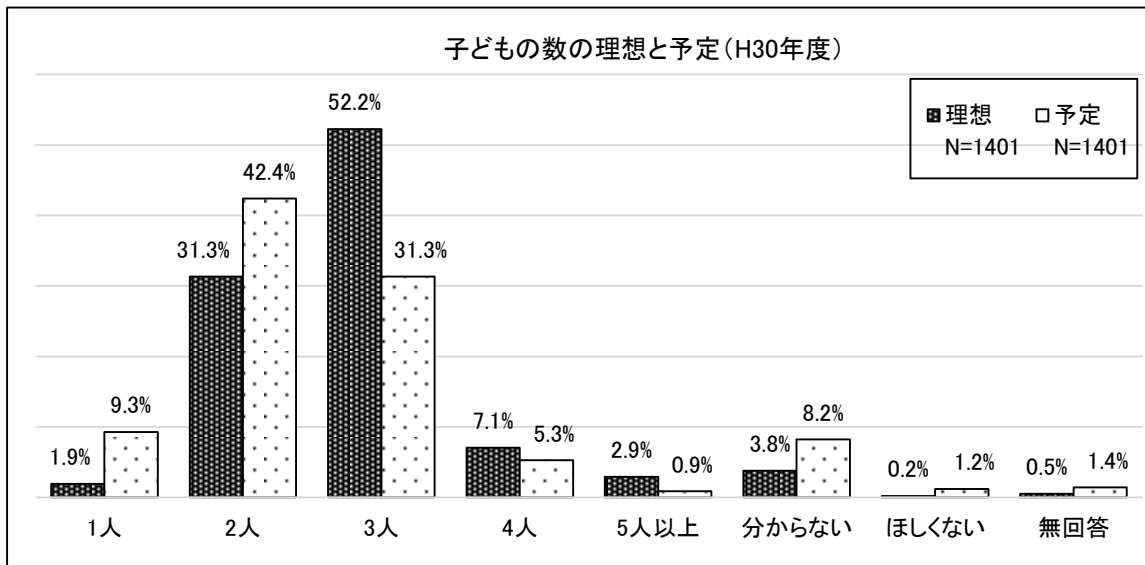
※無回答者数はグラフ内には表示していません。

2 生活状況や子育て環境

(1) 少子化・子育てに対する意識

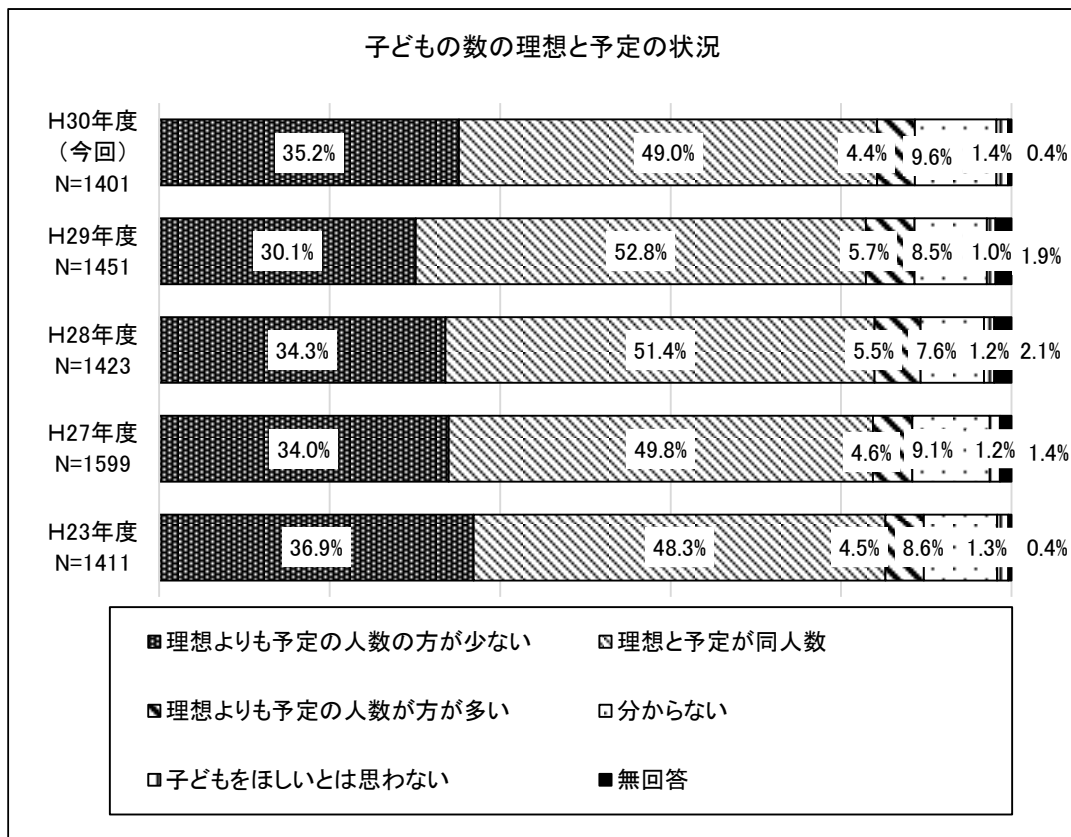
理想とする子どもの数と実際に予定している子どもの数（問7）

- 過去の調査同様に、子どもの人数については、理想は3人が最も多く、予定は2人が最も多くなっています。
- 理想の子どもの数の平均は2.77人、予定の平均は2.39人、現在の平均は2.17人となっています。



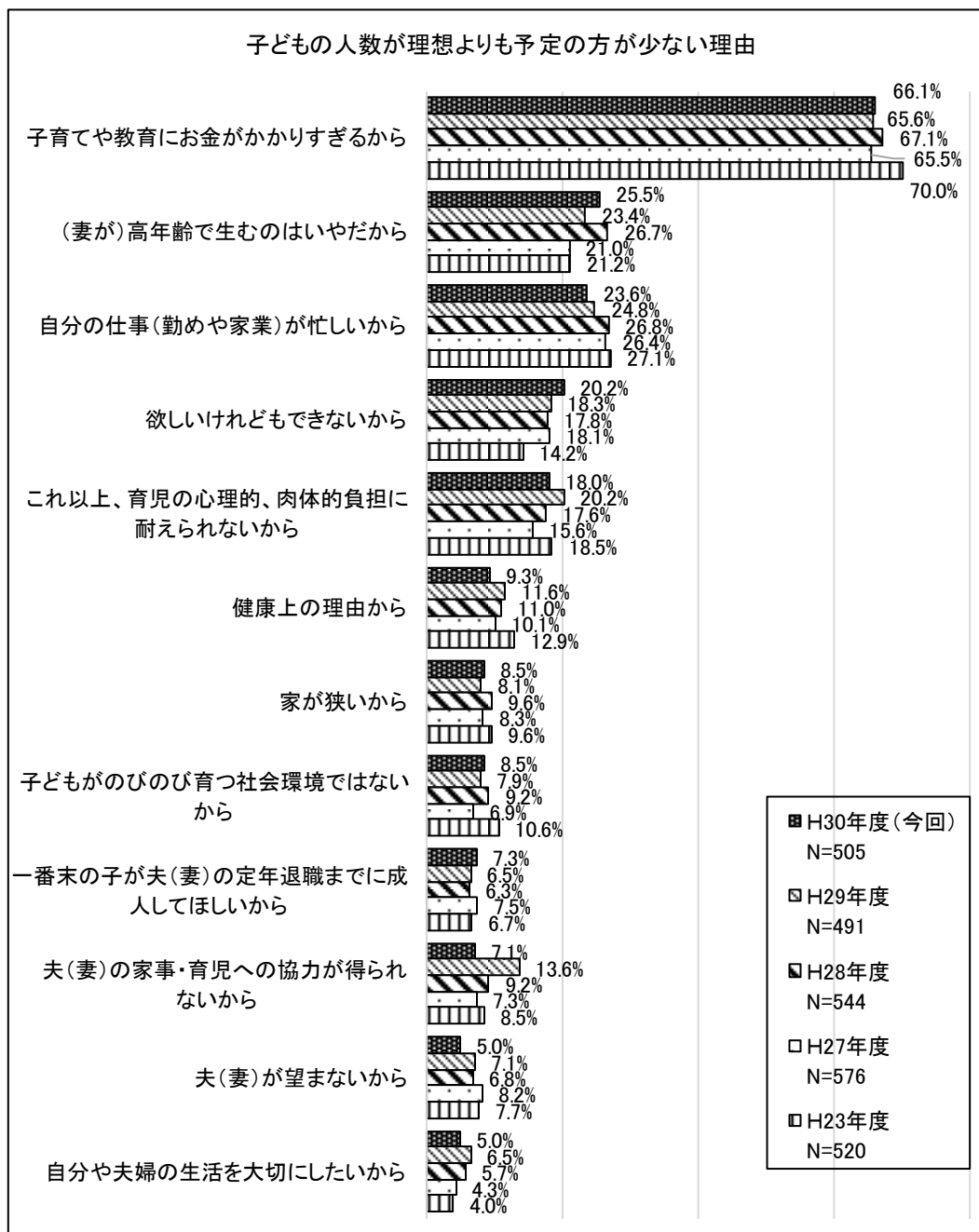
出典: 全国は「第15回出生動向基本調査(国立社会保障・人口問題研究所)」2015年より抜粋

- 子どもの数について、過去の調査同様に「理想と予定が同人数」49.0%が最も多く、次いで「理想よりも予定の人数の方が少ない」35.2%となっています。



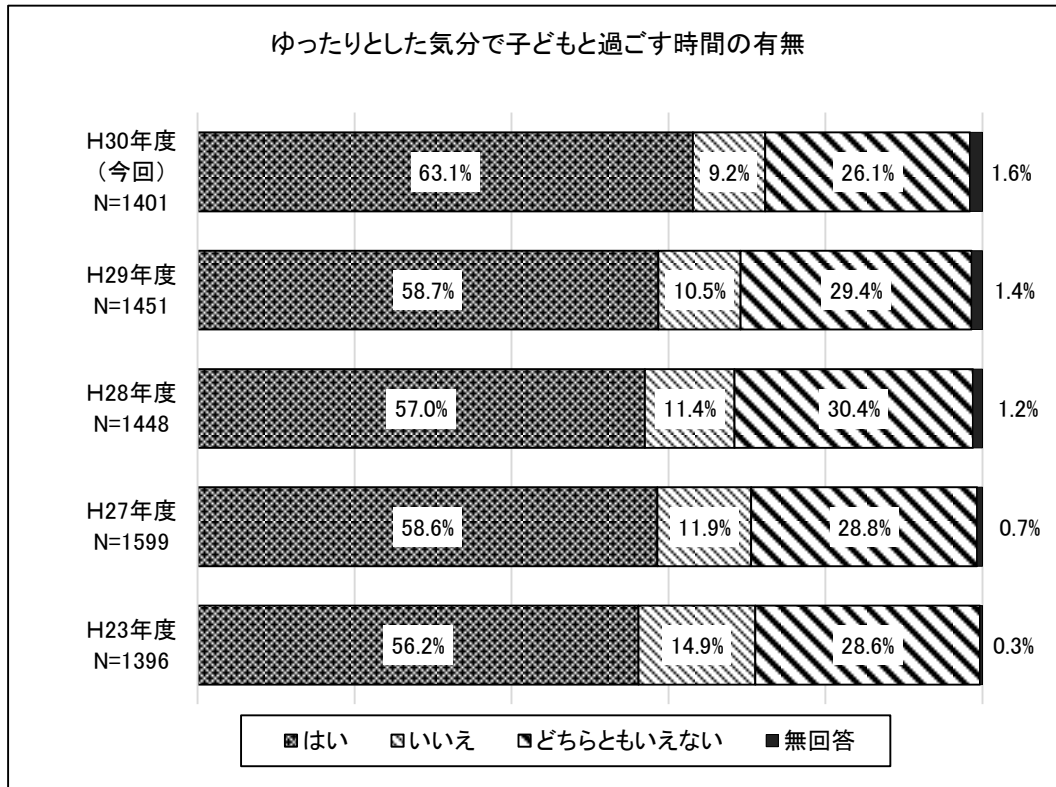
理想よりも予定の子ども的人数の方が少ない理由（問 8 複数回答）

- 子どもの数が理想よりも予定の方が少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」66.1%が過去の調査同様に最も多く、次いで「高年齢で産むのはいやだから」25.5%となっています。「夫（妻）の家事・育児への協力が得られないから」7.1%は前回調査より6.5ポイント減少しています。



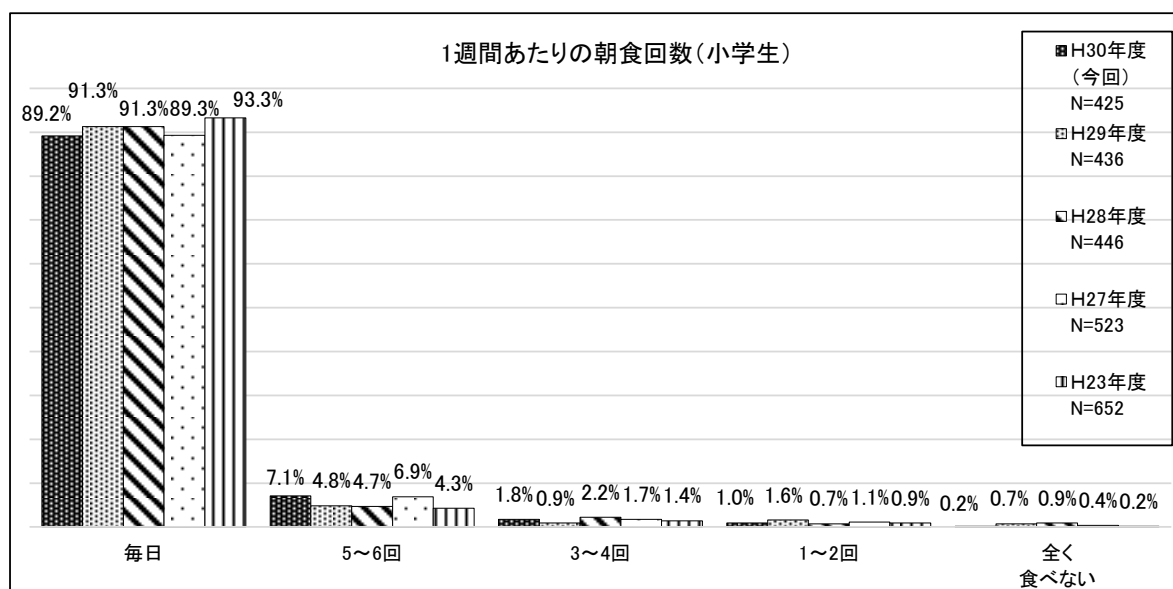
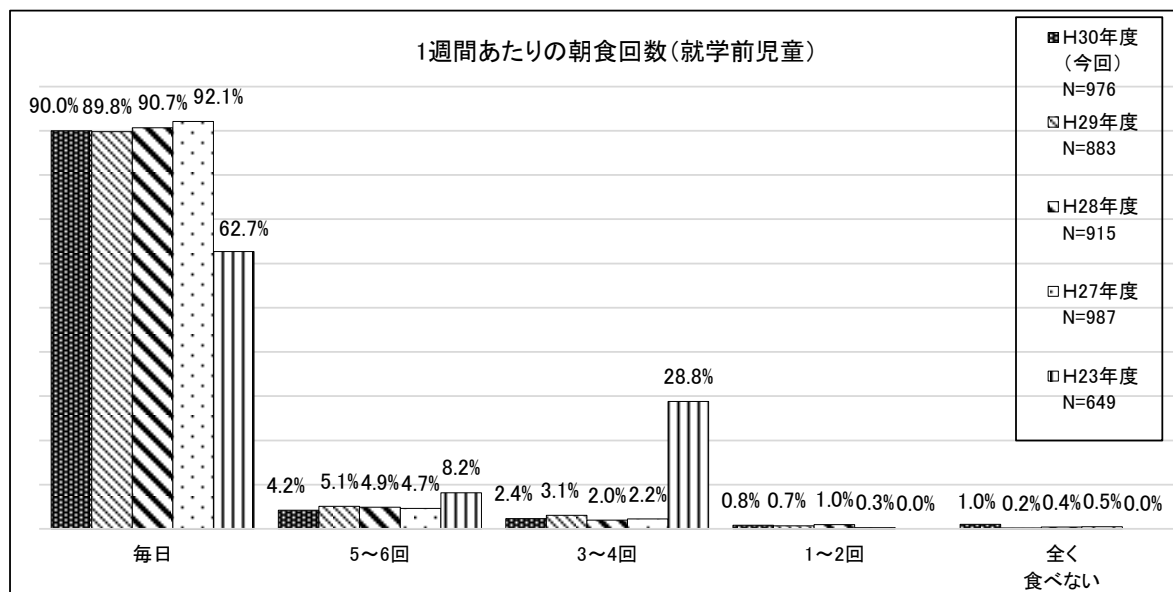
ゆったりとした気分で、お母さんが子どもと過ごす時間の有無（問9）

- ゆったりとした気分で、子どもと過ごす時間があると答えた人は、63.1%で前回調査より4.4ポイント増加しています。



週に朝食を食べる回数（問 10）

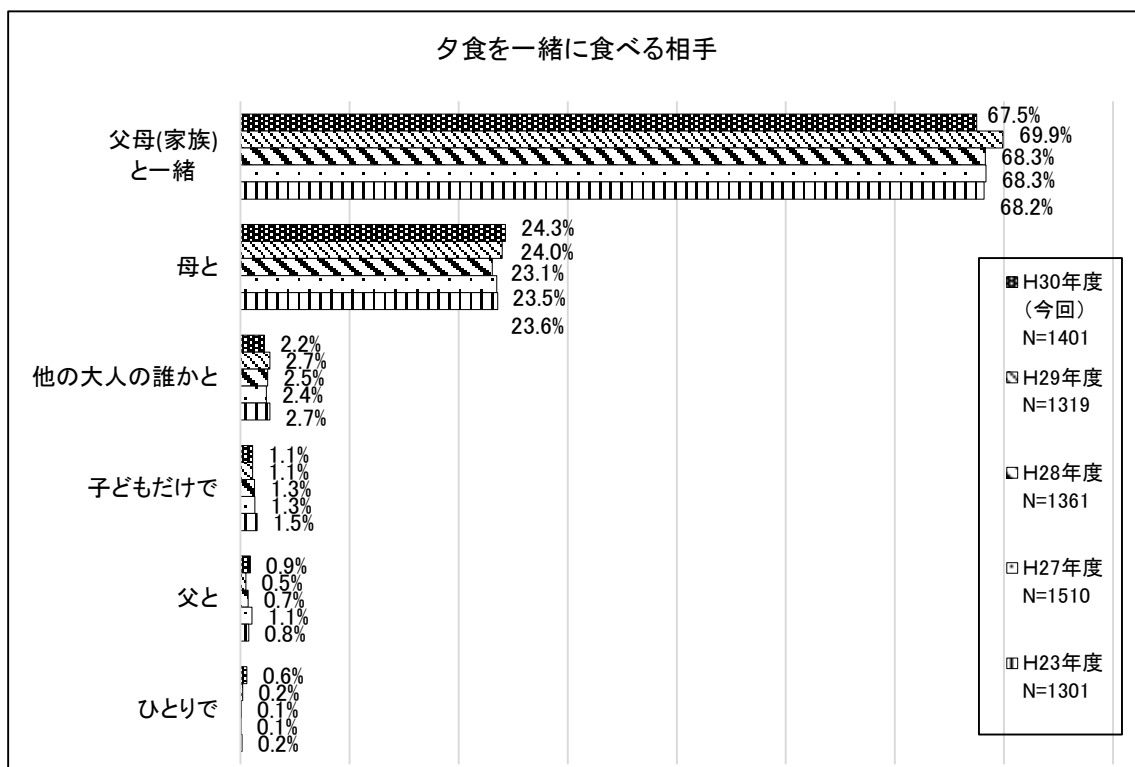
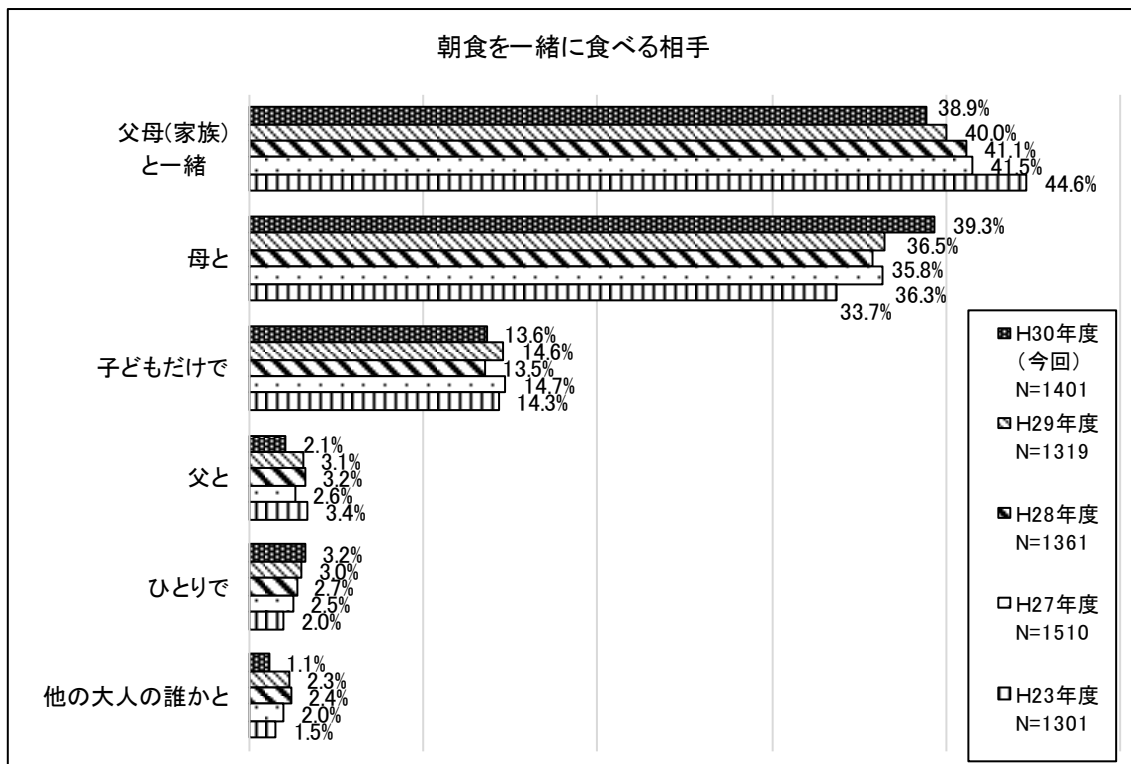
- 朝食を毎日食べるとの回答は、就学前児童では前回調査とほぼ同様になっています。小学生では、前回調査より 2.1 ポイント減少しています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

朝食・夕食を一緒に食べる相手（問 11）

- 朝食を父母（家族）と一緒に食べているのは38.9%で、調査ごとに減少しています。子どもだけで朝食を食べているのは13.6%となっています。夕食を父母（家族）と一緒に食べているのは67.5%で、前回調査より2.4ポイント減少しています。

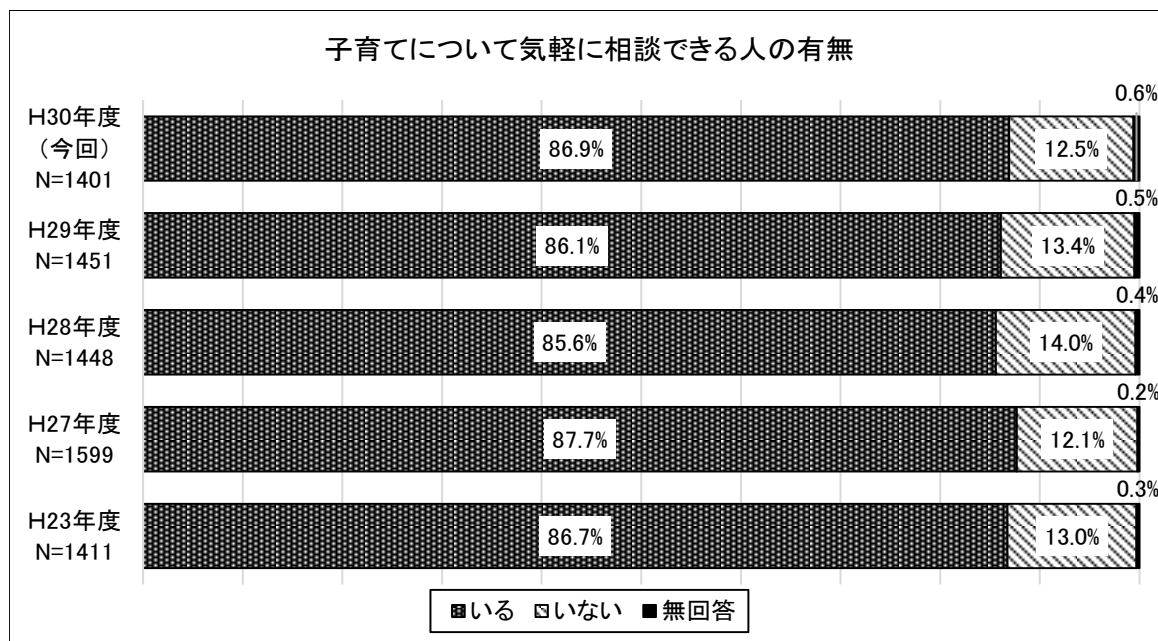


※無回答者数はグラフ内には表示していません。

(2) 子育てについての不安・悩み・地域のかかわり

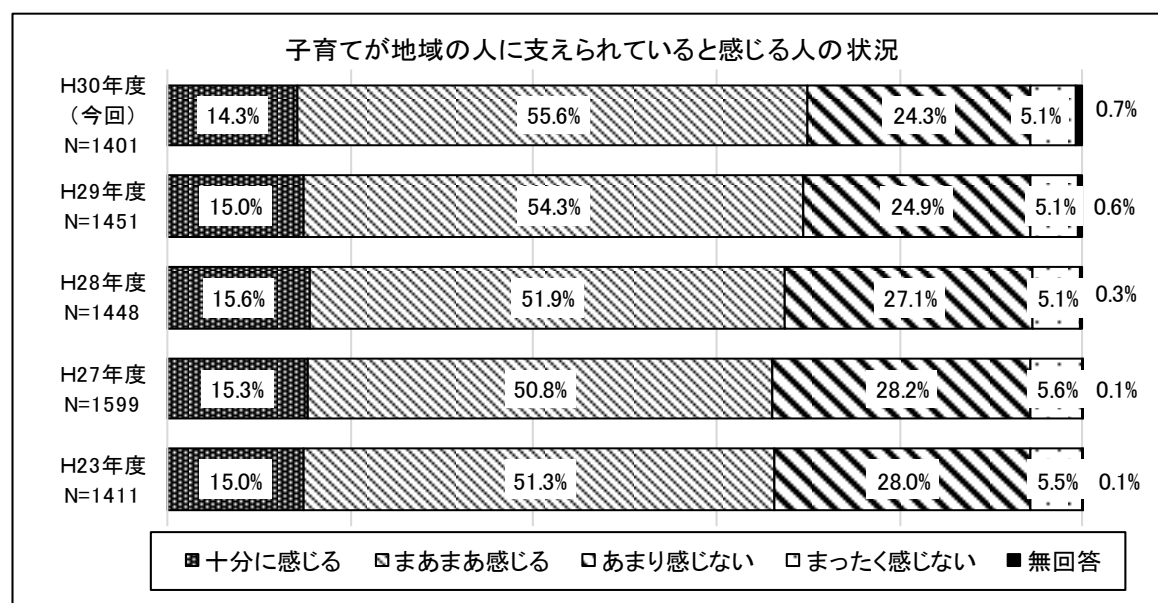
子育てについて、気軽に相談できる人の有無 (問 12)

- 過去調査同様に、1割以上の方は、気軽に相談できる近所の人や友人がいないと回答しています。



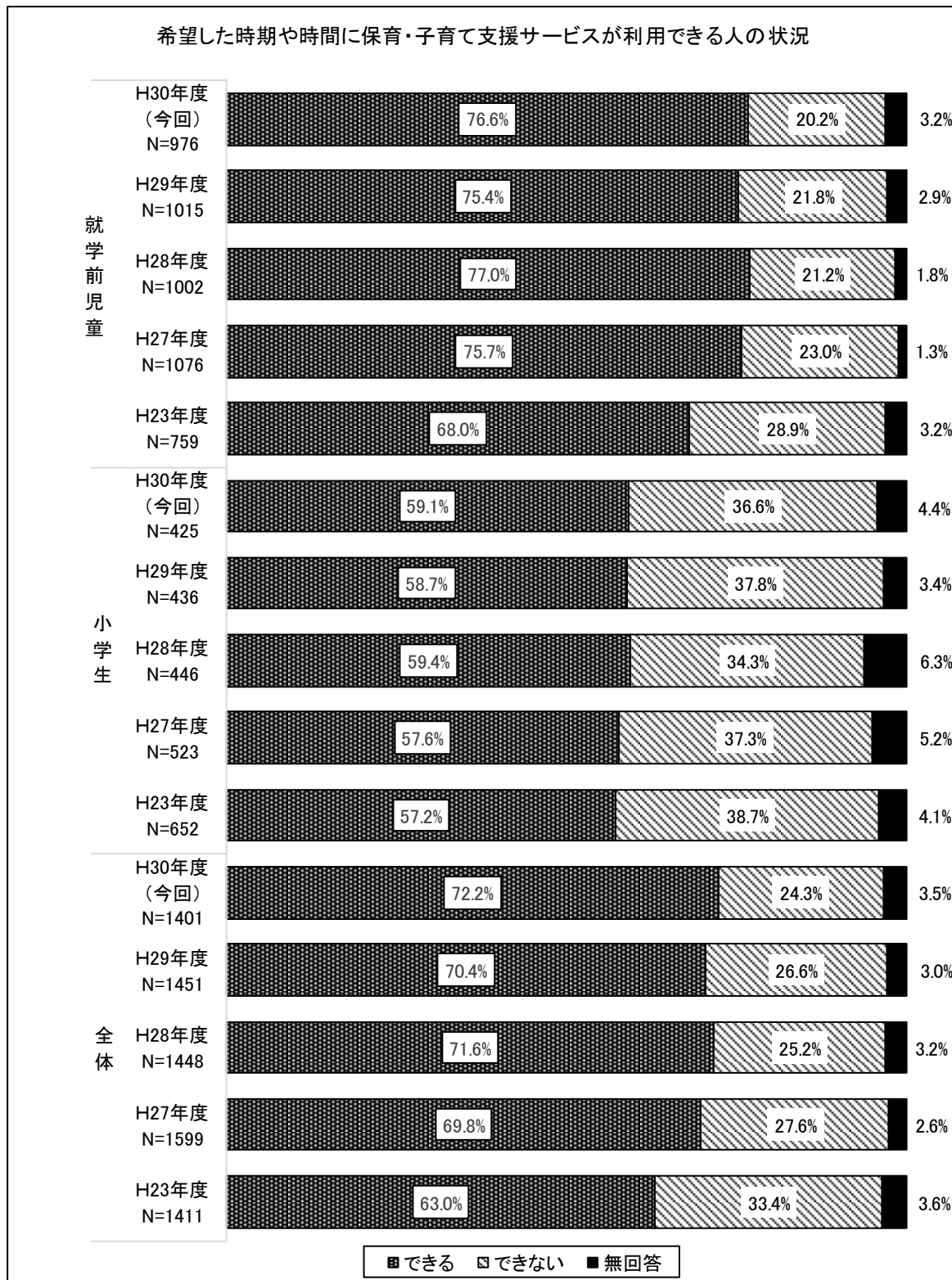
子育てが地域の人に支えられていると感じている割合 (問 13)

- 子育てが地域の人に支えられていると感じている (十分に感じる+まあまあ感じる) 人は 69.9%で、過去調査と比較すると増加しています。感じていない (あまり感じない+まったく感じない) 人は 29.4%で、過去調査より減少しています。



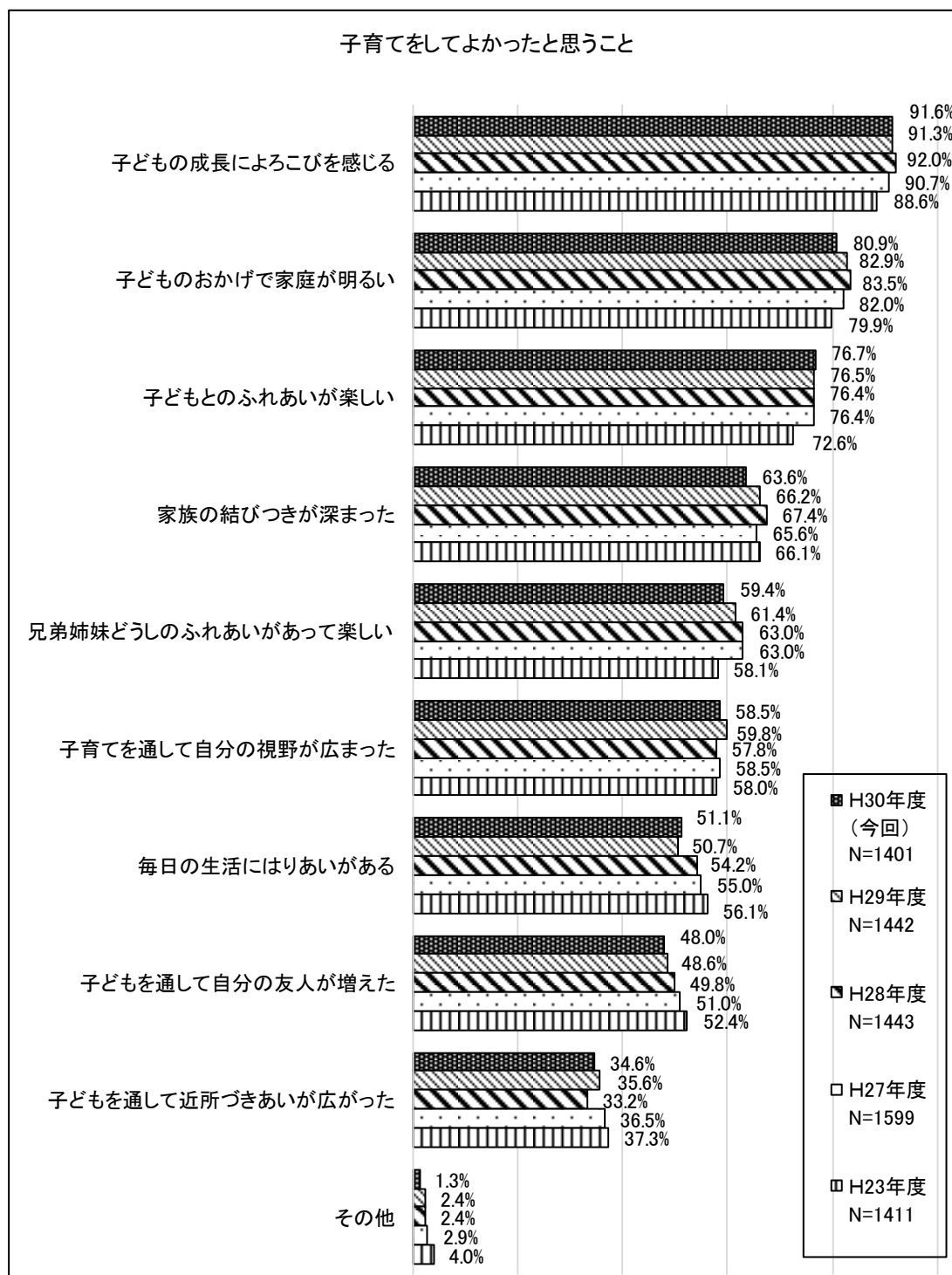
希望した時期や時間での保育・子育て支援サービスの利用の可否（問 14）

- 今回調査では、希望した時期や時間に保育・子育て支援サービスが利用できると答えた人は就学前 76.6%、小学生 59.1%で、それぞれ前回調査より増加しています。
- 利用できないと答えた割合も、前回調査よりそれぞれ減少しています。



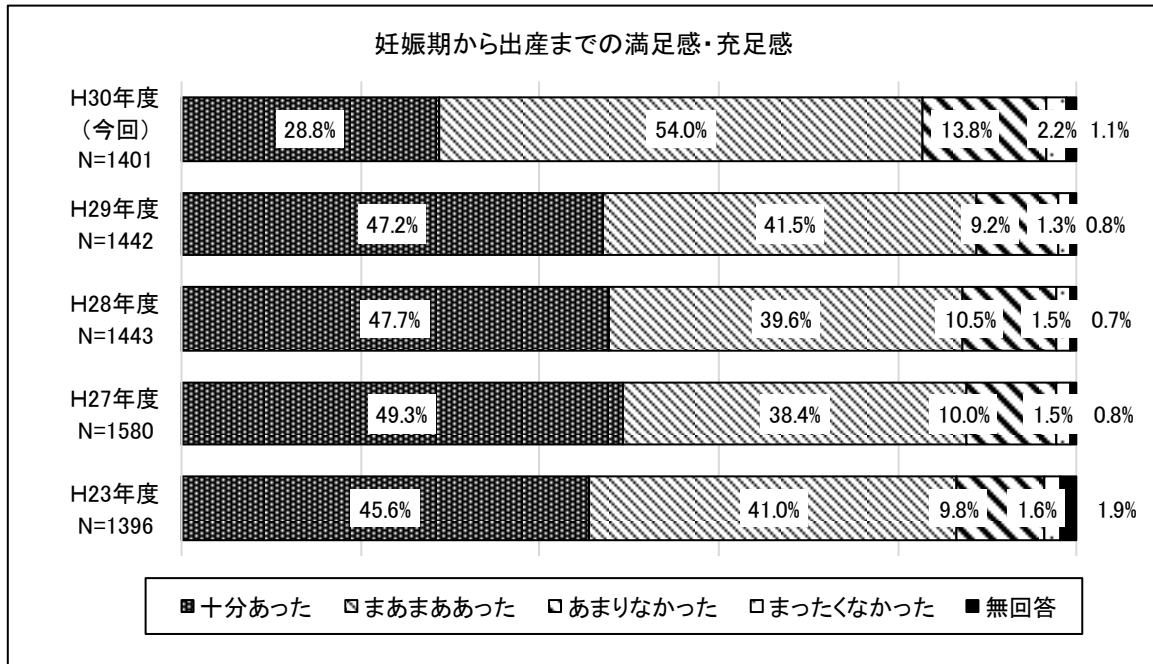
子どもを育てて良かったと思うこと（問 15 複数回答）

- 前回調査と同様に、最も多い回答は、「子どもの成長によるこびを感じる」91.6%、次いで「子どものおかげで家庭が明るい」80.9%の順となっています。



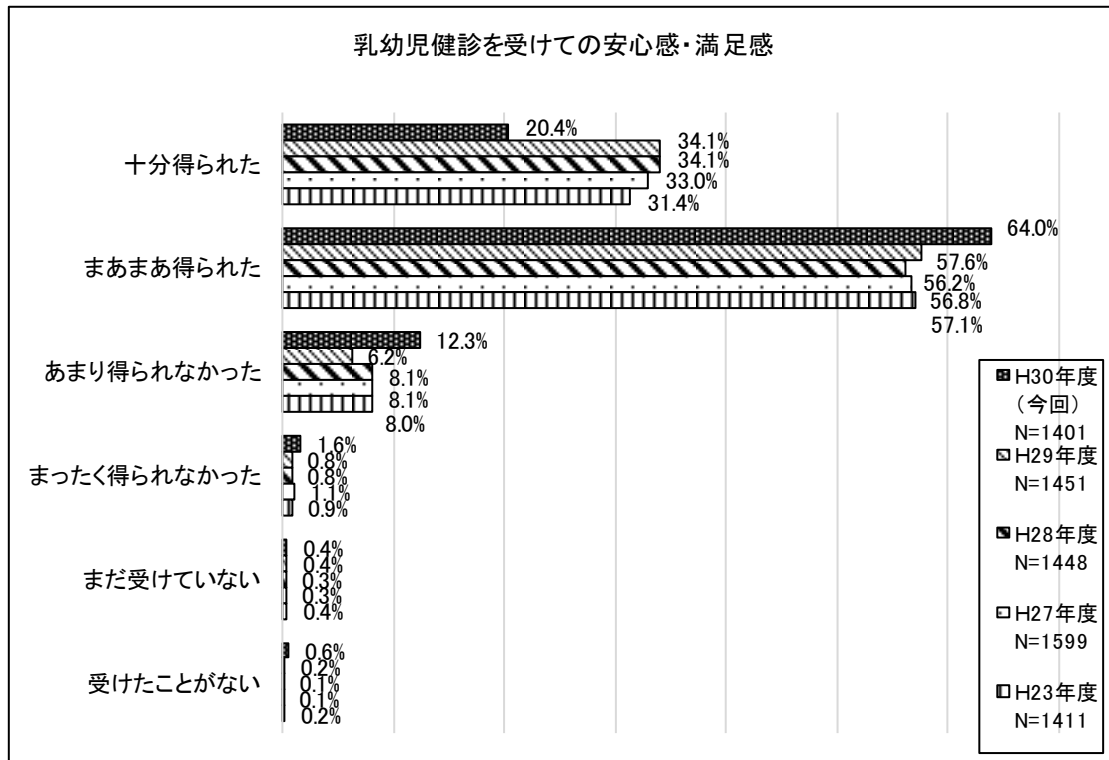
妊娠期から出産までの環境や支援についての満足感・充実感（問 16）

- 妊娠期から出産までの環境や支援について満足感・充実感があった（十分あった+まああった）人は82.8%で、前回調査より5.9ポイント減少しています。



乳幼児健診を受けての安心感や満足感の有無（問 17）

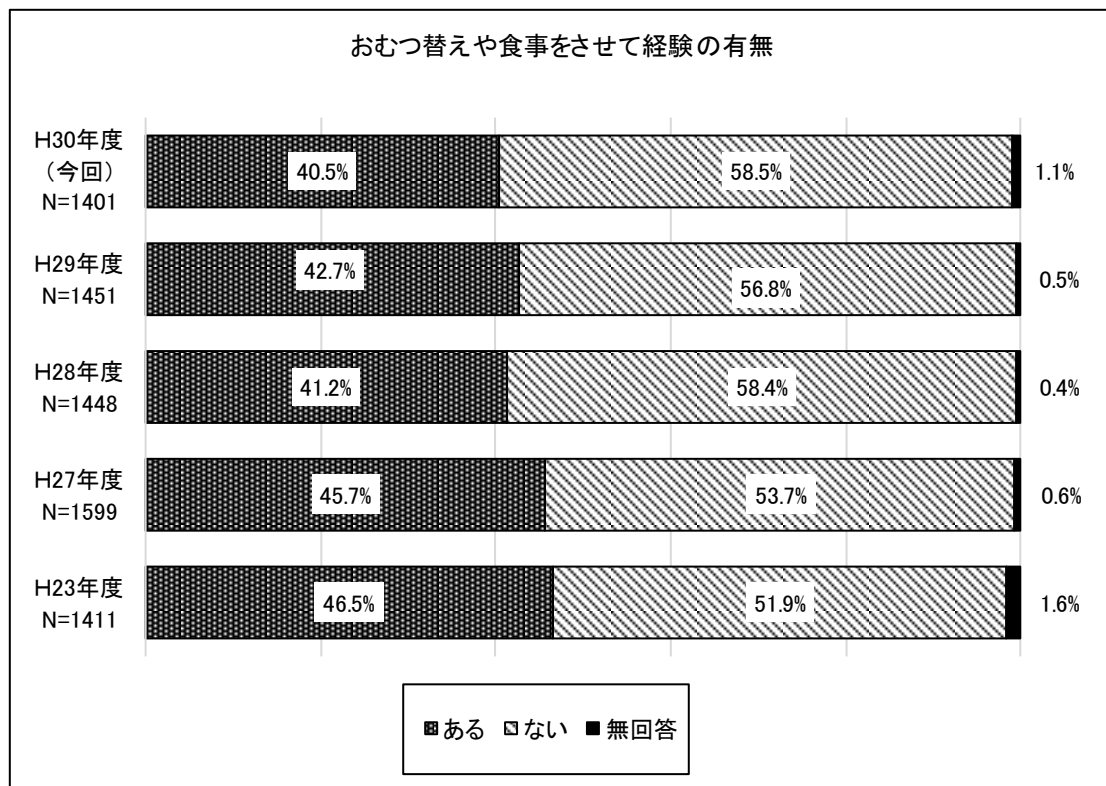
- 乳幼児健診を受け、安心感や満足感が得られた（十分得られた+まあまあ得られた）人は84.4%で、前回調査より7.3ポイント減少しています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

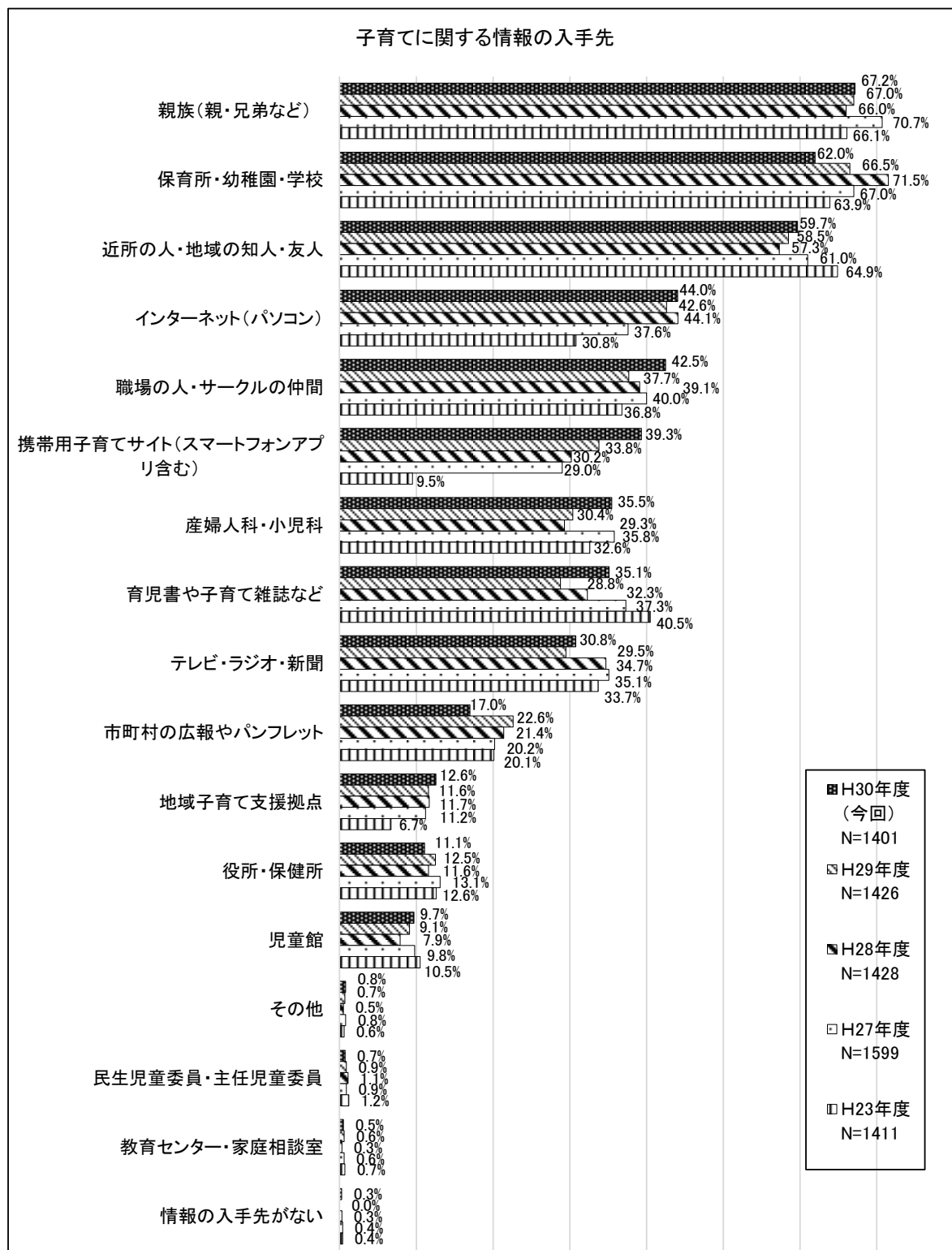
子どもが生まれる前におむつ替えや食事をさせた経験の有無（問 18）

- 子どもが生まれる前に、おむつ替えや食事をさせた経験のない人は 58.5%と、前回調査より 1.7 ポイント増加しています。



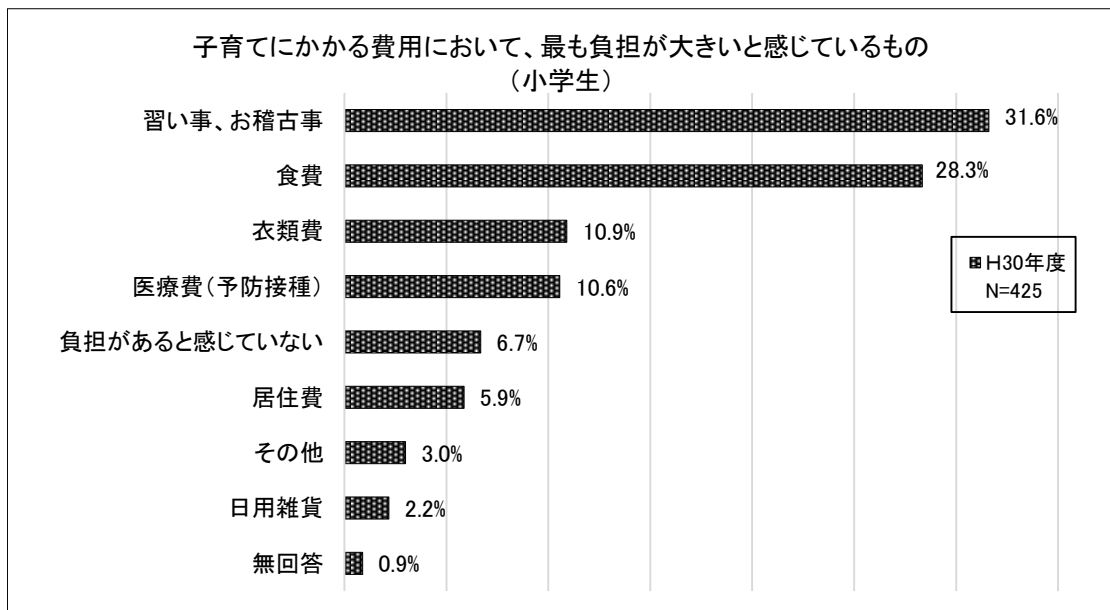
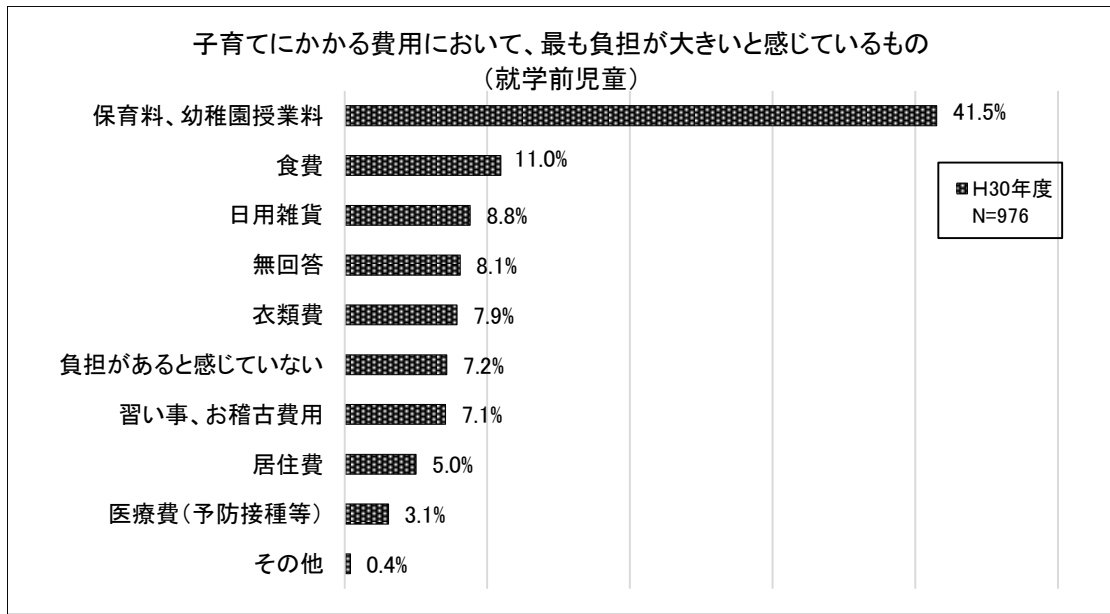
子育てに関する情報の入手先（問 19 複数回答）

- 最大の情報源は、「親族（親・兄弟など）」67.2%、次いで「保育所・幼稚園・学校」62.0%の順となっています。



(新設) 子育てにかかる費用について負担が大きいと感じているもの (問 20)

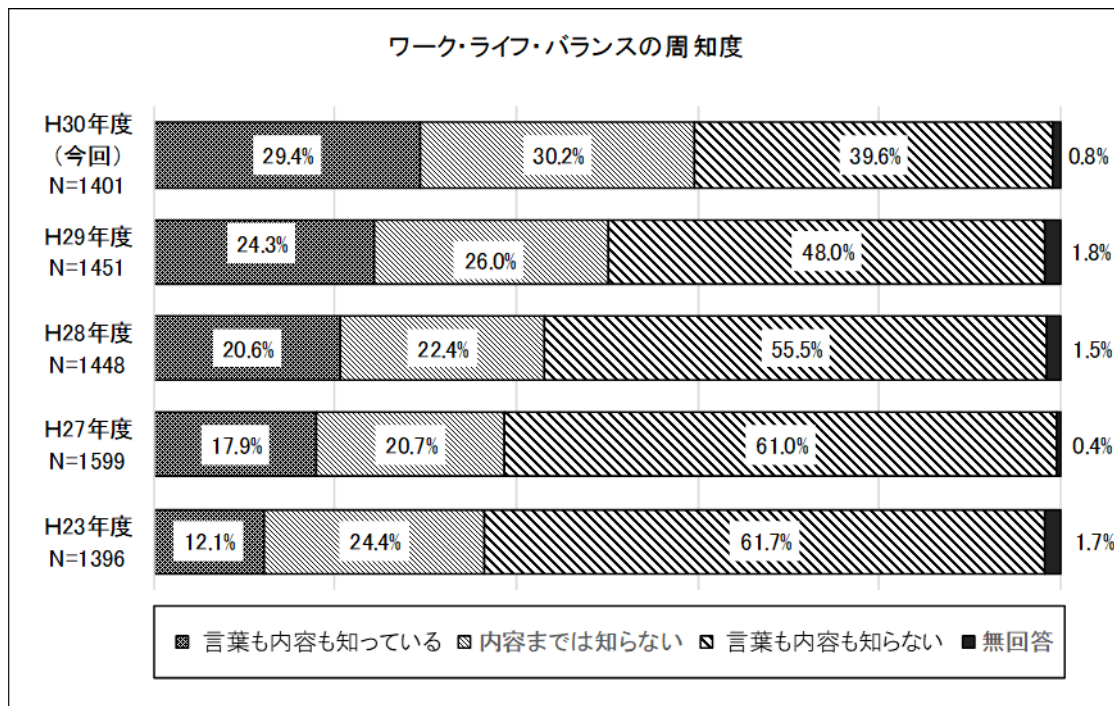
- 就学前児童で負担が大きいと感じているものは、「保育料、幼稚園授業料」41.5%、次いで「食費」11.0%、「日用雑貨」8.8%の順となっています。
- 小学生では、「習い事、お稽古費用」31.6%が最も負担が大きいと感じており、次いで「食費」28.3%、「衣類費」10.9%の順となっています。



(3) 子育てと仕事の両立の推進

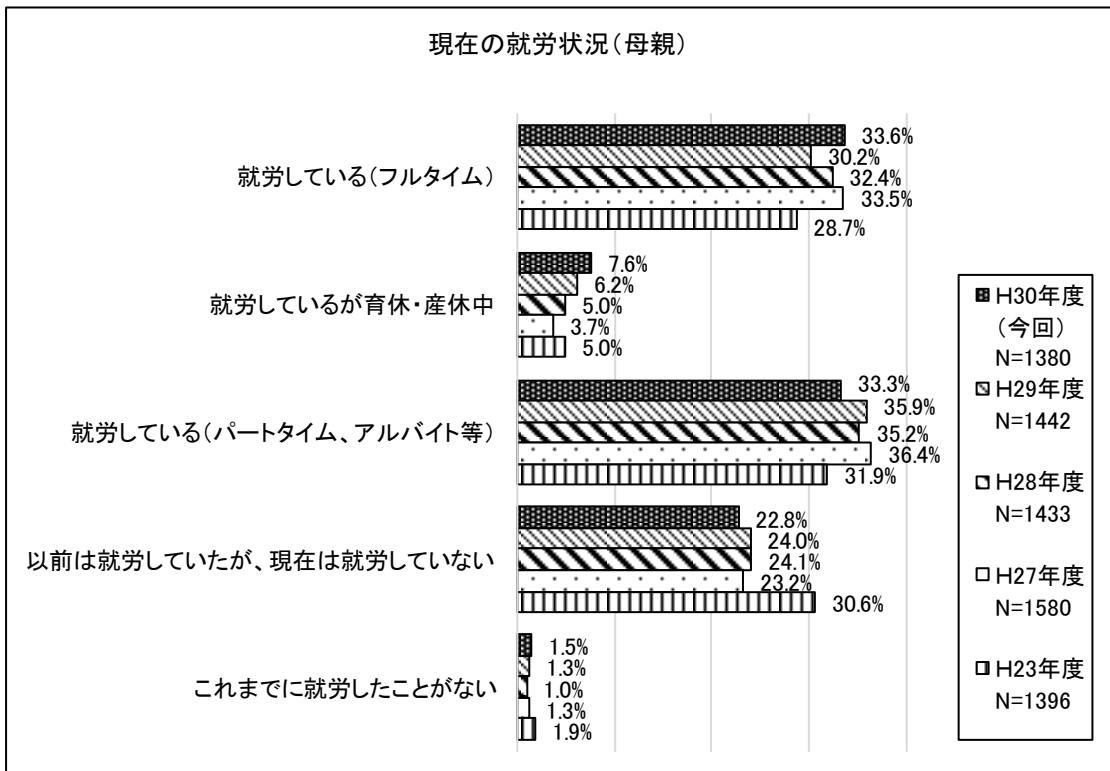
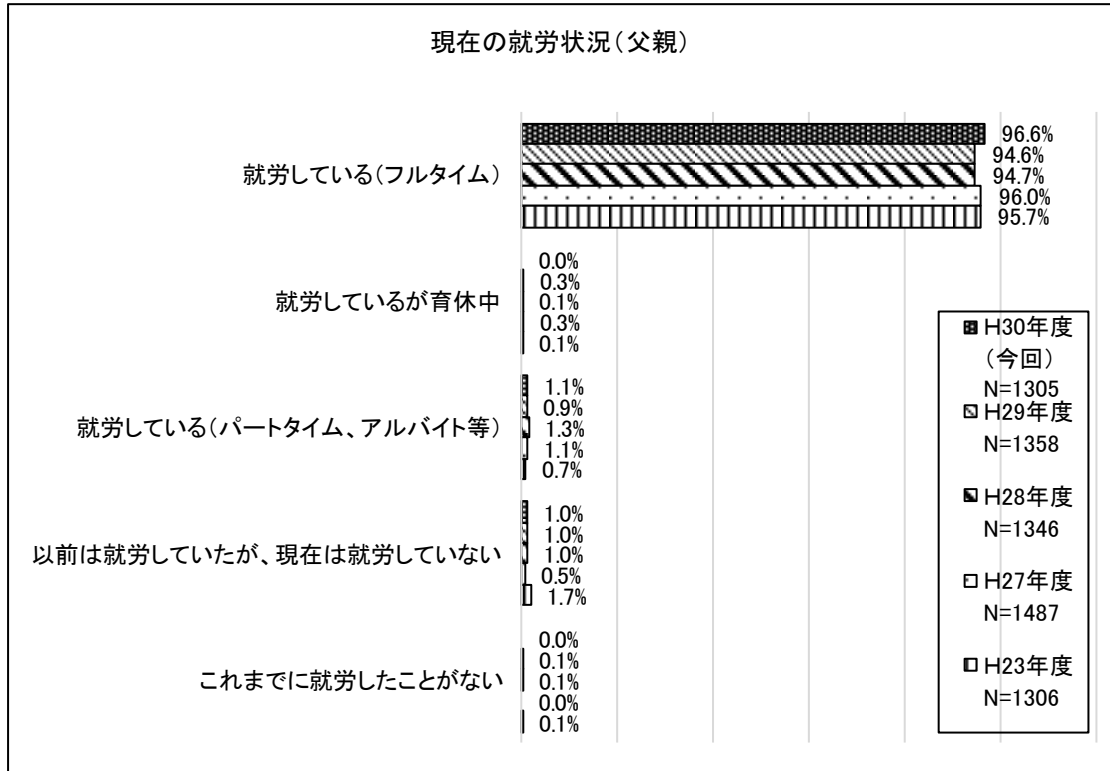
「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の周知度 (問 21)

- 「ワーク・ライフ・バランス」を「言葉も内容も知っている」は29.4%で、調査ごとに増加しています。



現在の就労状況（問 22）

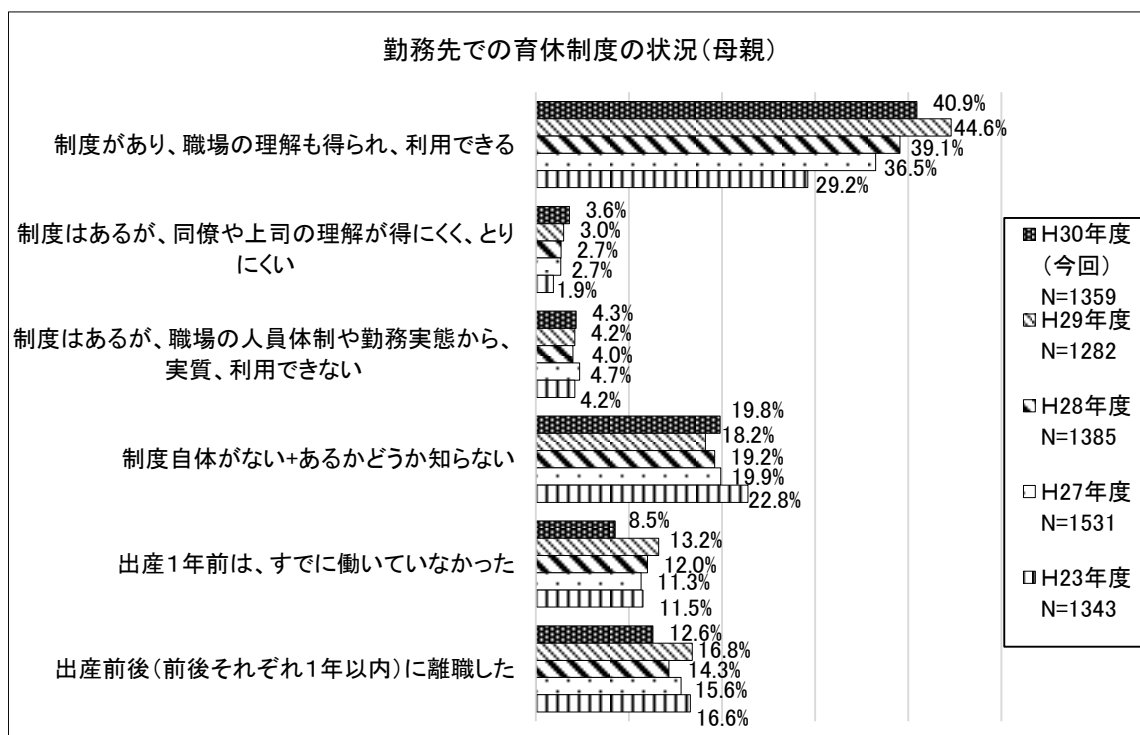
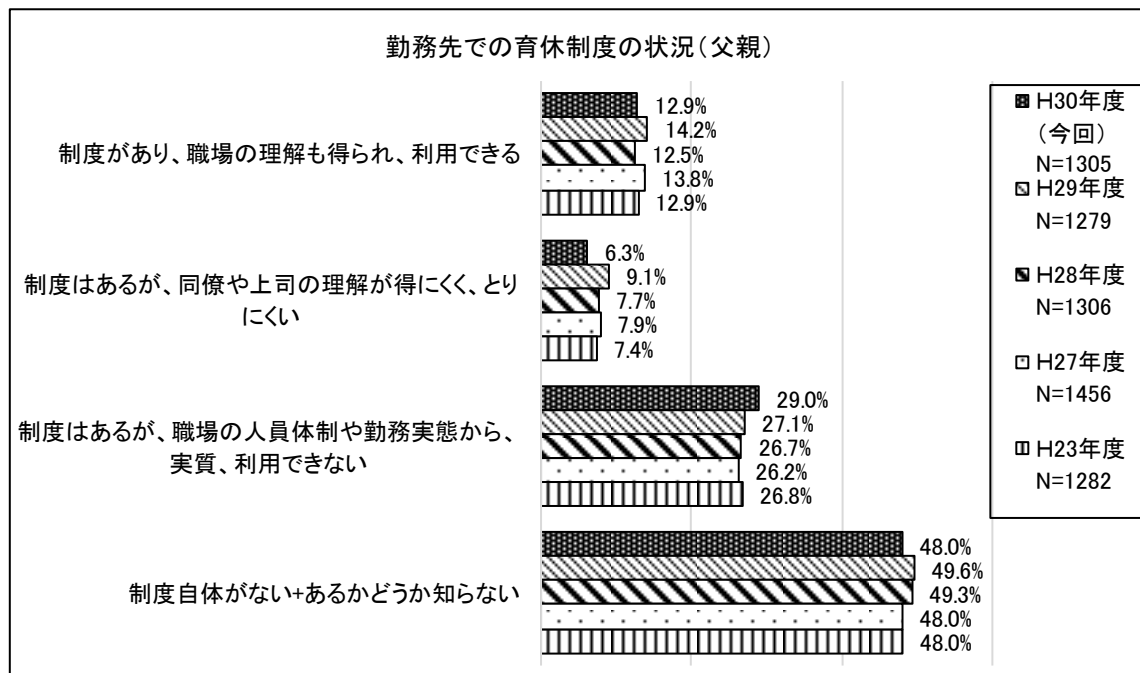
- 母親の就労状況は「就労している（フルタイム）」33.6%と、前回調査よりも 3.4 ポイント増加しています。一方で、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」33.3%は、前回調査よりも 2.6 ポイント減少しています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

勤務先における産前産後休暇や育児休業制度の有無と利用のしやすさ（問 23）

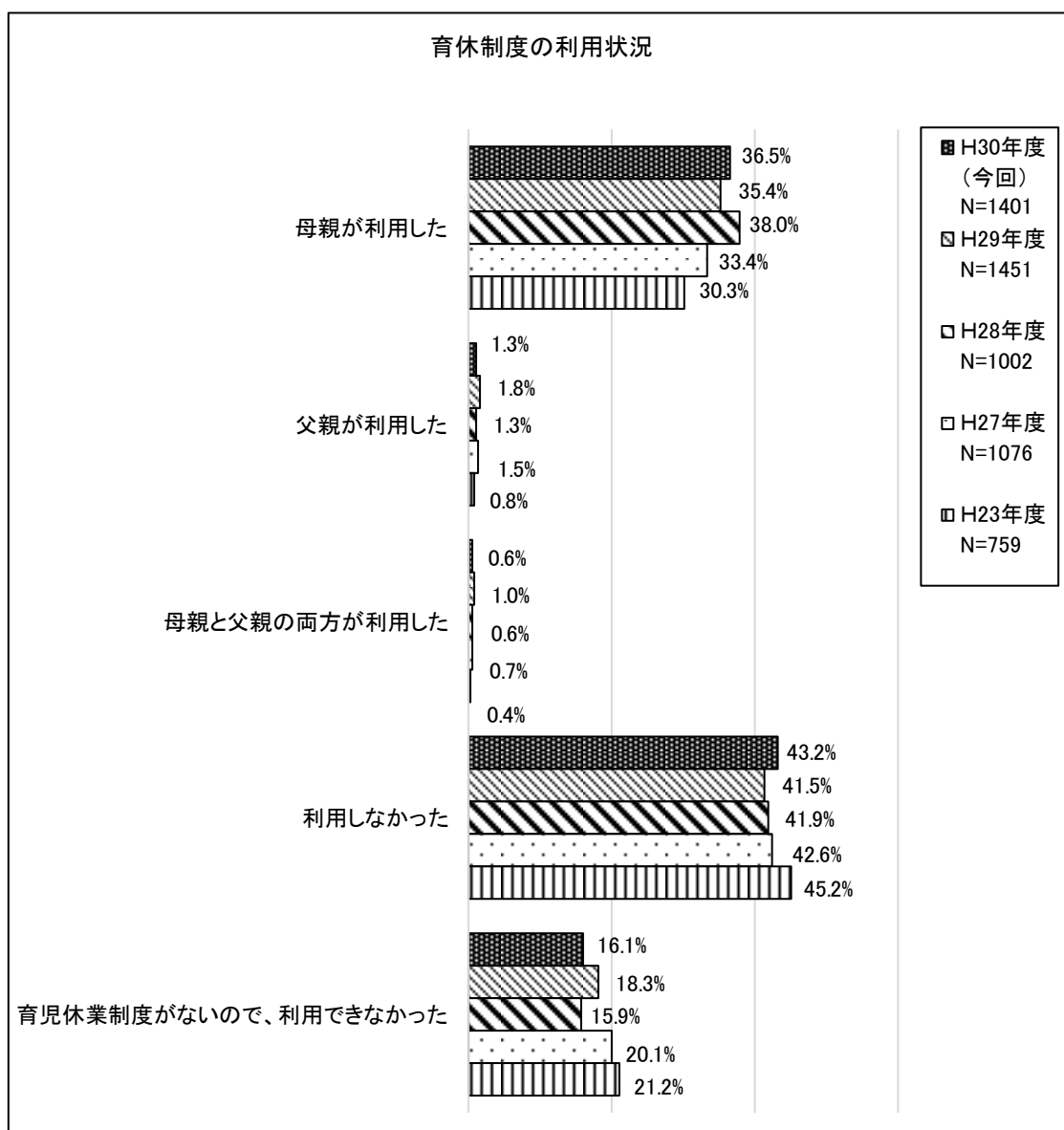
- 父親では、「制度があり、職場の理解も得られ、利用できる」と回答した人は 12.9%で前回調査より 1.3 ポイント減少しています。
- 母親では、「制度があり、職場の理解も得られ、利用できる」と回答した人が 40.9%で、前回調査より 3.7 ポイント減少しています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

育児休業制度の利用状況（問 24）

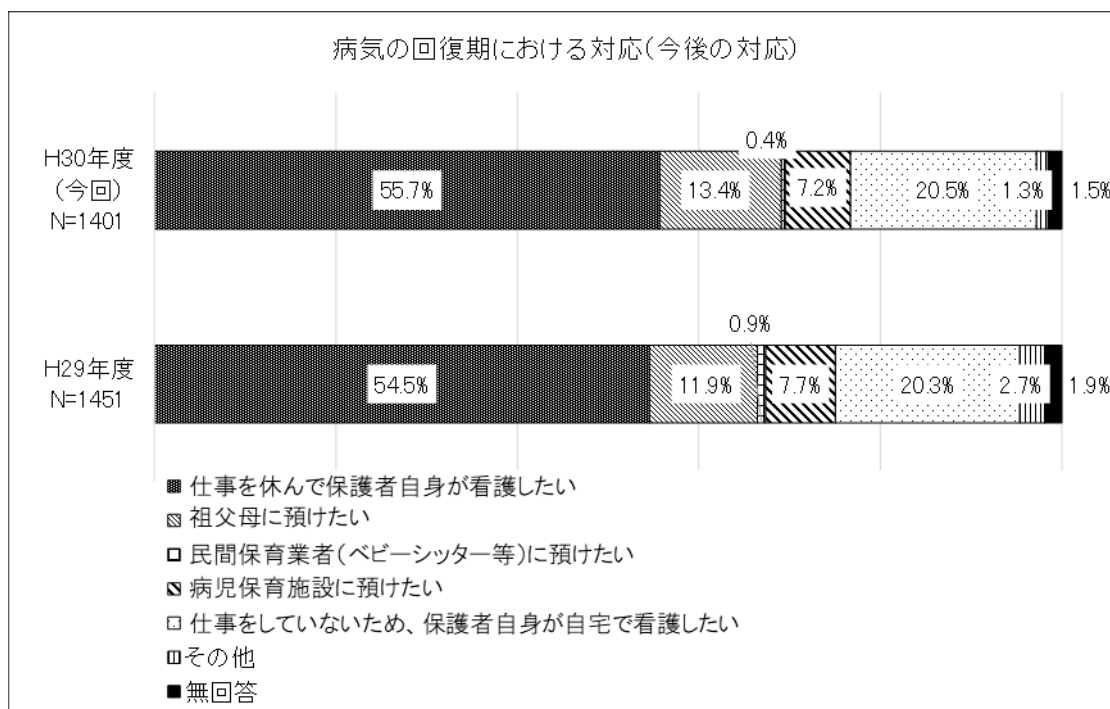
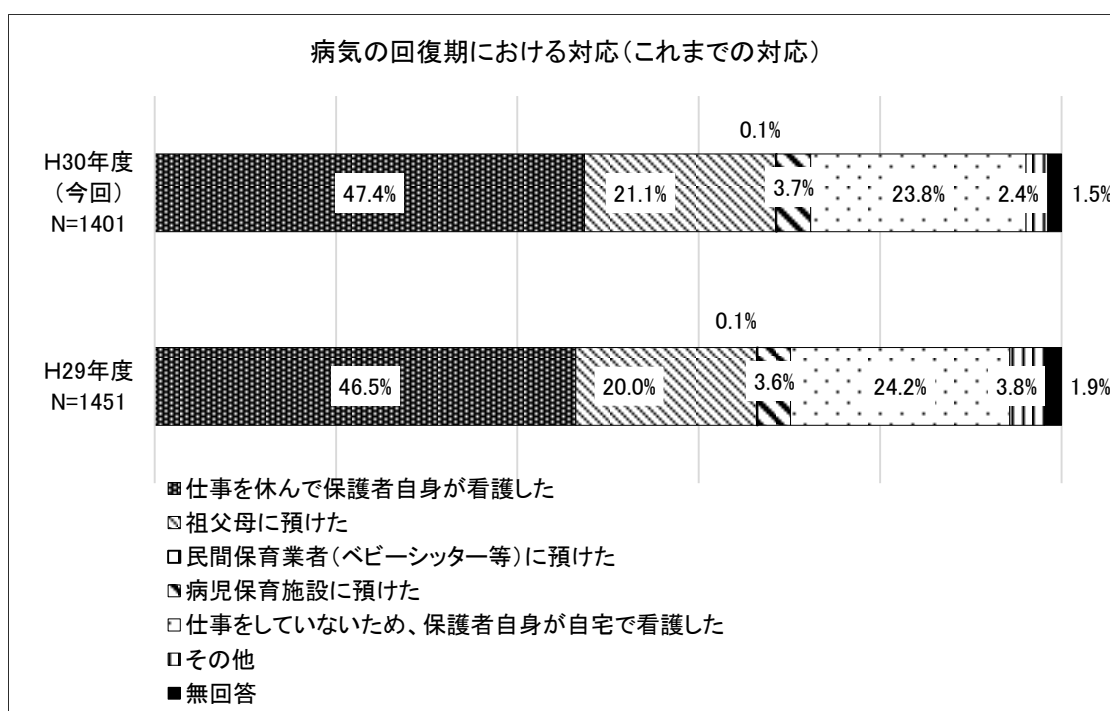
- 母親の 36.5%が育児休業制度を利用しており、利用状況は前回調査より 1.1 ポイント増加しています。父親では 1.3%となっており、前回調査より利用状況は若干減少しています。また、43.2%の方が育児休業制度を利用せずに子育てをしている状況です。
- 「育児休業制度がないので、利用できなかった」は 16.1%で、前回調査より 2.2 ポイント減少しています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

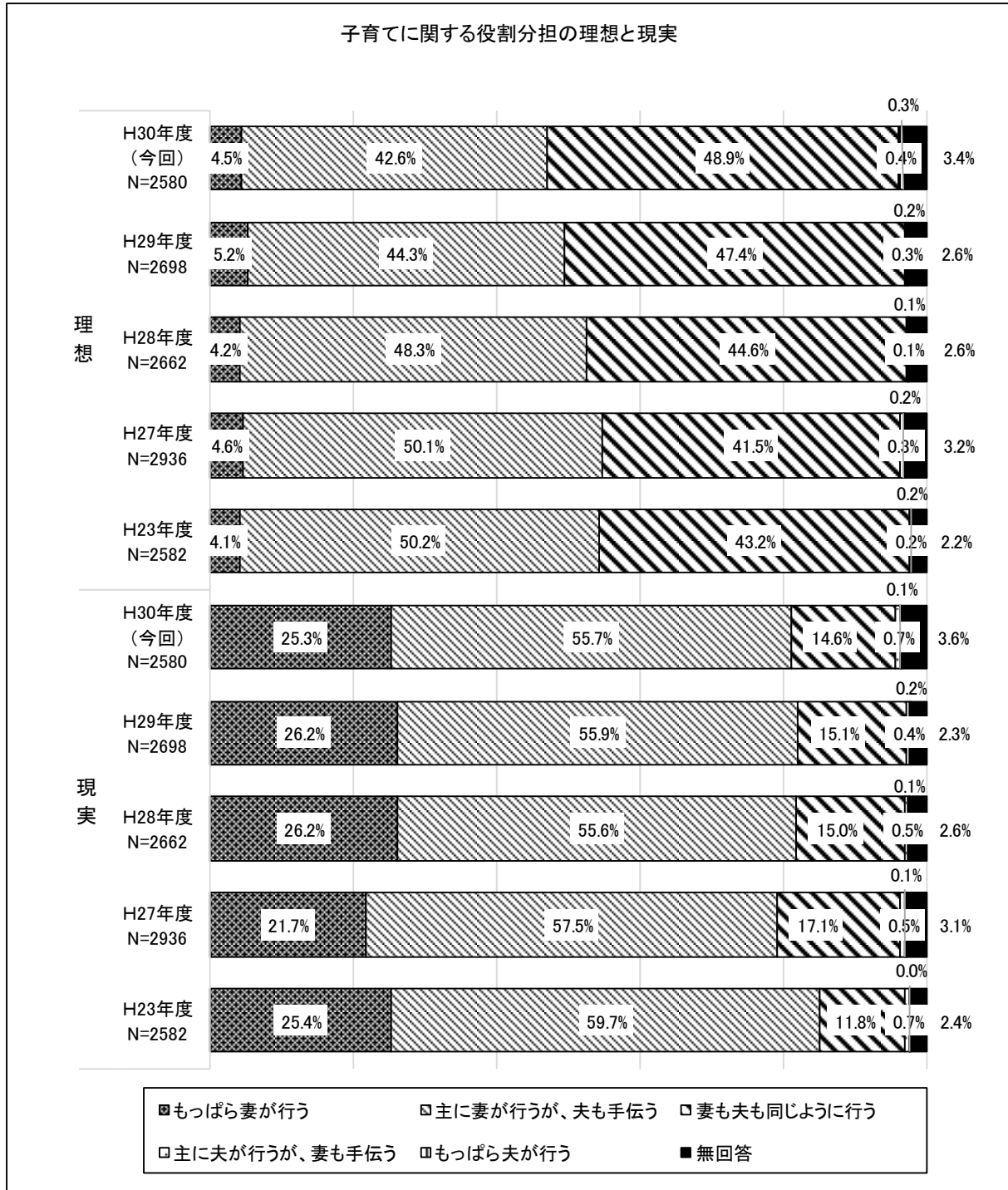
病気の回復期の対応（問 25）

- これまでの対応では「仕事を休んで保護者自身が看護した」47.4%で前回調査より 0.9ポイント増加しています。
- 今後の対応では「祖父母に預けたい」13.4%で前回調査より 1.5ポイント増加しています。「病児保育施設に預けたい」7.2%は前回調査より 0.5ポイント減少しています。



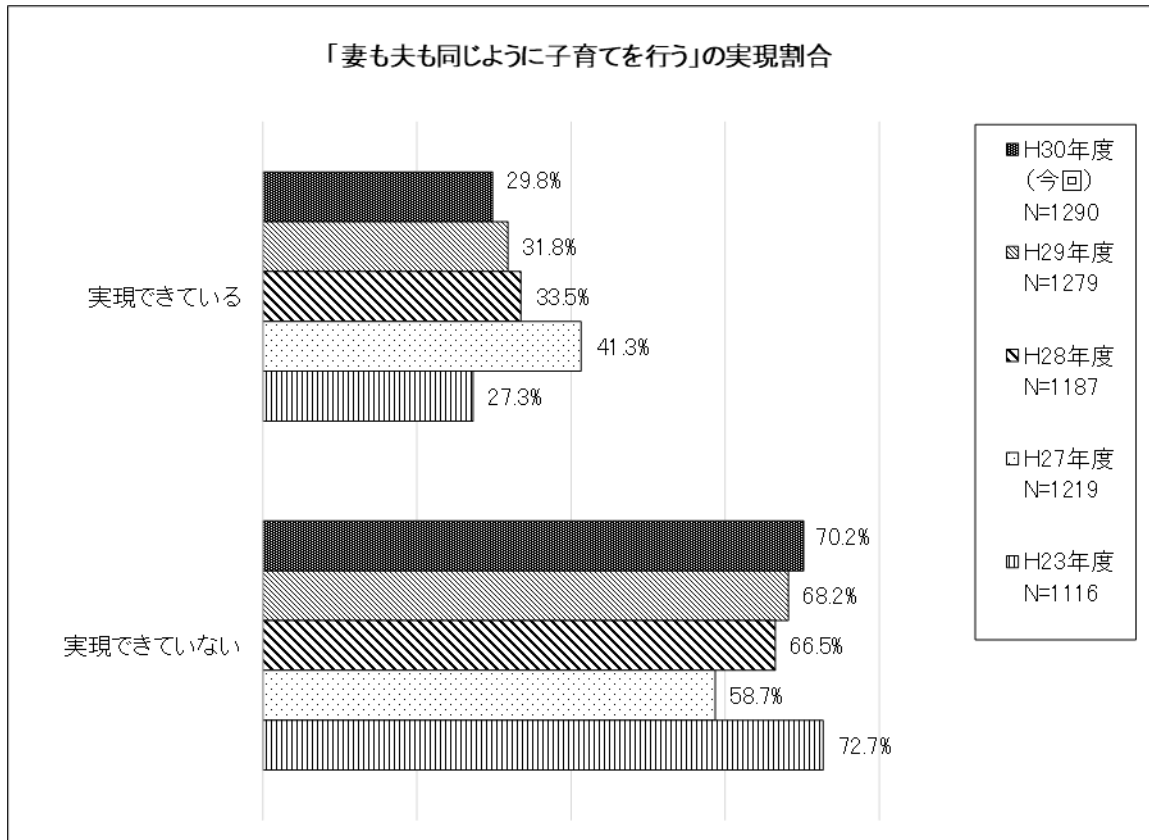
父親・母親の子育てに関する役割分担の理想と現実の姿（問 26）

- 理想では、「妻も夫も同じように行う」48.9%で最も高く、次いで「主に妻が行うが、夫も手伝う」42.6%の順となっています。
- 現実では、「主に妻が行うが、夫も手伝う」55.7%で最も高く、次いで「もっぱら妻が行う」25.3%の順となっています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

- 「妻も夫も同じように行う」が理想と答えた人に対して、実現できていると答えた人の割合は 29.8% となっており、前回調査より 2.0 ポイント減少しています。



※無回答者数はグラフ内には表示していません。

※実現割合の出し方↓

【理想】		もっぱら妻が行う	主に妻が行うが、夫も手伝う	妻も夫も同じように行う	主に夫が行うが、妻も手伝う	もっぱら夫が行う	無回答	総計
父親	人	87	602	529	5	3	64	1,290
	%	6.7%	46.7%	41.0%	0.4%	0.2%	5.0%	100.0%
母親	人	28	496	733	6	4	23	1,290
	%	2.2%	38.4%	56.8%	0.5%	0.3%	1.8%	100.0%
全体	人	115	1,098	1,262	11	7	87	2,580
	%	4.5%	42.6%	48.9%	0.4%	0.3%	3.4%	100.0%

※就学前児童と小学生の父親と母親の【理想】合計

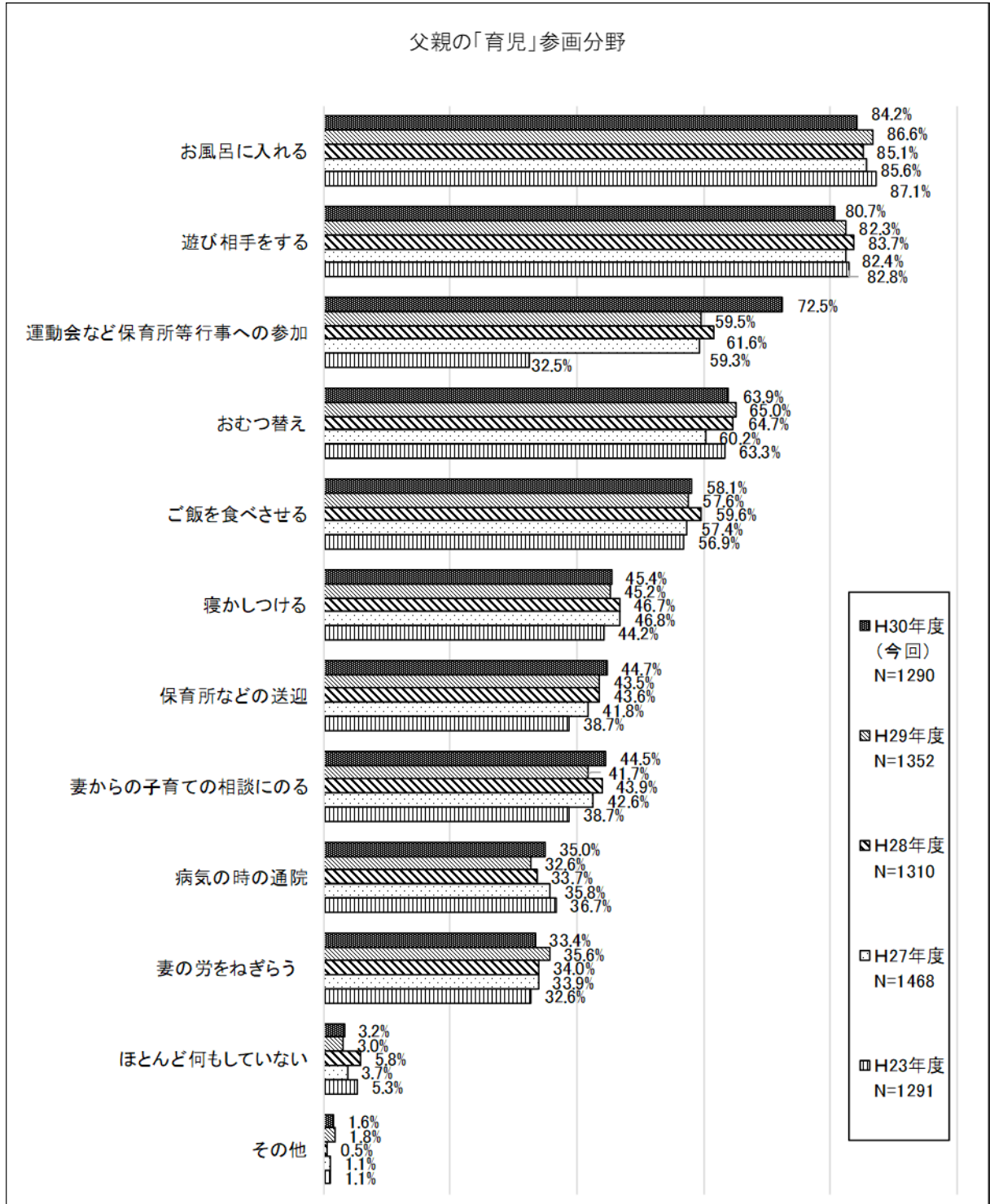
【現実】		もっぱら妻が行う	主に妻が行うが、夫も手伝う	妻も夫も同じように行う	主に夫が行うが、妻も手伝う	もっぱら夫が行う	無回答	総計
父親	人	319	714	182	8	1	66	1,290
	%	24.7%	55.3%	14.1%	0.6%	0.1%	5.1%	100.0%
母親	人	334	722	194	10	2	28	1,290
	%	25.9%	56.0%	15.0%	0.8%	0.2%	2.2%	100.0%
全体	人	653	1,436	376	18	3	94	2,580
	%	25.3%	55.7%	14.6%	0.7%	0.1%	3.6%	100.0%

※就学前児童と小学生の父親と母親の【現実】合計

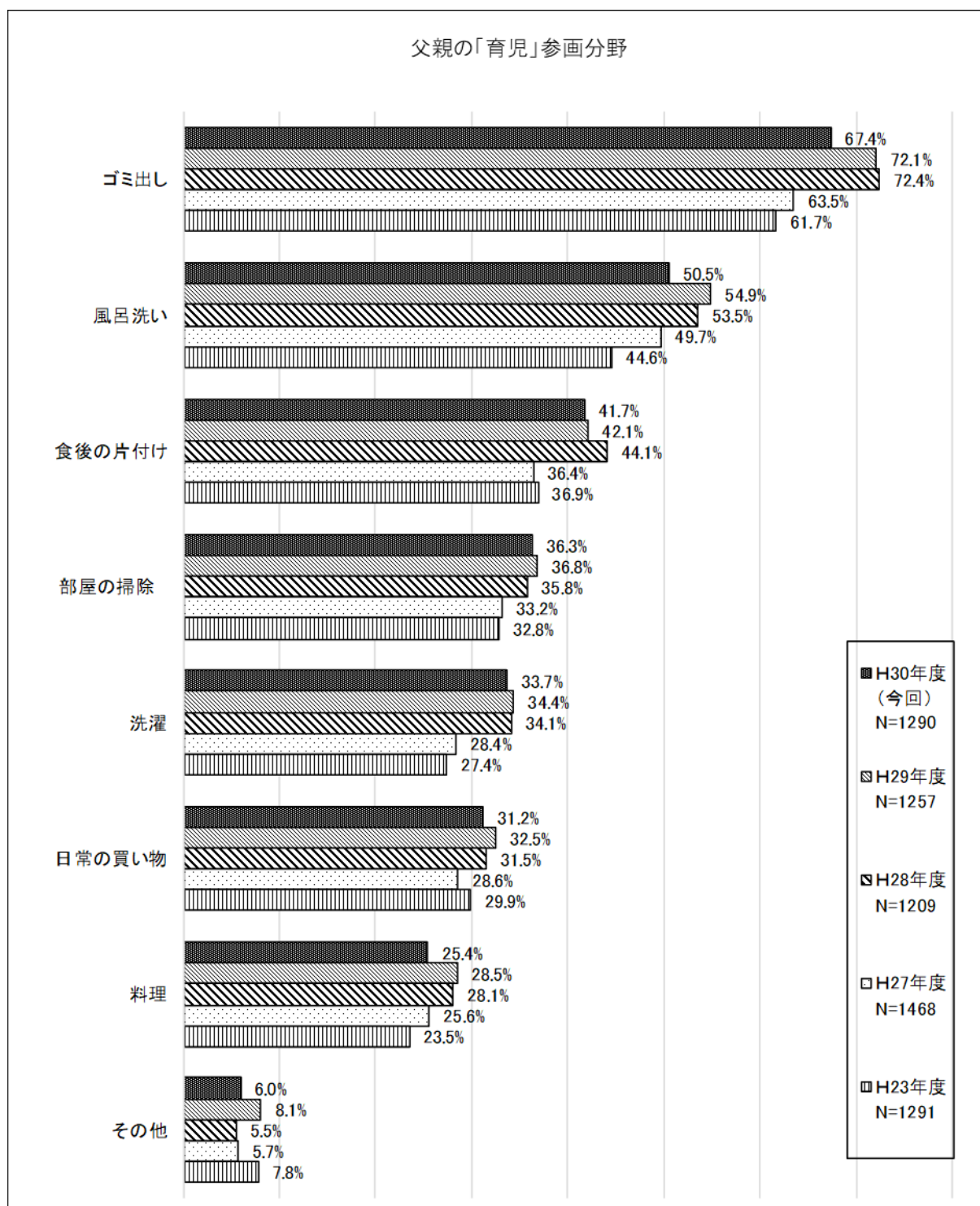
【現実】妻も夫も同じように行う 376 人 ÷ 【理想】妻も夫も同じように行う 1262 人 = 29.8%

父親の育児・家事の参画分野（問 27 複数回答）

- 父親の育児参画で「お風呂に入れる」84.2%と最も高くなっています。「運動会など保育所等行事への参加」72.5%は前回調査より13ポイント増加しています。

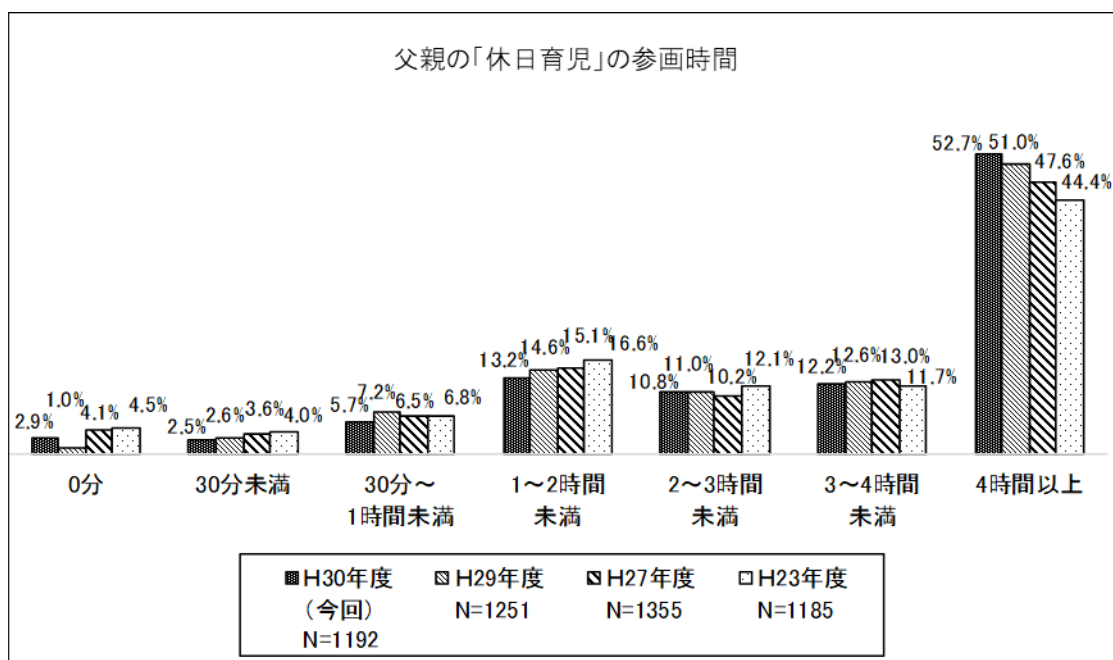
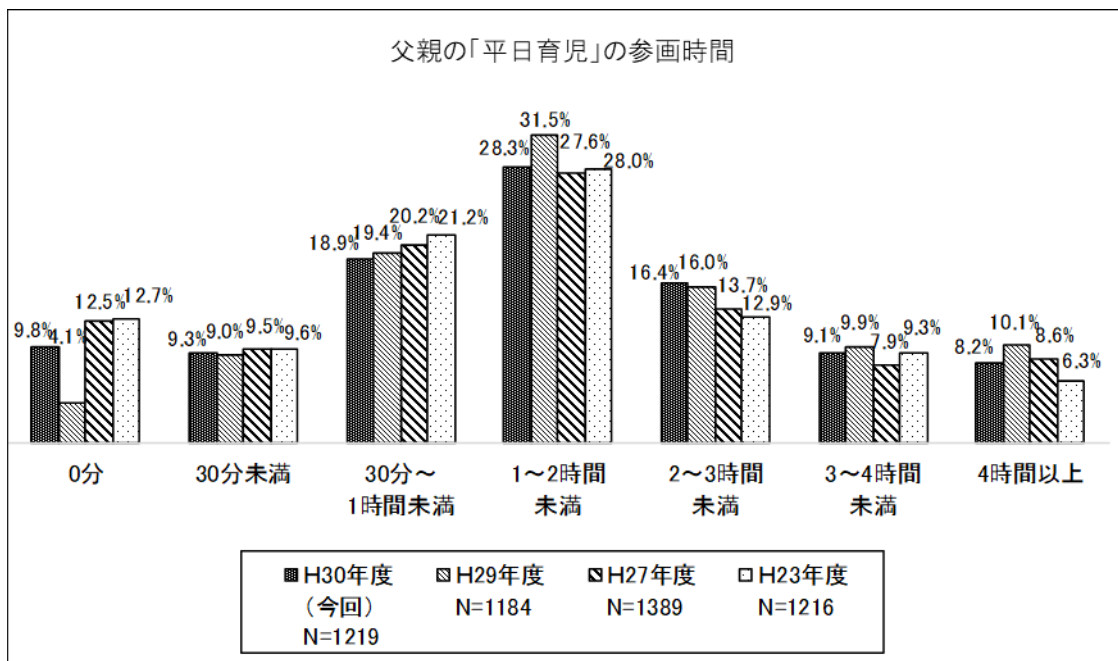


- 家事では、「ゴミ出し」67.4%、次いで「風呂洗い」50.5%の順となっています。



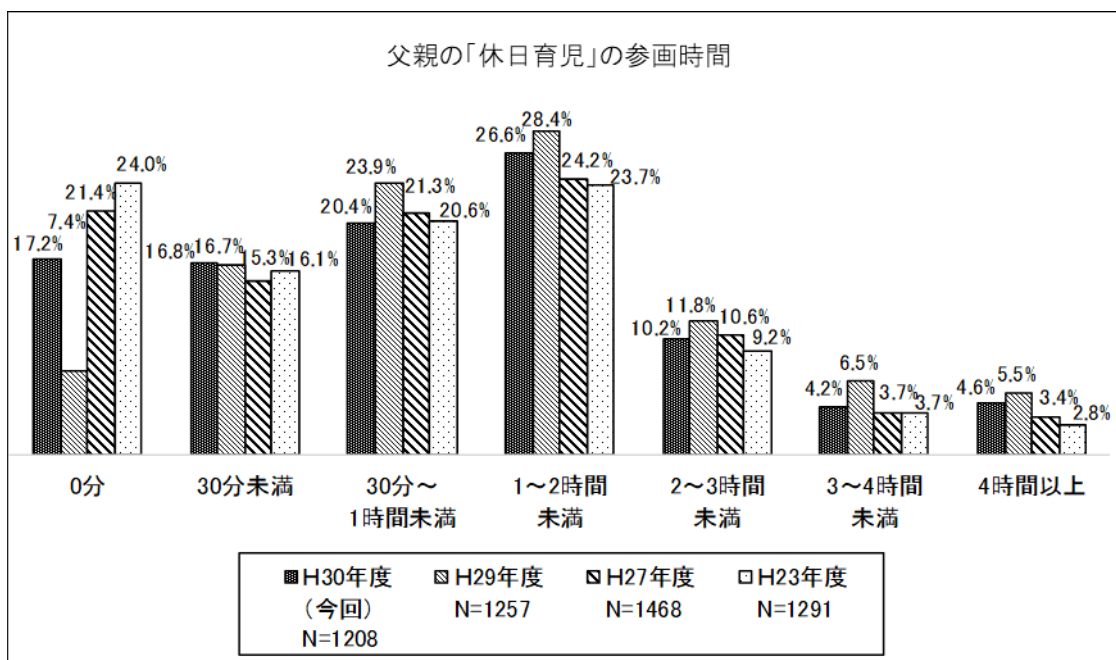
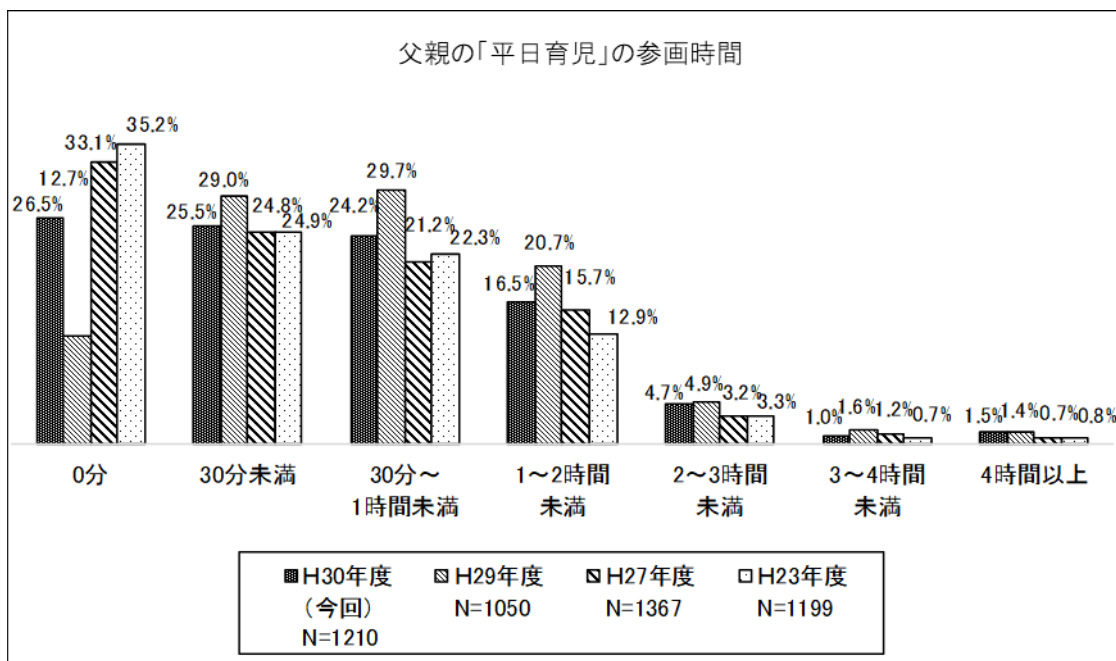
父親の育児・家事の参画時間（問 28）

- 父親の平日育児の参画時間は、「1～2 時間未満」28.3%で最も高く、「2～3 時間未満」16.4%で前回調査より 0.4 ポイント増加しています。
- 休日に「4 時間以上」育児へ参画する父親は 52.7%で前回調査より 1.7 ポイント増加しています。



※設問形式を変更したため、H28 調査の結果については表示していません。

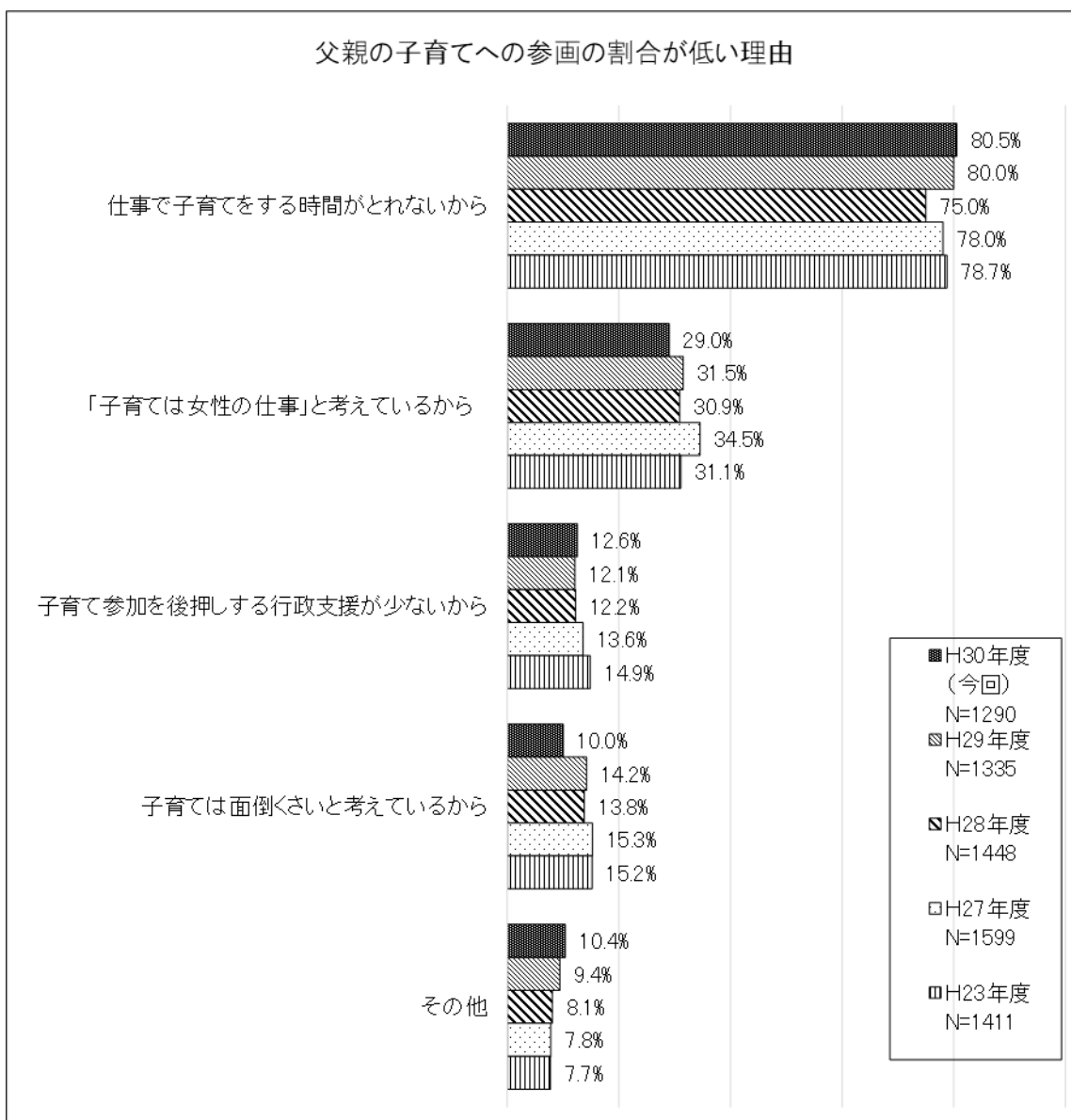
- 父親の平日家事への参画時間は、「0分」26.5%が最も高く、次いで「30分未満」25.5%の順となっています。
- 父親の休日家事への参画時間は、「1～2時間未満」26.6%が最も高く、次いで「30分～1時間未満」20.4%の順となっています。



※設問形式を変更したため、H28 調査の結果については表示していません。

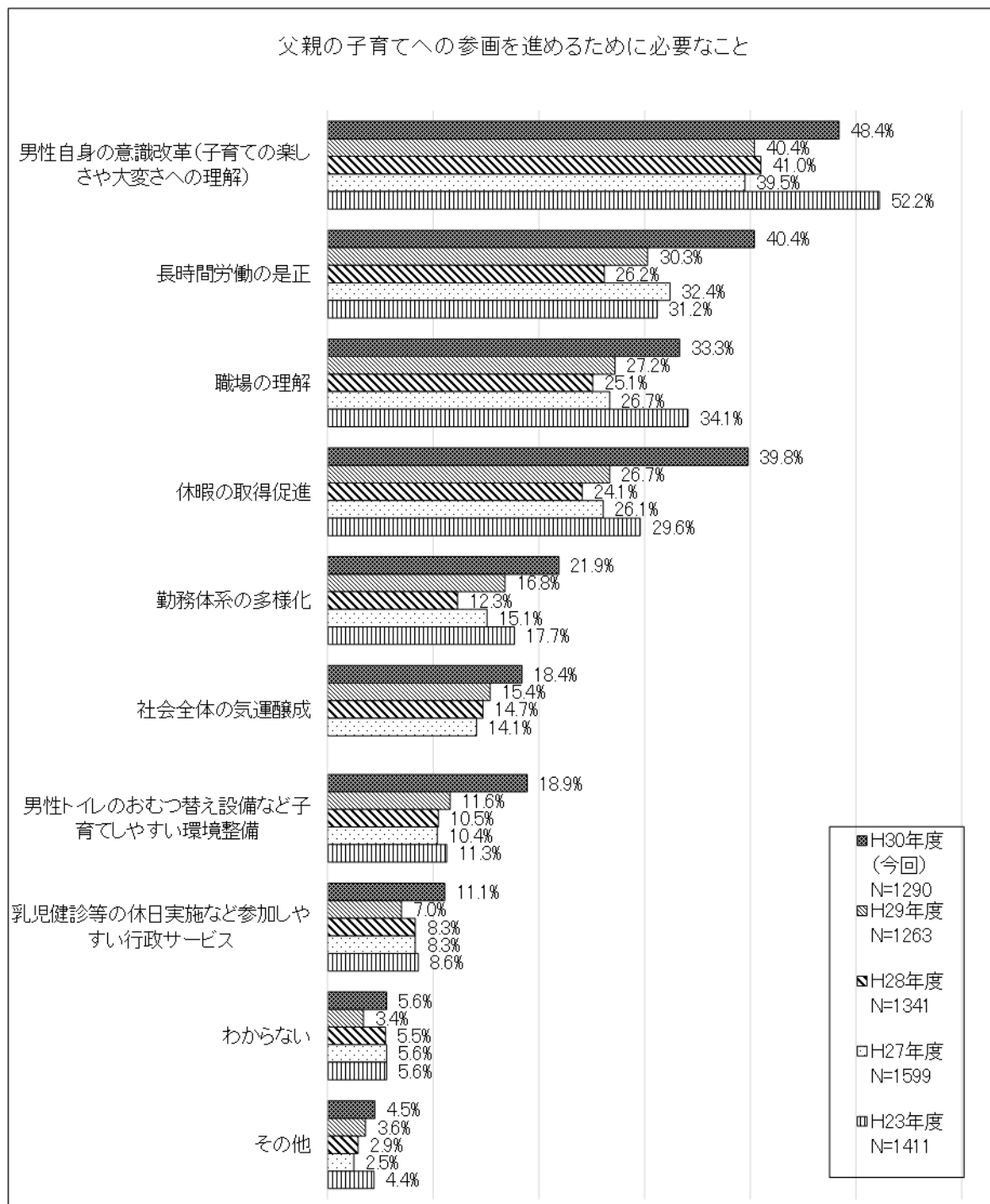
父親の子育てへの参画の割合が低い理由（問 29 複数回答）

- 「仕事で子育てをする時間がとれないから」80.5%で最も高く、次いで「子育ては女性の仕事と考えているから」29.0%の順となっています。



父親の子育てへの参画を進めるために必要なこと（問 30 複数回答）

- 「男性自身の意識改革」48.4%で最も高く、次いで「長時間労働の是正」40.4%となっています。前回調査と比較すると、「男性自身の意識改革」が8ポイント、「長時間労働の是正」が10.1ポイントそれぞれ増加しています。

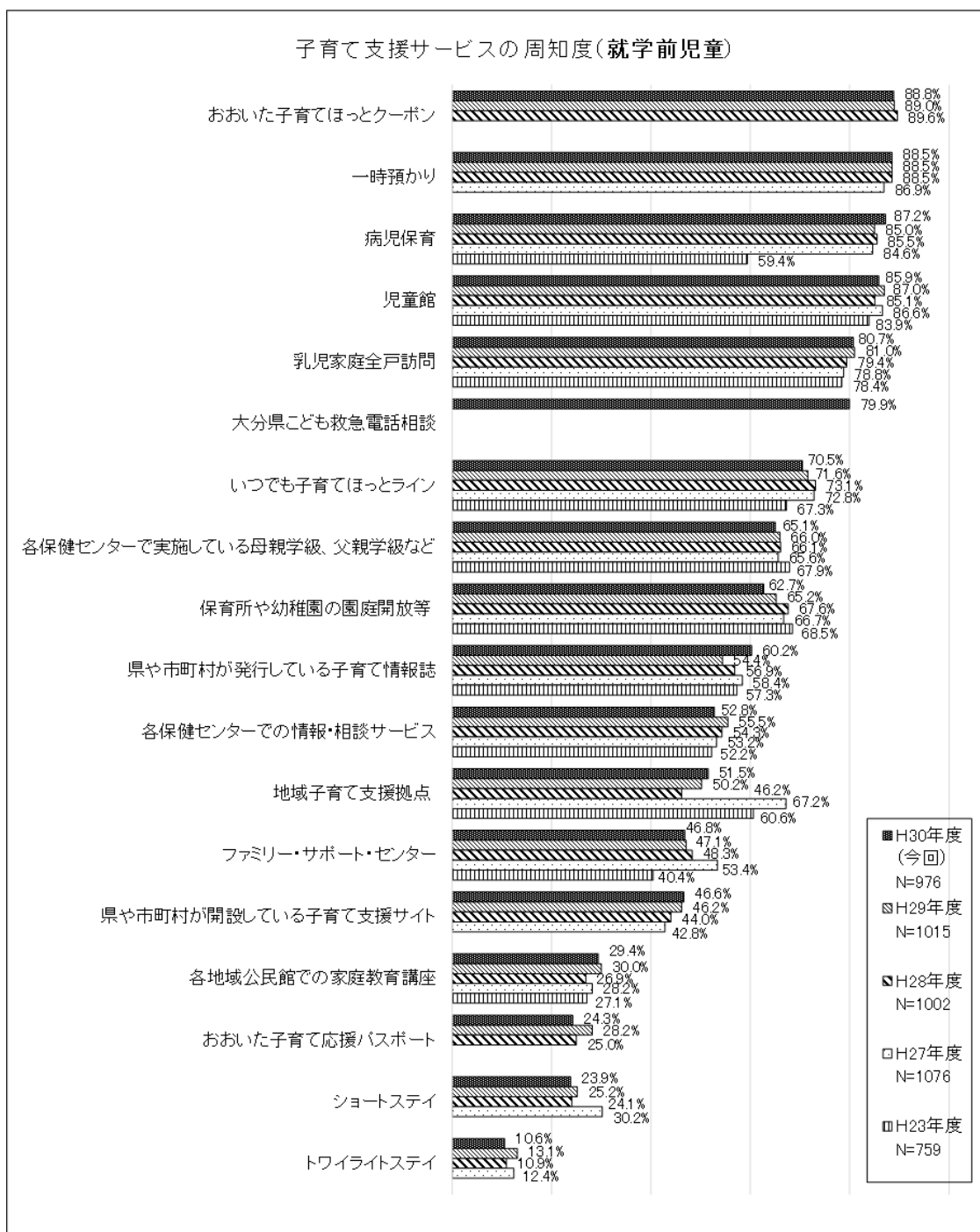


(4) 子育て支援策の評価・期待

子育て支援サービスの周知度（問 31 複数回答）

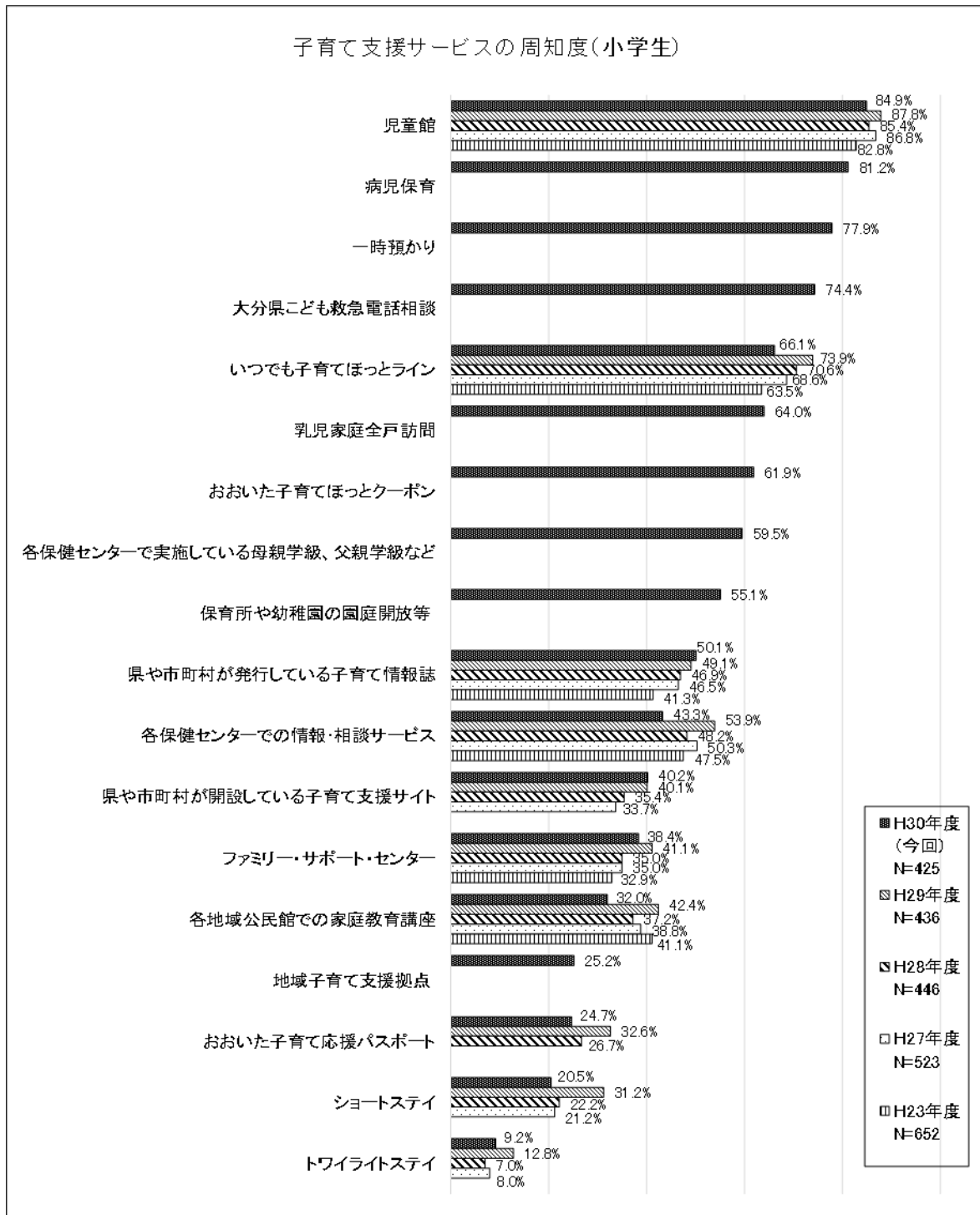
【就学前児童】

- 就学前児童の親に周知されている子育て支援サービスは、「おおいた子育てほっとクーポン」88.8%、次いで「一時預かり」88.5%の順となっています。
- 今回初めて調査対象とした「大分県子ども救急電話相談」の認知度は79.9%となっています。



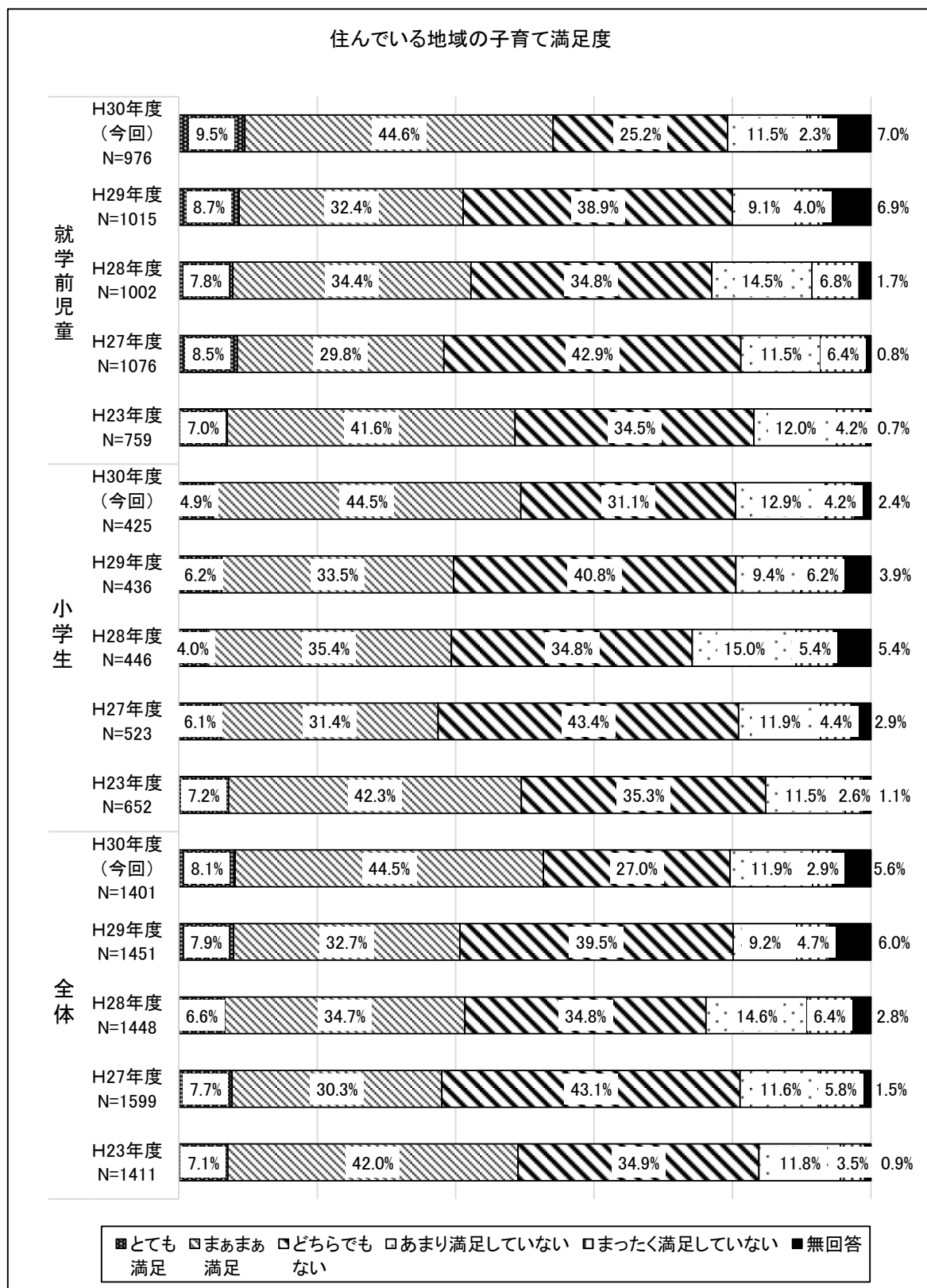
【小学生】

- 小学生の親に周知されている子育て支援サービスは、「児童館」84.9%、次いで「病児保育」81.2%の順となっています。
- 今回初めて調査対象とした「大分県子ども救急電話相談」の認知度は74.4%となっています。



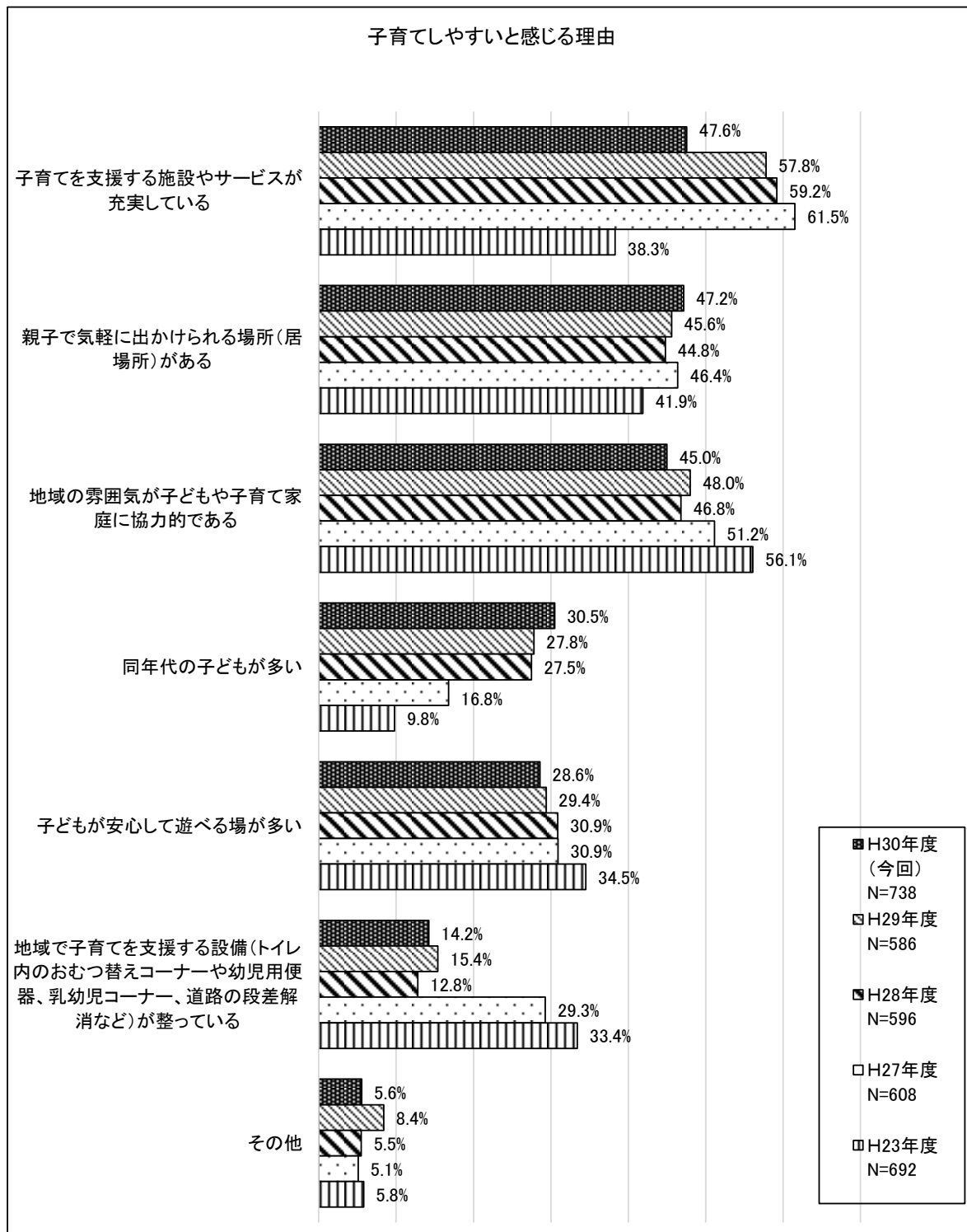
住んでいる地域の子育てのしやすさ（問 32）

- 子育てしやすい（とても満足+まあまあ満足）と感じている人は、就学前児童 54.1%で前回調査より 13 ポイント増加しており、小学生 49.4%で前回調査より 9.7 ポイント増加しています。



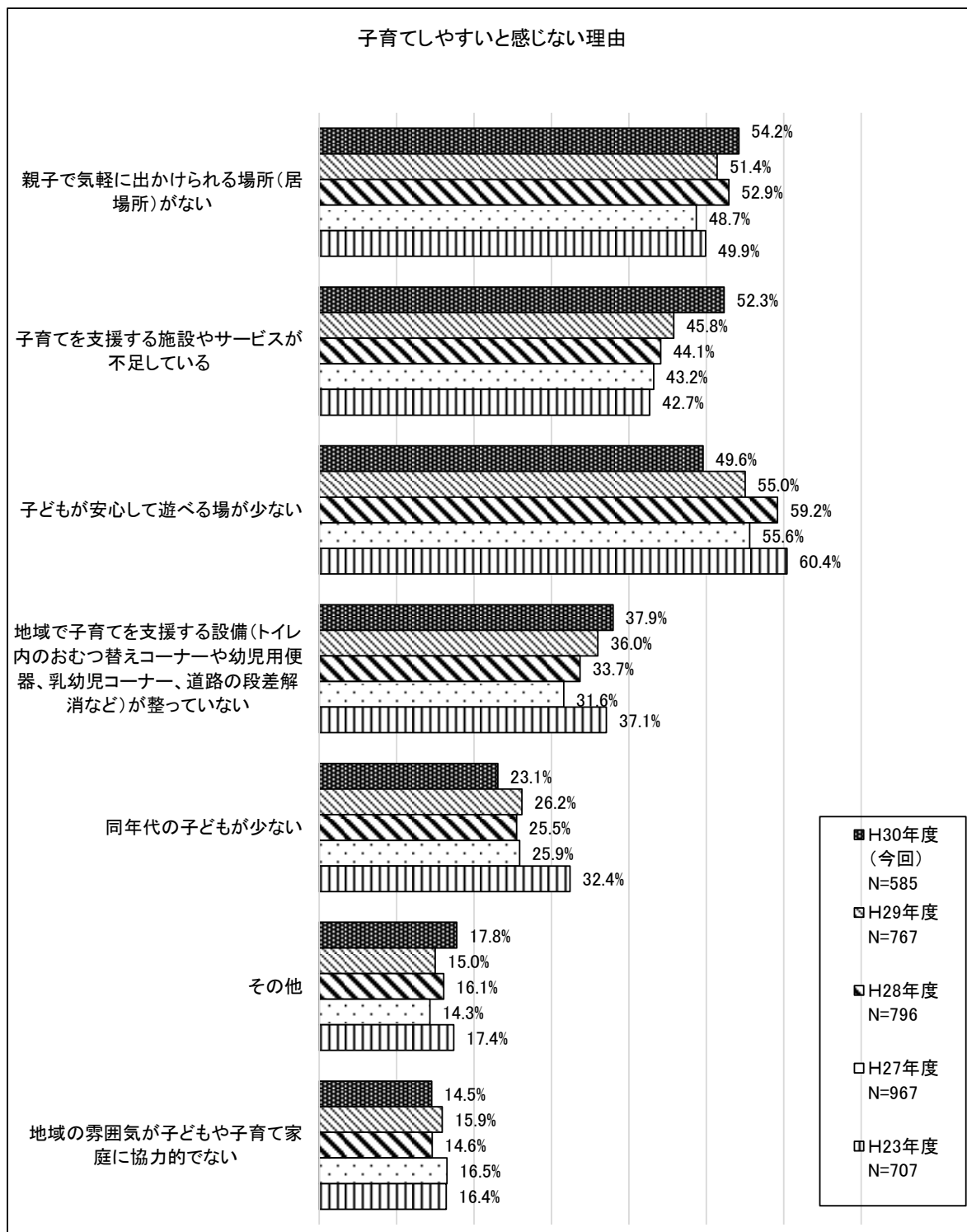
住んでいる地域が子育てしやすいと感じる理由（問 33 複数回答）

- 「子育てを支援する施設やサービスが充実している」47.6%で最も高く、次いで「親子で気軽に出かけられる場所（居場所）がある」47.2%となっています。



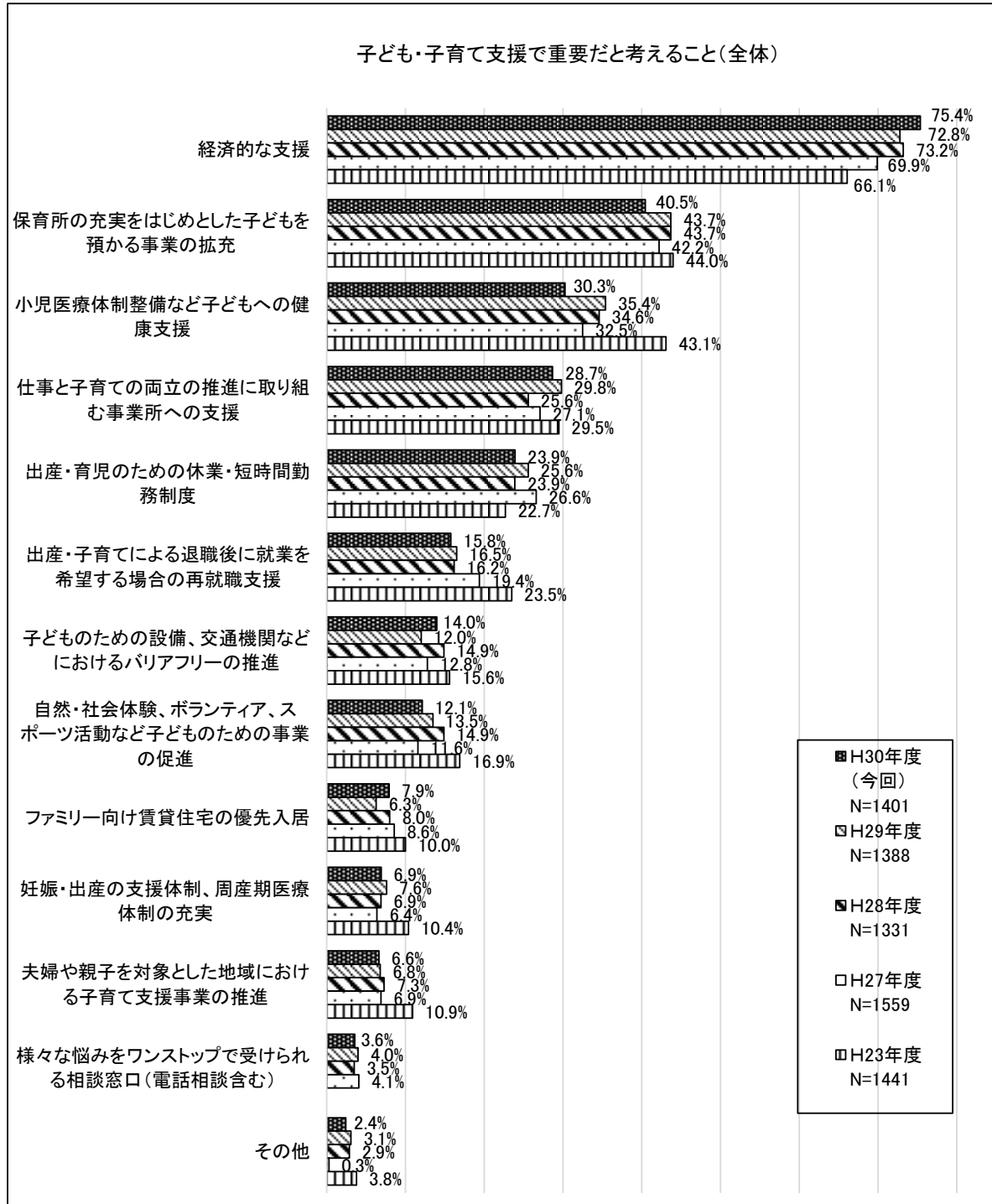
住んでいる地域が子育てしやすいと感じない理由（問 34 複数回答）

●住んでいる地域が子育てしやすいと感じない理由は、「親子で気軽に出かけられる場所（居場所）がない」54.2%で最も高く、次いで「子育てを支援する施設やサービスが不足している」52.3%の順となっています。

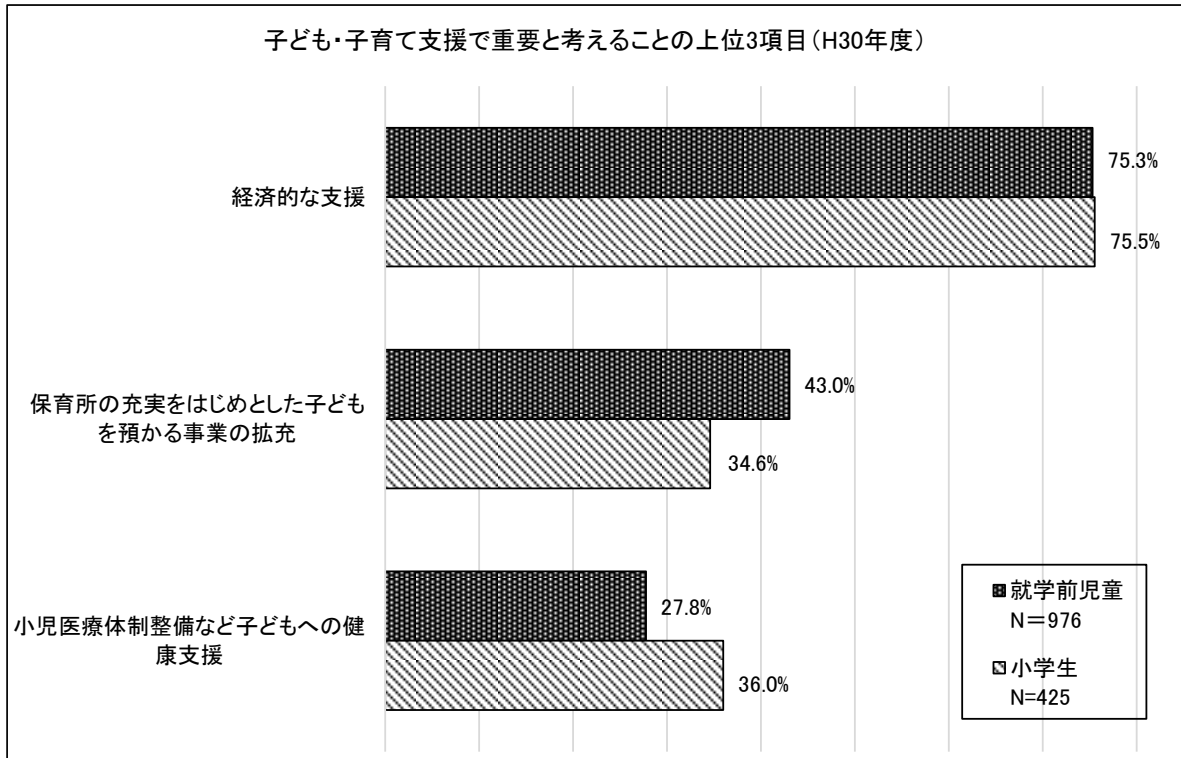


子ども・子育て支援において重要であると考えるもの（問 35 複数回答）

- 子ども・子育て支援において最も重要と考えているのは、「経済的な支援」で前回調査よりも2.6ポイント増加しています。次いで、「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」40.5%となっています。

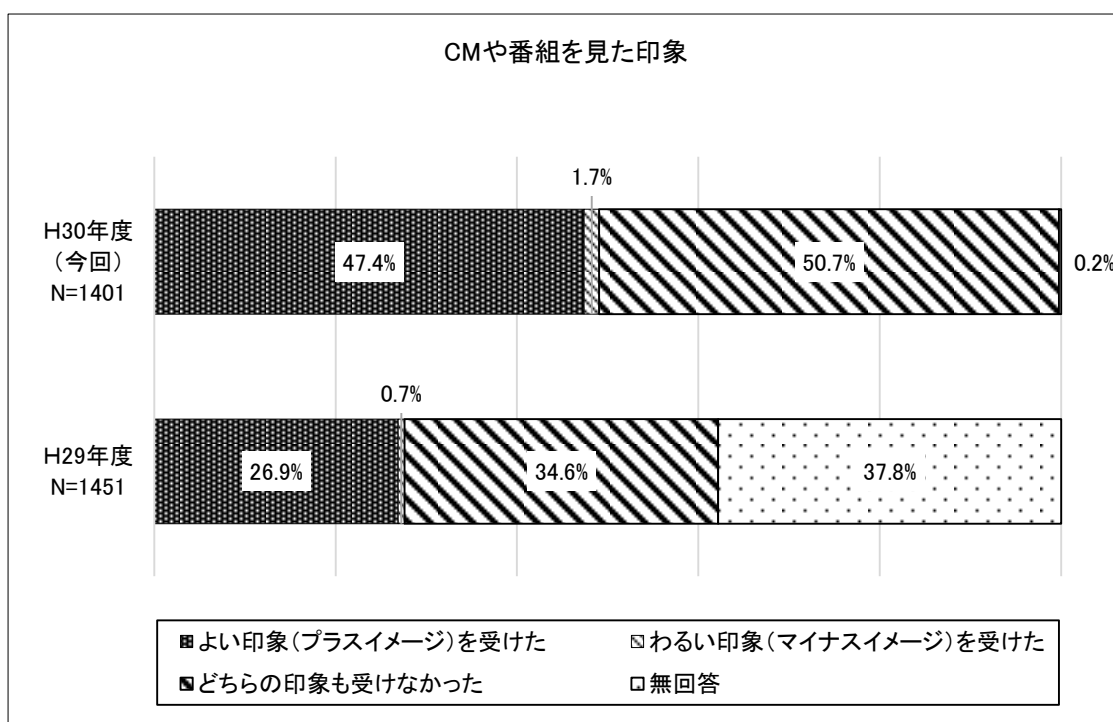
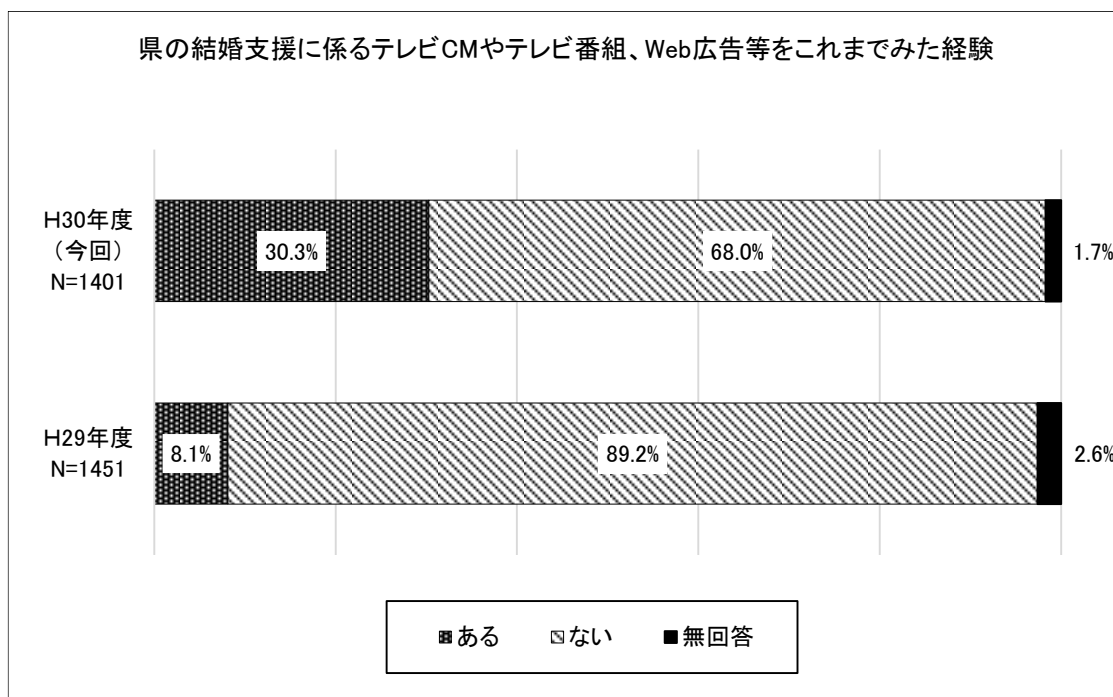


- 上位3項目について、就学前児童では「経済的な支援」75.3%、「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」43.0%、「小児医療体制整備など子どもへの健康支援」27.8%、小学生では「経済的な支援」75.5%、「小児医療体制整備など子どもへの健康支援」36.0%、「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」34.6%の順となっています。



「結婚・子育てポジティブキャンペーン」の認知度（問 36）

- 県の結婚支援に係るテレビCMやテレビ番組、Web広告等をこれまでに見たことが「ある」30.3%で前回調査より22.2ポイント増加しています。
- 実際にCMや動画をみた印象については、「よい印象（プラスイメージ）を受けた」47.4%と前回調査より20.5ポイント増加しています。



(5) その他の具体的内容

問3 子どもとの同居・近居の状況

問3 あて名のお子さんとの同居・近居(概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況。(その他記述)	
就学前 児童	叔父
	叔父同居
	姉
	叔母
	叔母近居
	母同居、父海外赴任
	母近居
	叔母同居
	兄、姉
	父単身赴任
	仕事の関係で父別居
	母同居、父単身赴任
	兄2人
	姉近居
	曾祖母近居
	弟同居
	曾祖父母同居
	叔母・叔父近居
	曾祖母同居
	親戚近居
	姉家族、父の友達
	叔母、従妹近居
	父単身赴任中
	弟
	曾祖父
	祖母の姉同居
	市外・県外
	曾祖母近居
	姉、兄
	叔母、曾祖母、父海外赴任
	叔父・叔母
	祖父母近居
	従妹、叔母
祖祖父・叔母同居	
兄弟	
施設入所	
叔母、兄	
叔父・叔母近居	
叔父、曾祖母	
祖祖父同居	
叔父、叔母	
父別居中	
母同居・父単身赴任	
祖祖父、祖祖母同居	
叔父	
母同居父単身赴任	
叔母	
父単身赴任	
祖祖母同居	
兄弟同居	
姉二人	
叔父、叔母近居	
叔母、大叔父	
父近居	
姉	
兄2人同居	
曾祖母同居	

問5 子どもの身の回りの世話などを主にしている人

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方は、どなたですか。(その他記述)	
就学前 児童	父親・母親両方
	近所
小学生	叔父
	祖母
	父親・母親両方
	姉
	兄

問15 子どもを育てていてよかったと思うこと

問15 子どもを育てていて良かったと思うこと。(その他記述)	
就学前 児童	ちょっとくらいの事では動じなくなった。心が強くなった
	言葉づかいの大切さがわかった
	子どもが健康的であること
	子どもができたことにより、自分がとても成長できた
	自分自身が産まれてきて良かったと思えた
	自分の人生が、より有意義なものになった。様々な事に前向きになれた
	自分より大切な存在がいることを幸せに思える
	祖父母の家に帰ることが増えた
	食事や運動が一緒にできる
	自身の親への感謝が出てきた
	実年齢より若くみられることが多い
	幸せを感じる
	自己中心的ではなくなった
	子どもと一緒にいることで幸せを感じる
	社会のありがたみに気づけた
	行事を大切にするようになった
	ストレスしかない
	子どもメインのレジャー施設の利用ができる
	母になれたことで、産まれてきて良かったと思えること
	すごくかわいくて、癒される
小学生	いとこ同士も子どもを通して結びつきが深まった
	自分の親に孫を見せられて良かった
	子育てから多くを学び自分も成長できたと思います
	よくわからない
	生きがい
	人生が豊かなものになった
	自分のDNAを感じる
	子どものお陰で自分も成長できる

問 19 子育てに関する情報の入手先

問19 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。(その他記述)	
就学前 児童	職業として
	仕事柄(保育園勤務)
	フリーペーパー
	講演会、セミナー
	母親同士の会話
	療育施設
小学生	海外の育児書
	本
	健診
	病院
講演会、勉強会、茶話会、ブログ、受診時	

問 20 子育てにかかる費用について負担が大きいと感じているもの

問20 子育てにかかる費用において、もっとも負担が大きいと感じているもの。(その他記述)	
就学前 児童	おもちゃ
	生活費
小学生	保険
	学校などの準備物、保育料
	将来のことを考えての貯金
	学費(高校生)
	教育費全般
	小中学校の毎月の集金やPTA会費3人分
	市町村によって給食費、医療費無料と違いがあるところ
	学校でかかる月謝、給食費
	保育料、学費(高校～大学費用)
学費、日常生活	

問 25 病気の回復期の対応

問25 お子さんが病気の回復期であった場合についての対応。(その他記述)	
就学前 児童	まだ病気にかかっていないので分からない
	生まれてから、一度も退院していない
	家業手伝いのため子どもと一緒に出社し、看護しつつ仕事をした
	病気になったことがないので、まだ分かりません
	祖母に片道30km以上ある自宅まで来てもらい、母親が年休を数時間とり、交代して対応した
	1, 2の両方、日による
	保育園に預けられないので、妻が仕事に行けないため、仕事を一時停職状態にし、自宅で看護した
	ある程度すると、病児を1人家に残して仕事に出るしかない
	自営業なので子守しながら仕事をした。大変だった
	仕事を始めてまだ休んでいない
	母親と祖母の休める方が休み、看護した
	預けられないので、仕事が始められない
	店に連れて来たり、家でみたい
	1,2,4それぞれあった
	当時は、仕事をしていなかったため、保護者自身が自宅で看護した
小学生	自営なので看護しながら仕事しています

(2) 今後どのように対応したいですか。

問25 お子さんが病気の回復期であった場合についての対応。(その他記述)	
就学前 児童	普通の保育園でも預かってほしい
	無理のない範囲で祖母にみてもらい、仕事を休める時は母親が看護したい
	1, 2の両方、日による
	臨機応変に
	預けたいが、無理なら仕事を休んで看護する
	分からない
	母親が休める時は休み、無理な場合は祖母へ依頼し看護してもらう
	仕事を休んで看護したいが、現実無理があるので、見てくれる人を探す
	保護者がするしかない
小学生	仕事を始めた場合、休める時は休み、そうでない時は祖母にみてもらう
	自営なので看護しながら仕事しています
	仕事を休むことはできないが親が看るべき

(3) (1)と(2)の回答が異なった場合、その理由を教えてください。

問25 お子さんが病気の回復期であった場合についての対応。(その他記述)	
就学前 児童	自分で看護したいが、仕事を休みづらいため
	病気は急になるので、前もって預けることが難しいので
	いつか仕事をする予定なので
	職場に迷惑となり、申し訳ないため
	急な休みや、何日も連続した休みを取りにくい仕事のため
	仕事をし出したら、やはり自分で看たくても看れないのではないかと
	一度、子どもが悪い時に休みを取ったが、その後シフトに制限がかかったため
	母親の仕事が不定期の為、やむを得ない場合は、病児保育にお願いしたい
	仕事を変わったばかりで休みにくいし、休むと仕事がたまる
	職場に病児保育があるため
	今は、仕事をしていないが、今後、仕事をしたい
	入院中
	祖母の負担を減らすため
	実家の親に頼りたいが、高齢の祖母と暮らしているので、感染の可能性が高いため
	どうしても休めない時は仕方ないが、本心は休んで自分で看護したい
	仕事復帰予定のため、休みをとれるか不明
	4人いるので、休んでいたら仕事にならない。病児保育の人数が少ない
	病児保育施設があれば、利用したい
	育休明けは仕事を休みたい。現実的には忙しく無理だと思う
	最近になって仕事を始めた
	休みたくても休めない。病児保育の空きがなかったり、場所が遠いため病児から通えない
	仕事を休むと、有給が減り、使い終わってしまっただけで休んでしまうと、控除がくるため
	現在は、母親も仕事をしているため
	職場の人員等の関係で休みづらいので、今後も共に出勤して・・・となると思います
	一応は休ませてくれるけど、すごく不機嫌になるので、熱があっても先生に内緒で預けて、すごく罪恶感です
	仕事を休むと、生活に支障が出る。保育園代も高いし、習い事や子育てにお金がかかるから、なるべく働く選択になってしまう
	突発的に仕事を休みたくない。休みの制度があるとはいえ、理解があるとはいえ、休みづらい
	仕事場の人数不足のため、休みづらい
	できるだけ自分が看護してあげたい
	自分で看護したいが、長期は仕事を休めない。
	子どもを看護したいが、長く休みを取れないため
	一部の同僚に陰口など言われるので、自分で看護したくても、休みづらい
	自分で看護したいが、仕事が休めないため
	今後、仕事を始めたいと思っているため
	最近、病児保育施設環境が整った。まだ登録していない。時間がなくて登録できていない
	長くは休めないため
看病中に自分が子どもから移った風邪できつい時に、近くに預け先がなく、何週間もこじらせたから、公的な場で一時保育のような手続きなしで、短期間預かってもらいたい	
以前は仕事をしていなかったため、自分が看ていたが、仕事を始めたため、休むしかないと思う。病後児保育施設を利用してみたいが、身近ではない	

就学前 児童	仕事をしていなかったため母親が看病できたが、今後仕事を始めた場合も、子どもが病気の時は休んで看護したい
	病児保育に預けたかったが、定員などがあり、必ず入れる訳ではなかったため、希望を込めて
	本当は自分で看護したいが、仕事が休めない
	本当は年休も山ほどあるし、育児部分休業など取得したいが、職場が人手不足で休めない
	先月から働きだし、まだ体調を崩したことはないが、今後、熱などを出しても、休んでよいと勤め先からの理解がある
	働き始めたから
	今後は、仕事をしたいと考えているから
	人手不足が深刻で、休みづらい。祖父母も働いているため、いつも預かってもらえるとは限らないため
	自営業なのでなかなか休めない。でもその時で休める時もある
	有給を利用したいが、上司に理解が得られないため
	今は仕事をしていないので自宅で看護できるが、今後、仕事を始めたら、仕事で少し休みをもらったり、祖父母にお願いすると思う
	シフト制のため、休みを変更しづらい
	看護休暇日数が足りない。子が4人いるため
	成長して病気になる頻度が少なくなり、有給に余裕が出てきたため
	上司の理解がないため、仕事を休みづらい
	あくまで希望で、近くに利用できる施設がないので、無理かな?
	仕事を始めたが、これまで通り自分で看護したいため、仕事を休みたい
	病気の時は、自分がそばで看たいから
	仕事をしないと、生活できないため
	現在、育児のため
	仕事を続けて休むのは、職場に迷惑をかけてしまうので、なるべく祖父母にお願いしたい
	回復期であっても心配なので、自分で看たいが、シフト制の仕事のため、休むと職場に迷惑がかかるので
	現在は農業をしているので、融通が利くが、転職を考えているため
	実家が近くないので、できれば最寄りの病児保育施設があれば、そこに預けるほうが良いので
	以前は仕事をしていた、休みを取りづらかったが、現在は仕事をしていないため
	自分で看護したいが、自分の給料が減ると生活が苦しくなるため
	子どもが小さい時に比べ、動きが激しく祖父母では安心して預けることができないため
	仕事を休むと、仕事内容に支障が出るため
	子どもが病気の時はそばにいたい、仕事を休みにくいのでできない
	自分で看護したかったが、仕事を休みづらかった
	仕事を休んだ分、休日出勤をする必要があるため
	仕事を休んだら給料が減るから、なるべく休みたくない
	来春から新しい仕事を始めたいが、子どもが病気の時は休ませてもらいたい。また、気軽にそれを申し出られる環境の職場に巡り合えればと思う
	子どもが苦しんでいる時は、仕事より子どもを看護したい。しかし、重要な仕事がある時は、母親や病児保育に頼むしかない
	病児保育施設などを利用したいが、市内に一カ所しかなく、しかも自宅から遠い
	現在は、休みがとりやすい職場に転職したので、家で看護ができるから
	自分で看護したいが、学費の負担が非常に大きく、働かなければならない。また、祖父母も子育てにまったく理解がなく、協力は得られない
	仕事をせずに子育てに専念するのが、子どもにとっても親にとってもベストだと思う。子育て補助金を上げるべき
	自分で看護したいが、職場の理解がないため休みづらい
	子どものそばにいてあげたいが、仕事をやすみづらい
病状によります。高熱などの場合は、親元が子どもも安心だと思うので、親が休んであげたいですが、軽症などで保育園規定で預かれないという時は、親族、病児保育を利用したい	
職場の人数が不足しているため、数日間の間、休みづらいため	
仕事を休むと、給料が減る。病児保育施設だとプロなので安心できる	
仕事をしていないので	
兄弟もいるため、もし他の子が病気になった場合、長期仕事を休むため、出来ることなら預けて仕事に出れるなら出たい	
3人目が生まれたら生活が苦しくなるので、仕事をしなければならぬ	
仕事で休むことができない。「病児保育を利用してでも出勤する」という職場の考え	
働いていなくても病児が利用できること知ったため、一人っ子ではないので、他の子の状況が行事などと重なった時などは利用したいと思った	
母親が新しく仕事を始めたため	
まだ経験していないため	
義母が退職したので、面倒をみてほしい	
仕事を休むのが現実的には無理なので	
近々、仕事を始めたいと思っています。就労後、子どもの病気等でちゃんと休みが取れることを希望しているから	

就学前 児童	職場で休めない環境の際は、病児保育を利用したい
	施設ができたので、利用したい
	パートを休むと、給料に響くので困る。職場は、わりと休みは取りやすい職場である
	職場から休むように言われた
	病児保育を利用したかったが、満員で利用できなかった
	これから働く予定のため、働いていても自分で看護したい
	子どもが多いため、仕事を休むと収入が減るため
	理想は自分で看たいが、実際は仕事が休めず、実家に預けることになる
	育休の為、自分で看護できたので、今後仕事に復帰しても、仕事を休んで看護したい
	今の職場は、休みは取りやすい。以前は、休みづらかった
	何日も続けて休めないので、回復期は預けたが、特に子どもが小さいうちは、環境があれば自分で看護したいから
	自分で看護したいが、仕事が休みづらい
	仕事を休みたいが、人手不足のため
	祖父母が体調を壊したため頼れないので、仕事を休むか、病児保育で対応していきたい
	仕事の人数的になかなか休みにくい
	慣れない環境の場所に預けるのが、かわいそうだから
	緊急や重病以外は、休みを取りづらい
	病気の時は、母親が安心すると思うので、自分で看護したいが、仕事が休みづらい
	なるべく自分で看護したい
	保育園の入所がなかなか決まらず、仕事ができないため、家で見るしかない
	長期間の病気の場合は、特に仕事を休むことができない
	仕事を始めたばかりで、年休もなく欠勤扱いになるので、休めない
	祖父母が高齢になってきたため
	復職してから急な休みに対応できるかが分からないので
	母は去年まで仕事をしていなかったが、今年4月から実家で祖父母と同居、父は単身赴任中
	きちんと良くなるまで側にいてあげたいが、休めない
	数日続けて休みづらいため
	数日間仕事を休むのは、会社的にも金銭的にも余裕がなくなるから
	これから働く予定なので、職場に理解を得てもらい、仕事を休んで自分が看護したいと思っている
	今は仕事をしていないため
	自分で看護したいが、数日続けて仕事を休みづらいため。男性はさらに休みづらい
	ゆっくり家で見てあげたいけど、なかなか仕事を休めないため
	生活費が減ってしまうので、できれば仕事をしたい
	日出町に病児保育施設がないので
	自分で看護したいが、祖父母も高齢の為、何日も預けられると疲れるから
	自分で看護したいが、連日仕事は休みづらいため
	自分で看護したいが、仕事を休みづらいため。祖母も仕事をしているため、自分が休む時もあるが、とても気まずい
	今は仕事を辞めているので、自分で看れるため
	祖母は仕事をしておらず、快く見てくれるので
	仕事を休みづらいから
急に仕事が休みづらい	
今後、就職予定の為	
自分も祖母も働いているため、何日間もは休みづらいため	
自分で看護したいが、仕事を休みづらい	
仕事が休めないから	
病気になった場合は、自分が看護したいと思っている	
病児保育の手続きが面倒だったので	
自分で看たり祖母に預けたいが、仕事を休みづらく、祖母の予定とも合わないことが多いため	

就学前 児童	自分で看護したいが、何日も仕事を休みづらい。仕事が溜まってしまう為
	仕事は休みやすいが、周りや仕事のことが気になり、周りに預けている。本音は、子どもの側にいてあげたい
	当日休むことを伝えると欠勤になってしまうため、休みづらい
	最近、仕事を始めたため。できる限りは、休みを取ってあげたい
	現在、育休中の為看護できるが、復帰してもなるべく自分で看護したいと思ったから
	休みをもらえる仕事をしていたので、そういう仕事を探して、仕事をしたいが難しいと思うのが苦痛
	預けるのもお金がかかるし、事前登録が必要だから
	自分で看たいが、回数が多いと休みづらいため
	祖父母も働いていて迷惑かけられない
	仕事を始めたら祖父母に預けたい
	年休が残り少なく、仕事を休みづらい
	自分で看護したいが、仕事が休みにくく、休んだ後、仕事に行き謝罪が面倒
	今後仕事復帰するため
	今まで仕事をしていないけれど、就職するつもりなので
	これから働く予定なので、職場に理解を得てもらい、そうしていきたいと思っている
	子どもとの時間を大切にしたいから
	病児保育も調べたら、受けるための手続きが大変で、利用を断念した
	今は仕事をしていないが、今後は始める予定なので、その時は今とは少し状況も変わると思います
	シフト制なので、急に休めない。できれば側で看護したい
	子どもが体調を崩している時くらいは、一日中甘えさせてあげたいので、仕事を休みたいが、仕事は休みづらい
	自分で看たいが、仕事を休めない
	出来れば自分で看護したいが、勤務形態上、休むことができない
	祖父母も高齢で、あまり負担をかけたくない
	自分で看護したいが、連休は取りづらい
	出来れば自分で看護したいが、仕事を休みづらいため
	今の会社は、育児に理解のある会社なので
	子どもが病気の時は、ついてあげていたい
	上の子と下の子で移りあってほしくない。まだ小さいので安心して預けられる所があれば利用したい
	元気になるまで側についてあげたいが、何日も連続して休むことはできない
	連日は休みにくいため、病児保育施設があると、祖父母に預けるより安心できると思う
2人目を出産したため、仕事を辞めた	

小学生	来年から仕事をする予定なので祖父母に預けたい。なぜなら仕事を休まず安心して預けられるから。仕事を休みづらい
	自分で看護したいが、何日も仕事は休めないで、父や祖父母と分担して看護したい
	仕事を休みづらい。理解されにくい。パートの為、給料に直結する
	来年から仕事をするため
	自分で看護したいが、仕事を休みづらいため
	前の時は仕事をしていなかった為
	年休が年10日。インフルになると一気に欠勤となり、職場での評価が下がる。結果、更新してもらえない
	回復期に仕事は休みづらいので祖父母に預けるしかない。長くは休めない
	今は仕事をしていないので回答が異なります
	仕事を長期に休むことは気が引ける
	ベビーシッターを利用したことがないが今後利用してみたい
	現在は仕事(パート)をしている為、仕事を休んでも自分が看病したい
	仕事が融通がきくため、休んで看護できる
	祖父母も仕事をしているため負担をかけたくない
	母親が病気の為
	自分が看護したいが、パートの為、休むと給料にひびくので給料が減ると厳しいため仕方なく両親に頼っています
	祖父母の負担が大きい。こんな時くらい堂々と休みを取りたい
	なるべく仕事は休まずに病児保育に預けた
	病児保育もお金がかかるし、高い。いっぱいだと断られたりするので
	完治するまでは自分で看護したいけれど仕事を休みづらいため
	現状では祖父が見てくれる環境にあるが、年齢的にも負担はかけられないため
	祖父母も仕事をしているため、なかなか頼めないから
	子育ての間、仕事をしていなかったため看護できた
	祖父母も高齢になってきたので
	特にインフルエンザなど異常行動など起こす可能性もあり、祖父母に預けても心配なので、自分で看たいし、子どももその方が安心するだろうと思うので
	自分で看護したいが休みを取りづらいため
	理想と現実のギャップです
なるべく仕事してお金を稼ぎたいから	
妻の死	
祖父母が高齢や体の不調を訴えているため	

小学生	預けることを考えていない
	最近働き始めたのでこれから子どもが病気になった場合、パート先に伝え休みを取らせていただく。(勤務先の融通がきく)
	施設そのものが満員で利用できなかったため
	祖父母に預けたいが実際は難しい
	会社での立場上、仕事を休みづらいため
	何日間も仕事は休みづらい
	子どもがもう大きいので病気をしない状況と仕事が休みづらいのでほぼ一人で留守番できるので祖母に預けて仕事に出るしかない状況です
	自分で看護したかったが、なかなか仕事を休めず祖父母に預ける事となった。本当はすべて見たかった
	前の職場と違い、理解ある職場だから
	仕事を始めてからは子どもが病気をしていないため
	祖父母に負担を掛けたくないが、自分が仕事を休むと有給が減る。就学前の子なら、子の看護休暇があり有給も減らない。小学生もその制度があるといいと思う
	子どもが小学生になり仕事を辞めたため
	仕事を休めても1～2日程度。休みが取れるようなら自分で看護したいが職場に迷惑がかかるため休めない
	本当は自分が休み見てやりたいが、子ども一人一人病気になった時は、ずっと休めない。(一人っ子なら自分が休めるけど4人子どもがいると休みづらい)
	休んで看護したいが、長期にわたり休むことに抵抗がある。職場の方に申し訳ない気持ちになる
	子どもが大きくなったのでそばにいるのが祖父母でも良いと思う
	最近働き始めたから。ベビーシッターなどに預ける料金より、自分が休んだほうが安いから。近所に預けられる親族がいないから
	年齢的に母親がいなくてもよくなったから。大人がいれば大丈夫になったから
	仕事を休むと手取りが減るので親(祖父母)が近くにいれば預けたいと思っていたため
	2～3日であれば仕事を休むことも気兼ねないが、インフルの解熱後数日間が兄と妹で続くと休みづらい。祖父母への感染が怖いので本当は自分で看護したい
	祖父母の健康状態が悪いため
	最近、働きだしたため
	仕事場に迷惑をかけるので、なるべく休みたくない。できれば自分で看護したい
	仕事が休めない。子どもが1人で休める(親が家に居なくても小学生なので)
	仕事に責任があるので休めないし、休みたくない。子どもは親がいた方が安心する。みんな分かっていること
	以前は仕事をしていて、今は仕事をしていないため
	祖父母も仕事を持っていると預けられないため。自分で看護したいのが本当のところですが、やはり仕事はそう簡単には休めません
	子どもの病時、その他の事情に対応できるように母が退職したので
	自分で看護したいが仕事の休みが取りづらい。(職場の人員数少ないので負担をかけられない状況)
	子どもが小さいころ、働いていた所は休みが取りにくく、祖父母に預ける事が多かったが、現在、働いている所は、理解もあり、休みを取りやすいので、今後は自分で看護したいと考えている

問 27 父親の育児・家事の参画分野

育児 その他

問27 あて名のお子さんの誕生から現在まで、父親は育児・家事のどの分野で参画してきましたか。（その他記述）	
就学前 児童	上の子の相手
	単身赴任でいないので、育児したくてもできない
	休みの日だけ遊び相手をして、ご飯を食べさせて、病気の時の通院をする
	歯の仕上げ磨き
	病気の為できなかった
	食事を作る
	習い事の宿題をさせる
	爪切り
	お風呂からあがった後の着替え
	遠征が多い職業なので、家にいる時はやってくれる
	仕事が朝夜なので休みのみ
	日曜だけ風呂、おむつ、寝かしつけ
	小学生
お風呂、ご飯、おむつ、寝かしつけ、出来る時はする	
一緒に住んでいないため	
習い事の送迎	

家事 その他

問27 あて名のお子さんの誕生から現在まで、父親は育児・家事のどの分野で参画してきましたか。（その他記述）	
就学前 児童	何もしない
	庭の手入れ
	できる時にできる事をしてきている
	洗濯干し・取り込み
	自分のシャツのアイロンかけ、トイレ掃除
	仕事の関係で同居していないので、できていない
	休みの日に夕食を作ってくれる
	病気の為できなかった
	洗車や庭の水やり
	買い出し
	してほしいことや頼みごとがある時に必ず手伝ってくれる
	妻が依頼した簡単な家事をごくたまに
	家計管理
	お願いした事は、何でも手伝ってくれる
	夜の食器洗い、翌日用の米とぎ 言えばするが、その時だけ
小学生	家事には参加していません
	庭掃除
	たまに行う
	父親が休みで母親が仕事の日のみ。昼食の買い出し
	出来る時にする
	米をとぐ。洗濯物を取り入れる
	何も出来ない。何もしない
	休みの時に洗濯など
	日曜日の買い物の運転手
	言えばしてくれるが基本何もしない
兄弟をみていてくれる	
病気の時などは料理などしてくれます	

問 29 父親の子育てへの参画の割合が低い理由

問29 父親の子育てへの参画の割合が低い理由は何だと思いますか。(その他記述)	
就学前 児童	参加してないことに気づいていないから
	子育ても人を育てるといふ大きな仕事だといふ自覚・責任が薄い
	したい気持ちはあるが、実際何をすればいいか分からないから
	何をしてもいいか分からないから
	子どもとどう接していいか分からないから
	母親の方が手馴れていて、本当に必要なときしか参加しないから
	自分の趣味が先だから
	会社の理解がない
	単身赴任のため
	子どもと接する時間が母親よりも短く、そのぶん手を出しにくくなっている感じがする
	趣味に時間を費やしているから
	本人の意識の問題
	子どもより自分優先だから
	子育てしようという意識がない
	分からない
	子どもは母親の方が安心するから、また母親の方が子どものことをよく理解しているから、母親が行った方が早いし、効率的と思っている
	腰痛治療中のため
	育休をとれる環境にない場合が多いから
	何をしてもいいのかわからないから
	上の子のお世話係だと思っている
	父は子育てをしないと強く思っているが、上司や周りの環境が、今の現代の働き方への理解が乏しいため
	自分のやりたいことの時間がとれないから
	そうは思わない
	やる気の問題、気づか気づかないか
	休日は、疲れが溜まっている。関わりたいが、どう関わったらいいかわからない
	子育ては好きなようです
	平日不規則なため、母親との時間がないためなつかない
	母親に主としてしてほしいと考えているから
	病気の為できない
	自分がみても、子どもが泣くから
	夜勤もあり、給料を稼ぐ柱なので、家にいる事が少ない
	楽しさの共有ができていないから
あやし方が難しいと思っている	
やる気がないから	

就学前 児童	仕事で疲れるので、休日はゆっくりしたいと思っているから
	特に思い当りません
	父親が子どもだから、イライラするから、大変さを知らないから
	自分の仕事が大変と思っているから
	母親が口を出すのでしたくないと言っていた
	仕事で疲れて動けないから
	育児は、家にいる方が担うべきだと父母とも考えているから
	社会の風潮
	会社の配慮が少ない
	母親が何でもするだろうと思っているから
	なつかないから
	授乳できないから
	単身赴任中なので、週末しか帰って来ないため
	夫は船員のため、3ヶ月間乗船、1ヶ月休暇となるため、日常的に子育ては難しい
	やり方が分からないから
	子育てへの心持ち・理解不足
	自分の時間が大事だと思っているから
	子どもが母親を求めるから
	休みの日くらいやりたいことをやりたいと思っていると思われる
	労働時間が長すぎる
	高齢
	互いの仕事内容を鑑み取り決めたため
	交代制の勤務の為、なかなか時間が合わない
	自分の趣味や遊びを優先して、いつまでも独身気分だから
	社会自体が「子育ては女性の仕事」のような考えだから、特に年配の人にその傾向が強い
	同居しているから
	仕事が不規則なため、疲労しているため
	時間の使い方が下手だから
	何をしても良いのか分からない
	親たちの姿を見てきているから
	休みがないから
	意識が低い
つつい甘えてしてもらっている	
病気の後遺症により、長時間相手は難しい	
周りの環境	
母親と子どもの関係が出来上がっていて、どの場面で参加していいか分からないから	
母親を求めるから	
父が家事をする姿を見て育っていないから	

小学生	周囲(親)の理解が得られないから
	自分が優先だから
	母が主にみる流れができているから
	何を自分が分担すればよいかわからないから
	産んでいない、補佐という立場。主体的ではなく助けるという立場。歴史的にも社会的にも根強い感覚
	女性が気付きやってしまうから
	心療内科に通院していて余裕がない
	仕事で疲れ果ててたまの休日にはまずは睡眠を優先しないと体がもたないから
	仕事でほぼ家にいないからできない
	仕事で疲れているから
	周りも母親が主となって子育てをしている家庭も多く、父親がその環境で情報交換などコミュニケーションをとるのが難しい
	スマホのゲームをしている
	低いと思っていないから分からない
	参加の割合が低いのではなく、参加の仕方が違う。父親はあまり色々言うべきではない。するべきでない
	関わり慣れしていないので
	疲れているから
	一緒に住んでいなく、週末しか一日中一緒に居る時間がないから
	夫婦間のコミュニケーション不足のため
	周りに家事をしてくれる人がいるから
	単身赴任中
	気分次第
	自分がしなくてもどうにかなると思ってるから
	妻がついついさきにしてしまう
	子育てに気が回らない
	自営業の為仕方ない
	夫の父親が何もしていなかったので、自分もしなくてよいと考えているのでは
	母親があてにしていないから
	子どもよりも自分だから
	性格に育った環境があり男はしない
	そういう風には考えていなかった。周りの人は皆、協力的だから
	男に向いてないから
	余暇時間はゆっくり過ごしたいから
	子どもの相手をするのが苦手
	ともかく仕事が忙しいのが仕方ないのでそれでいい
親と子が一緒に居られるだけで子育てしていると思います	
学校関係のことなどは妻が行けばよいと考えているから	
母親の仕事時間が短く、母親が主に子育てをしているから	
自らしようという考え自体ないから	
興味がなさそう	

問30 父親の子育てへの参画を進めるために必要なこと

問30 父親の子育てへの参画を進めるために必要なことは何だと思えますか。(その他記述)	
就学前 児童	母親がしっかりしていれば、そこまで必要ない
	収入UP
	本人の気持ち
	分娩施設や行政が行う父親教室などへの参加義務化
	手伝った時に、妻があこれ言わない
	母親が子どもを独占し過ぎている
	働き盛りの40～50代の男性(上司)の方たちの意識を変化させる講演等
	女性の給与増加
	母親が父親にきちんと指導する以外に父親学級など
	金銭的な支援
	男性のみ参加の乳児健診やイベント
	夫婦の時間をきちんと持つことが必要だと思います。きちんと2人で話し合うべき
	自営なので仕方ない
	学校の保健体育の授業に入れる
	母親の就労
	父親である友人たちとの子どもを含めた交流など
	母子家庭に育児手当があるように、父子家庭にも育児手当がもらえることを望みます
	国や自治体が父親を強制的に参加させるセミナー等(妊婦の大変さ、出産の大変さ、育児の大切さ等)を行うべき
	部活時間の調整
	妻を思いやる気持ちを持つ
	5対5の実現ではなく、個々の実現可能な分担が目指されていないのでは
	所得の向上
	子育て中心の考え方が当たり前の風潮をつくる
	長時間労働でないほうが手伝ってもらえるが、そうすると収入が減ってしまう為、実現難しい
	父親教室のようなものがあると理解しやすいと思います
	スマホのゲームを無くす
	自身の環境にもよるので、一概に言えない
	所得が上がること
	自営の為、仕事の都合で難しい部分は多い。その中で、できるだけ子育ての協力をしてくれていると感じます
	思春期からのイクメン教育
	父と子の触れ合う場・イベントに参加しながら関わり方を学べるようにすること
	中・高の頃から科目として学習しないとムリ
	男性と女性ではやり方が異なることを理解しあい、「おしつけ」や「やらされ」感のないようにすれば、男性もかなり上手に育児参画できると思います
子どもの為にできる限り時間を作ってくれるが、自営なので一日休むことが難しく、これ以上は望めない	
「父」の意識	

小学生	給料のベースアップ
	女性の意識改革
	自営業などは給料の保証がないため休むのが困難
	これ以上の参加は必要ないと思う
	父親(男性)の幼少期からの家庭内での教育
	気持ちはあっても実際に仕事を早く切り上げられない物理的な問題があり。その問題はその会社等の問題、努力だけではなく社会全体の構図からの問題であったりするので
	女性への「パパ育成」の研修。はじめが大事
	頭が固い年寄りがいるから
	よくしてくれている
	子育てする人はするし。しない人はしないと思います
	子どもの頃から子育てや家事を夫婦でするものと教えていなければ自然にそうなることは難しい。学校での教育をしていくことも必要と思う
	長期の県外出張を無くす
	学校等で子育てに関する知識・虐待問題を取り上げる
	古い考えの人たちがいる限り無理だと思う
	無理に参加を進めることでもない。本人のやる気次第
	安定した収入があれば時間が作れると思う
	配偶者への愛情
	昔からの古い考えの見直し
	九州男児の考え方が悪い(遺伝)
	仕事が楽になること
	そもそも子育てって意味を間違えていると思う。一緒に居る、離れていても子どものことを思うことが子どもを育てることなのに。何を行政は求めているのか分からない
	行事参加などへの義務化を促す。父親も親なので、人任せにしない体制づくり
	農家だから休日も仕事。平日は普通に仕事

問 33 住んでいる地域が子育てしやすいと感じる理由

問33 どういった点でそのように満足度が高いと感じますか。(その他記述)	
就学前 児童	保育園など比較的人所しやすい
	子育て支援に対する助成金が多い
	医療費が無料
	竹の子ひろばができて、本当に良かったです
	特に、これといった理由はない
	児童手当や、医療費の免除
	中津市は、よくやってくれていると思います
	医療費の無料期間が長い
	幼稚園が近くにある事くらい
	子どもの医療費が市負担で受けられるので
	当てはまるものはないけど、不満ではない
	新しくなったこども園や中学校の施設。サービスが良い
	徒歩圏内に遊び場、小児科、図書館が揃っている。街中でイベントが多い
	本当に必要とする制度がない
	予防接種やゴミ袋配布など、支援が多い
	子どもが病気になった時、見てくれる病院がある
	自然が多いので、子育てするには良いと思う
予防接種が無料	
最近、保育園が増えてきた	
小学生	近所のおばちゃんたちが子どもによく挨拶をしてくれたり、話しかけてくださる
	特に不満は無し
	祖父母や兄弟が傍にいてくれる
	小・中、医療費助成があり負担が少ないのが特に有難い
	子どもが少ない分、大人の目が届きやすい

問 34 住んでいる地域が子育てしやすいと感じない理由

問34 どういった点でそのように満足度が低いと感じますか。(その他記述)	
就学前 児童	引っ越してきたばかりでよく知らない
	公園の遊具のまわりにいつもタバコ等が落ちており、汚い
	保育料が高い。市役所に相談に行ったら、不快な思いをした
	任意の予防接種にお金がかかる。受けたいけど、金銭的に厳しい
	お金がかかる。保育料など
	施設までの距離が遠く、必ず車が必要となる
	医療費、18歳までの無料化
	どのような支援があるのか、情報が分からない
	子どもの服を扱っている店が一つもない
	幼稚園が14時までしか見てくれず、預かり保育を行っていない
	病院がない
	育休から復帰後、転勤で自宅から40kmの職場に異動したことで、生活できなくなり、やむなく職場に近い私の実家に、私と子どもが引っ越すことになったが、当時「宇佐市に住民票がない」ことを理由に、空いているにもかかわらず、希望した園に入れてもらえず、遠距離通勤を二ヶ月することになり、とても大変だった
	小児科・救急の病院が少ない
	子供服、小児科、産婦人科がない
	無料で遊べる施設がない
	子育て支援課の人の対応が悪い
	引っ越したばかりで、まだよく分からない
	どういった支援システムがあるのか、あまり分からないし、活用方法も分からない
	3歳までしか病院が無料でない。せめて中学生までは無料にすべき。市民病院の対応が最悪。医師の対応が高圧的
	小児科が一つしかない
	まだ幼いので、利用頻度が少ない
	転居後一年ほどのため、まだよく分からない
	保育園、幼稚園が少ない。小学校が複式が多い
	公園がない。「ひろば」も週一回しかない
	母親が働きやすい職がなさ過ぎて住みづらい。児童館がない。街灯が少なすぎて危ない
	医療支援が不足
	小児科、耳鼻科、産婦人科等、病院が少ない
	情報が少ない
	医療費助成が乳幼児に限られている
	手帳を持っていても、配偶者がいると、家事支援サービスが受けられない
	こども診療所の平日休み(火曜日)が困る
	車で15分以上移動しないと、子どもを安心して遊ばせることができない
	医療費負担(予防接種)
	公園は多いが、小学生が走ったりして遊んでいると安心して遊ばせられないし、小さい遊具がない
保育料、予防接種、無料にしてほしい。	
少子化の根底にあるもの	
歩道がないので、子の友人に自分で会いに行けない	
どういったものがあるのか、よく分からない	
子育ての悩みを相談する相手があまりいない	
医療費が他のところより高い	
保健師、担当医師の当たり外れがある	
7月に引っ越してきたばかりで、まだよく分からないため	

就学前 児童	提供されるサービスなどの情報収集を自分でしなければならない
	引っ越して来た時に実際参加してみたりしたが、参加している子どもが小さすぎて、自分の子どもが参加できないなど、不便さを感じた。幼稚園や保育園も、なかなか空きがない
	土曜保育をしてもらえず、預けていることに対して不満を言われたから
	保育士不足に関わらず、策を練ろうとしない。安心できる小児科がない
	公園が少なく、あっても観光客が使用している
小学生	子供服、オモチャの買い物の場が少ない
	就学後の放課後サービスが少なく、料金も高い。保育料のようなサポートもない
	子どもの医療費負担が県外に比べて大きい
	年代に応じた遊び場が少なく距離がある。仕事をしていて子どもを祖父母に預けるのは良いが、時間等をちゃんとしていない。一人で留守番する子どもが多く心配になる。家の前では遊ばない
	小学生から医療費がかかる
	医療費の負担が大きい
	今のところ不便を感じていない
	放課後児童クラブの運営に関してだけ満足していません
	他県から転入してきましたが、医療費助成制度の自治体ごとの格差に疑問を感じます
	就学前の子を対象とするサービスが多く、小学生以上はあまり優遇を受けていないように感じる。(子育てクーポンや医療費無料など)
	ほとんど利用したことがないので分からない
	医療費(外来)が小学生まで一律金額にしてほしい
	高齢者へのサービスが多すぎて子どもの居場所を奪っている(公園など)
	経済的な支援を頑張してほしい。他県では3人目無料なのに中津市は3歳までとたくさん産んでも生活がきついただけになります
	うちの家は特別だろうけど、重度障害の為、預かってくれる施設などが近くに1時間近くかかるため
	子どもが大きくなって転居したので特に何もないので
	医療費
	施設やサービスがあるかどうかの情報も少ない。個別に参加しやすいイベントやコミュニティが少ない
	子どもの医療費をもう少し安くしてほしい。小学生になっても病院にかかる事は多いです。大人と同じ3割負担は正直厳しいです
	引っ越してきてまだ半年で良く分からない事が多い
	知り合いがいない
	子育てにお金がかかりすぎる。給食費×人数分、予防接種は高く打てない。学校は夏暑くて勉強にならない。かといって塾に行かせるお金もない
	乳幼児の支援ばかり
	学童保育の時間が短い
	公園はあるがどこも施設が古い
	分かりにくく情報が伝わっていない
	県外から引っ越してきましたが、子育てに関しての支援がなさすぎる。医療費の補助等、中学生までであるのが当たり前だと思っていたので
	医療費が小学校前までしか援助がないから
	小児科が少ない。夜間の小児科が少ない
	社会体育の指導者のあり方、学校も含めて
医療費の負担	
公立幼稚園が1年保育というところ	
グラウンドで運動会の練習をただで、教育委員会に言われた	
子どもを育てる環境は良いと思うが、「支援」という感じは何も受けないので	
サービスも知らんが色々遠いと思う	

問 35 子ども・子育て支援において重要であると考えるもの

問35 子育てにおいて重要だと考えるもの。(その他の記述)		
就学前 児童	働き方改革。特に勤務時間	
	平日、土日を問わず、親子で過ごせる施設の設置	
	医療費支援の延長	
	企業の子育て支援制度の実利用化	
	妊娠中の就業先の確保	
	職場の人手不足解消	
	安全で楽しく遊べる場所・公園	
	保育でなく、教育が重要	
	高齢者等、眠っている人材能力の再活用	
	男性や高齢者の意識改革	
	何よりも配偶者の協力が必要だ	
	佐伯には緊急対応できる病院がない。	
	幼稚園を選択に入れられるような	
	急な病気時の子どもを預かる事業の拡充	
	職場の理解	
	働き方改革	
	病児保育体制	
	小学生	時代の変化に応じた行政の変化
		子どもに対する地域住民の温かい心、優しさ
ひとり親家庭が安心して住める賃貸住宅の優先入居		
子どもに対するルールやマナー。一人で家に居させない		
安定した仕事		
父親の帰宅時間を早くできるような社会の環境・意識の変化		
子どもが小さいころ、医療費が無料で助かりました。大きくなったら歯医者のみでも安く診てもらえたらと思います		
子どもが小さいうちは手がかかるがお金はかからない。高校を出るところまでの長期的支援の方がよい		
子どもの体験活動への親子参加等、柔軟な受け入れ態勢		
障害のある子を持つ親も働きやすい制度(正社員として)		
医療費補助		
格安な健康のための習い事		
近所とのお付き合い		
雨天でも子どもが安心して勉強など遊べる施設の造設(放課後の使い方)		
同じくらいの子のいる家庭で交流できるような場所とか		
母親が子育てに専念することを受け入れる世の中になること。仕事と両立するのが当たり前と考える人が多く、追いつめられる気になる		

第 3 章

資料

調査結果データ（平成30年度）

I あて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします

問1 あて名のお子さんの年齢・学年（平成30年4月1日現在）。

H30	SA	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答	総計
就学前 児童	人	155	140	134	134	163	242	8	976
	%	15.9%	14.3%	13.7%	13.7%	16.7%	24.8%	0.8%	100.0%
H30	SA	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答	総計
小学生	人	67	77	76	65	81	59	0	425
	%	15.8%	18.1%	17.9%	15.3%	19.1%	13.9%	0.0%	100.0%

問2 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の年齢（平成30年4月1日現在の年齢）を記入してください。

子どもの人数

H30	SA	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	無回答	総計
就学前 児童	人	267	429	227	38	8	1	1	5	976
	%	27.4%	44.0%	23.3%	3.9%	0.8%	0.1%	0.1%	0.5%	100.0%
小学生	人	58	187	142	32	5	1	0	0	425
	%	13.6%	44.0%	33.4%	7.5%	1.2%	0.2%	0.0%	0.0%	100.0%
全体	人	325	616	369	70	13	2	1	5	1,401
	%	23.2%	44.0%	26.3%	5.0%	0.9%	0.1%	0.1%	0.4%	100.0%

末っ子年齢

H30	SA	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	無回答	総計
就学前 児童	人	160	137	97	94	82	96	4	34	704
	%	22.7%	19.5%	13.8%	13.4%	11.6%	13.6%	0.6%	4.8%	100.0%

※子どもが1人(267人)及び無回答の5人を除いた704人で集計

H30	SA	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳
小学生	人	14	13	13	17	18	36	33	55	45
	%	3.8%	3.5%	3.5%	4.6%	4.9%	9.8%	9.0%	15.0%	12.3%
小学生	SA	9歳	10歳	11歳	12歳	総計				
	人	49	37	24	13	367				
	%	13.4%	10.1%	6.5%	3.5%	100.0%				

※子どもが1人(58人)を除いた367人で集計

H30	SA	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳
全体	人	174	150	110	111	100	132	37	55	45
	%	16.2%	14.0%	10.3%	10.4%	9.3%	12.3%	3.5%	5.1%	4.2%
全体	SA	9歳	10歳	11歳	12歳	無回答	総計			
	人	49	37	24	13	34	1,071			
	%	4.6%	3.5%	2.2%	1.2%	3.2%	100.0%			

問3 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（複数回答）

H30	MA	父母同居	父同居	母同居	祖父同居	祖母同居	祖父近居	祖母近居	その他	対象者数
就学前 児童	人	907	5	58	109	134	392	442	65	976
	%	92.9%	0.5%	5.9%	11.2%	13.7%	40.2%	45.3%	6.7%	
小学生	人	383	10	32	67	70	149	184	20	425
	%	90.1%	2.35%	7.53%	15.76%	16.47%	35.06%	43.29%	4.71%	
全体	人	1,290	15	90	176	204	541	626	85	1,401
	%	92.1%	1.1%	6.4%	12.6%	14.6%	38.6%	44.7%	6.1%	

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。（複数回答）□

H30	MA	日常的に 祖父母等 の親族に 預かって もらえる	緊急時も しくは用事 の際には 祖父母等 の親族に 預かって もらえる	日常的に 子どもを預 けられる 友人・知 人がいる	緊急時も しくは用事 の際には 子どもを預 けられる 友人・知 人がいる	いずれも いない	対象者
就学前 児童	人	237	651	17	85	137	976
	%	24.3%	66.7%	1.7%	8.7%	14.0%	
小学生	人	178	233	26	80	41	425
	%	41.9%	54.8%	6.1%	18.8%	9.6%	
全体	人	415	884	43	165	178	1,401
	%	29.6%	63.1%	3.1%	11.8%	12.7%	

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方。(続柄はあて名のお子さんから見た関係)

H30	SA	主に父親	主に母親	主に祖父母	その他	無回答	総計
就学前 児童	人	9	941	10	12	4	976
	%	0.9%	96.4%	1.0%	1.2%	0.4%	100.0%
小学生	人	16	391	10	8	0	425
	%	3.8%	92.0%	2.4%	1.9%	0.0%	100.0%
全体	人	25	1,332	20	20	4	1,401
	%	1.8%	95.1%	1.4%	1.4%	0.3%	100.0%

問6 お住まいのまち

H30	SA	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市
就学前 児童	人	146	98	90	105	104	30	32
	%	15.0%	10.0%	9.2%	10.8%	10.7%	3.1%	3.3%
小学生	人	71	48	42	39	45	14	11
	%	16.7%	11.3%	9.9%	9.2%	10.6%	3.3%	2.6%
全体	人	217	146	132	144	149	44	43
	%	15.5%	10.4%	9.4%	10.3%	10.6%	3.1%	3.1%
H30	SA	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市
就学前 児童	人	29	27	35	91	36	41	31
	%	3.0%	2.8%	3.6%	9.3%	3.7%	4.2%	3.2%
小学生	人	16	12	15	45	11	11	8
	%	3.8%	2.8%	3.5%	10.6%	2.6%	2.6%	1.9%
全体	人	45	39	50	136	47	52	39
	%	3.2%	2.8%	3.6%	9.7%	3.4%	3.7%	2.8%
H30	SA	姫島村	日出町	九重町	玖珠町	無回答	総計	
就学前 児童	人	0	31	16	30	4	976	
	%	0.0%	3.2%	1.6%	3.1%	0.4%	100.0%	
小学生	人	0	12	15	10	0	425	
	%	0.0%	0.0%	2.8%	3.5%	0.0%	100.0%	
全体	人	0	43	31	40	4	1,401	
	%	0.0%	3.1%	2.2%	2.9%	0.3%	100.0%	

II 子育て中の皆さんの生活状況や子育て環境についてお伺いします。

1 少子化・子育てに対する意識

問7 あなたの理想とする子どもの数と実際に予定している子どもの数は何人ですか。

理想の子どもの数										
H30	SA	1人	2人	3人	4人	5人以上	わからない	子どもをほしいとは思わない	無回答	総計
就学前 児童	人	17	295	521	80	24	34	2	3	976
	%	1.7%	30.2%	53.4%	8.2%	2.5%	3.5%	0.2%	0.3%	100.0%
小学生	人	10	144	211	19	17	19	1	4	425
	%	2.4%	33.9%	49.6%	4.5%	4.0%	4.5%	0.2%	0.9%	100.0%
全体	人	27	439	732	99	41	53	3	7	1,401
	%	1.9%	31.3%	52.2%	7.1%	2.9%	3.8%	0.2%	0.5%	100.0%

予定の子どもの数										
H30	SA	1人	2人	3人	4人	5人以上	わからない	子どもをほしいとは思わない	無回答	総計
就学前 児童	人	86	423	302	48	6	91	6	14	976
	%	8.8%	43.3%	30.9%	4.9%	0.6%	9.3%	0.6%	1.4%	100.0%
小学生	人	44	171	137	26	6	24	11	6	425
	%	10.4%	40.2%	32.2%	6.1%	1.4%	5.6%	2.6%	1.4%	100.0%
全体	人	130	594	439	74	12	115	17	20	1,401
	%	9.3%	42.4%	31.3%	5.3%	0.9%	8.2%	1.2%	1.4%	100.0%

問8 問7で理想よりも予定の子どもの数の方が少なかった方にお聞きします。その理由として何があげられますか。(複数回答)

H30	MA	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分の仕事(勤めや家業)が忙しいから	家が狭いから	高齢で生むのはいやだから	欲しいけれどもできないから	健康上の理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	夫(妻)の家事・育児への協力が得られないから	一番末の子が夫(妻)の定年退職までに成人してほしいから
就学前児童		250	88	35	87	71	26	64	27	23
		68.1%	24.0%	9.5%	23.7%	19.3%	7.1%	17.4%	7.4%	6.3%
小学生		84	31	8	42	31	21	27	9	14
		62.0%	23.3%	7.1%	31.6%	22.0%	13.2%	20.1%	7.9%	10.5%
全体		334	119	43	129	102	47	91	36	37
		66.1%	23.6%	8.5%	25.5%	20.2%	9.3%	18.0%	7.1%	7.3%

H30	MA	夫(妻)が望まないから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	対象者数
就学前児童		20	30	21	367	
		5.4%	8.2%	5.7%		
小学生		5	13	4	138	
		3.2%	9.0%	4.1%		
全体		25	43	25	505	
		5.0%	8.5%	5.0%		

※就学前の母数は問7で理想よりも予定の子どもの人数が少なかった367人

※小学生の母数は問7で理想よりも予定の子どもの人数が少なかった138人

問9 お母さんはゆったりとした気分で、子どもと過ごす時間がありますか。□

H30	SA	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答	総計
就学前児童		642	82	241	11	976
		65.8%	8.4%	24.7%	1.1%	100.0%
小学生		242	47	125	11	425
		57.0%	10.6%	29.0%	3.4%	100.0%
全体		884	129	366	22	1,401
		63.1%	9.2%	26.1%	1.6%	100.0%

問10 あて名のお子さんは朝食を週に何回食べていますか。

H30	SA	毎日	5~6回	3~4回	1~2回	全く食べない	無回答	総計
就学前児童		878	41	23	8	10	16	976
		90.0%	4.2%	2.4%	0.8%	1.0%	1.6%	100.0%
小学生		380	30	8	3	1	3	425
		89.2%	7.1%	1.8%	1.0%	0.2%	0.8%	100.0%
全体		1,258	71	31	11	11	19	1,401
		89.8%	5.1%	2.2%	0.8%	0.8%	1.4%	100.0%

問11 あて名のお子さんは普段、誰と朝食・夕食を食べていますか。

朝食

H30	SA	父母(家族)と一緒に	母と	父と	他の大人なの誰かと	子どもだけで	ひとりで	無回答	総計
就学前児童		353	443	15	7	105	29	24	976
		36.2%	45.4%	1.5%	0.7%	10.8%	3.0%	2.5%	100.0%
小学生		192	107	14	8	85	16	3	425
		45.2%	25.1%	3.8%	1.2%	19.6%	4.3%	0.8%	100.0%
全体		545	550	29	15	190	45	27	1,401
		38.9%	39.3%	2.1%	1.1%	13.6%	3.2%	1.9%	100.0%

夕食

H30	SA	父母(家族)と一緒に	母と	父と	他の大人なの誰かと	子どもだけで	ひとりで	無回答	総計
就学前児童		637	258	7	18	10	6	40	976
		65.3%	26.4%	0.7%	1.8%	1.0%	0.6%	4.1%	100.0%
小学生		308	83	6	13	6	3	6	425
		73.5%	18.3%	1.7%	2.5%	1.8%	1.0%	1.2%	100.0%
全体		945	341	13	31	16	9	46	1,401
		67.5%	24.3%	0.9%	2.2%	1.1%	0.6%	3.3%	100.0%

2 子育てについての不安・悩み・地域のかかわり

問12 子育てについて、気軽に相談できる近所の人や友人がいますか。

H30	SA	いる	いない	無回答	総計
就学前 児童	人	846	125	5	976
	%	86.7%	12.8%	0.5%	100.0%
小学生	人	372	50	3	425
	%	86.4%	12.7%	0.8%	100.0%
全体	人	1,218	175	8	1,401
	%	86.9%	12.5%	0.6%	100.0%

問13 子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じますか。

H30	SA	十分に 感じる	まあまあ 感じる	あまり 感じない	まったく 感じない	無回答	総計
就学前 児童	人	137	537	242	54	6	976
	%	14.0%	55.0%	24.8%	5.5%	0.6%	100.0%
小学生	人	64	242	98	17	4	425
	%	14.2%	59.2%	21.6%	4.1%	1.0%	100.0%
全体	人	201	779	340	71	10	1,401
	%	14.3%	55.6%	24.3%	5.1%	0.7%	100.0%

問14 就学前:希望した時期や時間に保育サービスが利用できますか。
小学生:希望した時期や時間に放課後児童クラブなどの子育て支援サービスが利用できますか。

H30	SA	できる	できない	無回答	総計
就学前 児童	人	748	197	31	976
	%	76.6%	20.2%	3.2%	100.0%
小学生	人	264	143	18	425
	%	59.1%	36.6%	4.4%	100.0%
全体	人	1,012	340	49	1,401
	%	72.2%	24.3%	3.5%	100.0%

問15 子どもを育てていて良かったと思うこと。(複数回答)

H30	MA	家族の結びつきが深まった	兄弟姉妹どうしのふれあいがあって楽しい	子どものおかげで家庭が明るい	子どもとのふれあいが楽しい	毎日の生活にはやりがいがある	子どもを通して自分の友人が増えた	子育てを通して自分の視野が広がった	子どもの成長によるこびを感じる	子どもを通して近所づきあいが広がった	
就学前 児童	人	635	577	815	774	484	424	576	906	325	
	%	65.1%	59.1%	83.5%	79.3%	49.6%	43.4%	59.0%	92.8%	33.3%	
小学生	人	256	255	319	301	232	248	244	377	160	
	%	61.3%	60.8%	75.8%	71.2%	56.5%	59.7%	58.4%	88.4%	36.6%	
全体	人	891	832	1,134	1,075	716	672	820	1,283	485	
	%	63.6%	59.4%	80.9%	76.7%	51.1%	48.0%	58.5%	91.6%	34.6%	
H30	MA	その他	対象者数								
就学前 児童	人	10	976								
	%	2.2%									
小学生	人	8	425								
	%	2.2%									
全体	人	18	1401								
	%	1.3%									

問16 あて名のお子さんの妊娠期から出産までの環境や支援について、お母さんの満足感・充実感はいかがでしたか。

H30	SA	十分あった	まあまああった	あまりなかった	まったくなかった	無回答	総計
就学前 児童	人	285	526	139	19	7	976
	%	29.2%	53.9%	14.2%	1.9%	0.7%	100.0%
小学生	人	119	230	55	12	9	425
	%	26.5%	54.7%	13.3%	3.0%	2.5%	100.0%
全体	人	404	756	194	31	16	1,401
	%	28.8%	54.0%	13.8%	2.2%	1.1%	100.0%

問17 あて名のお子さんの乳幼児健診を受け、安心感や満足感が得られましたか。

H30	SA	十分得られた	まあまあ得られた	あまり得られなかった	まったく得られなかった	まだ受けていない	受けたことがない	無回答	総計
就学前児童	人	211	624	109	17	6	4	5	976
	%	21.6%	63.9%	11.2%	1.7%	0.6%	0.4%	0.5%	100.0%
小学生	人	75	272	64	6	0	4	4	425
	%	17.6%	62.0%	16.7%	1.6%	0.0%	1.0%	1.2%	100.0%
全体	人	286	896	173	23	6	8	9	1,401
	%	20.4%	64.0%	12.3%	1.6%	0.4%	0.6%	0.6%	100.0%

問18 あなたは、初めての子どもが生まれる前に、赤ちゃんのおむつを替えたり食事をさせた経験がありましたか。

H30	SA	ある	ない	無回答	総計
就学前児童	人	389	580	7	976
	%	39.9%	59.4%	0.7%	100.0%
小学生	人	178	239	8	425
	%	40.8%	57.6%	1.6%	100.0%
全体	人	567	819	15	1,401
	%	40.5%	58.5%	1.1%	100.0%

問19 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。(複数回答)

H30	MA	親族(親・兄弟など)	近所の人・地域の知人・友人	職場の人・サークルの仲間	保育所・幼稚園・学校	産婦人科・小児科	地域子育て支援拠点	児童館	民生児童委員・主任児童委員	役所・保健所
就学前児童	人	666	581	404	592	370	176	102	5	112
	%	68.2%	59.5%	41.4%	60.7%	37.9%	18.0%	10.5%	0.5%	11.5%
小学生	人	275	255	191	276	127	0	34	5	43
	%	63.6%	59.4%	45.5%	63.3%	30.7%	0.0%	6.2%	1.2%	11.3%
全体	人	941	836	595	868	497	176	136	10	155
	%	67.2%	59.7%	42.5%	62.0%	35.5%	12.6%	9.7%	0.7%	11.1%
H30	MA	市町村の広報やパンフレット	テレビ・ラジオ・新聞	インターネット(パソコン)	携帯用子育てサイト(スマートフォンアプリ含む)	育児書や子育て雑誌など	情報の入手先がない	教育センター・家庭相談室	その他	対象者数
就学前児童	人	167	292	436	454	345	3	0	7	976
	%	17.1%	29.9%	44.7%	46.5%	35.3%	0.3%	0.0%	0.7%	
小学生	人	71	139	181	97	147	1	7	4	425
	%	18.5%	34.3%	43.2%	22.1%	37.5%	0.3%	2.0%	1.2%	
全体	人	238	431	617	551	492	4	7	11	1401
	%	17.0%	30.8%	44.0%	39.3%	35.1%	0.3%	0.5%	0.8%	

※就学前の回答項目には「教育センター・家庭相談室」はないため回答は0%

※小学生の回答項目には「地域子育て支援拠点」はないため回答数は0%

問20 子育てにかかる費用において、最も負担が大きいと感じているものは何ですか。

H30	SA	食費	衣類費	居住費	日用雑貨	保育料、幼稚園授業料	医療費(予防接種)	習い事、お稽古事	負担があると感じていない
就学前児童	人	107	77	49	86	405	30	69	70
	%	11.0%	7.9%	5.0%	8.8%	41.5%	3.1%	7.1%	7.2%
小学生	人	111	41	28	9	0	57	129	30
	%	28.3%	10.9%	5.9%	2.2%	0.0%	10.6%	31.6%	6.7%
全体	人	218	118	77	95	405	87	198	100
	%	15.6%	8.4%	5.5%	6.8%	28.9%	6.2%	14.1%	7.1%
H30	SA	その他	無回答	総計					
就学前児童	人	4	79	976					
	%	0.4%	8.1%	100.0%					
小学生	人	14	6	425					
	%	3.0%	0.9%	100.0%					
全体	人	18	85	1,401					
	%	1.3%	6.1%	100.0%					

※小学生の回答項目には「保育料、幼稚園授業料」はないため回答数は0%

3 子育てと仕事の両立の推進

問21 あなたは、「仕事と生活の調和」すなわち「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をどの程度ご存じですか。

H30	SA	名前も内容も知っている	名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない	名前も内容も知らない	無回答	総計
就学前児童	人	292	292	388	4	976
	%	29.9%	29.9%	39.8%	0.4%	100.0%
小学生	人	120	131	167	7	425
	%	29.4%	28.5%	40.9%	1.2%	100.0%
全体	人	412	423	555	11	1,401
	%	29.4%	30.2%	39.6%	0.8%	100.0%

問22 現在の就労状況を(自営業、家族従業者含む)お伺いします。

(1)父親【母子家庭の場合は記載不要】

H30	SA	就労している(フルタイム)	就労しているが育休中	就労している(パートタイム、アルバイト等)	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	無回答	総計
就学前児童	人	885	0	12	8	0	7	912
	%	97.0%	0.0%	1.3%	0.9%	0.0%	0.8%	100.0%
小学生	人	375	0	3	5	0	10	393
	%	95.4%	0.0%	0.8%	1.3%	0.0%	2.5%	100.0%
全体	人	1,260	0	15	13	0	17	1,305
	%	96.6%	0.0%	1.1%	1.0%	0.0%	1.3%	100.0%

※就学前の母数は問3の「母同居(ひとり親家庭)58人」と無回答の6人を除く912人

※小学生の母数は問3の「母同居(ひとり親家庭)32人」を除く393人。問3の無回答者は0人。

(1)母親【父子家庭の場合は記載不要】

H30	SA	就労している(フルタイム)	就労しているが育休・産休中	就労している(パートタイム、アルバイト等)	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	無回答	総計
就学前児童	人	281	98	304	258	17	7	965
	%	29.1%	10.2%	31.5%	26.7%	1.8%	0.7%	100.0%
小学生	人	183	7	155	56	4	10	415
	%	44.1%	1.7%	37.3%	13.5%	1.0%	2.4%	100.0%
全体	人	464	105	459	314	21	17	1,380
	%	33.6%	7.6%	33.3%	22.8%	1.5%	1.2%	100.0%

※就学前の母数は問3の「父同居(ひとり親家庭)5人」と無回答の6人を除く965人

※小学生の母数は問3の「父同居(ひとり親家庭)10人」を除く415人。小学生の問3の無回答者は0人。

問23 勤務先では産前産後休暇や育児休業制度はありますか、また、その制度は利用できますか。
 あて名のお子さんの父親・母親別々に答えてください。【専業主婦(夫)家庭、母子・父子家庭の場合はどちらか一方に答えてください。】

父親

H30	SA	制度があり、職場の理解も得られ、利用できる	制度はあるが、同僚や上司の理解が得にくく、とりにくい	制度はあるが、職場の人員体制や勤務実態から、実質、利用できない	制度自体がない	あるかどうか知らない	無回答	総計
就学前児童	人	110	52	276	209	233	32	912
	%	12.1%	5.7%	30.3%	22.9%	25.5%	3.5%	100.0%
小学生	人	58	30	103	91	93	18	393
	%	14.8%	7.6%	26.2%	23.2%	23.7%	4.6%	100.0%
全体	人	168	82	379	300	326	50	1,305
	%	12.9%	6.3%	29.0%	23.0%	25.0%	3.8%	100.0%

※就学前の母数は問3の「母同居(ひとり親家庭)58人」と無回答の6人を除く912人

※小学生の母数は問3の「母同居(ひとり親家庭)32人」及び問22「5.これまでに就労したことがない0人」を除く393人

母親

H30	SA	制度があり、職場の理解も得られ、利用できる	制度はあるが、同僚や上司の理解が得にくく、とりにくい	制度はあるが、職場の人員体制や勤務実態から、実質、利用できない	制度自体がない	あるかどうか知らない	出産1年前は、すでに働いていなかった	出産前後(前後それぞれ1年以内)に離職した	無回答	総計
就学前児童	人	395	38	33	87	81	89	125	100	948
	%	41.7%	4.0%	3.5%	9.2%	8.5%	9.4%	13.2%	10.5%	100.0%
小学生	人	161	11	26	56	46	27	46	38	411
	%	39.2%	2.7%	6.3%	13.6%	11.2%	6.6%	11.2%	9.2%	100.0%
全体	人	556	49	59	143	127	116	171	138	1,359
	%	40.9%	3.6%	4.3%	10.5%	9.3%	8.5%	12.6%	10.2%	100.0%

※就学前の母数は問3の「父同居(ひとり親家庭)5人」と無回答の6人及び問22「5.これまでに就労したことがない17人」を除く948人

※小学生の母数は問3の「父同居(ひとり親家庭)10人」及び問22「5.これまでに就労したことがない4人」を除く411人

問24 あて名のお子さんについて、当時母親または父親が育児休業制度を利用しましたか。

H30	SA	母親が利用した	父親が利用した	母親と父親の両方が利用した	利用しなかった	育児休業制度がないので、利用できなかった	無回答	総計
就学前児童	人	376	13	6	404	159	18	976
	%	38.5%	1.3%	0.6%	41.4%	16.3%	1.8%	100.0%
小学生	人	136	5	2	201	66	15	425
	%	30.0%	1.2%	0.3%	48.4%	16.9%	3.3%	100.0%
全体	人	512	18	8	605	225	33	1,401
	%	36.5%	1.3%	0.6%	43.2%	16.1%	2.4%	100.0%

問25 お子さんが病気の回復期であった場合についての対応。

(1)これまでどのように対応しましたか。

H30	SA	仕事を休んで保護者自身が看護した	祖父母に預けた	民間保育業者(ベビーシッター等)に預けた	病児保育施設に預けた	仕事をしないため、保護者自身が自宅で看護した	その他	無回答	総計
就学前児童	人	435	183	1	40	269	31	17	976
	%	44.6%	18.8%	0.1%	4.1%	27.6%	3.2%	1.7%	100.0%
小学生	人	229	113	0	12	64	3	4	425
	%	53.1%	27.4%	0.0%	2.9%	15.3%	0.7%	0.7%	100.0%
全体	人	664	296	1	52	333	34	21	1,401
	%	47.4%	21.1%	0.1%	3.7%	23.8%	2.4%	1.5%	100.0%

(2)今後どのように対応したいですか。

H30	SA	仕事を休んで保護者自身が看護した	祖父母に預けた	民間保育業者(ベビーシッター等)に預けた	病児保育施設に預けた	仕事をしないため、保護者自身が自宅で看護した	その他	無回答	総計
就学前児童	人	512	114	3	84	233	14	16	976
	%	52.5%	11.7%	0.3%	8.6%	23.9%	1.4%	1.6%	100.0%
小学生	人	268	74	3	17	54	4	5	425
	%	63.4%	18.0%	0.9%	3.7%	12.2%	1.1%	0.7%	100.0%
全体	人	780	188	6	101	287	18	21	1,401
	%	55.7%	13.4%	0.4%	7.2%	20.5%	1.3%	1.5%	100.0%

次の問26から問30は、ひとり親家庭の場合は記入しなくて結構です。ひとり親家庭の場合は10ページの問31に進んでください。

問26 父親・母親の子育てに関する役割分担に関して理想と現実の姿をお伺いします。父親・母親別々に教えてください。

【父親】－理想

H30	SA	もっぱら妻が行う	主に妻が行うが、夫も手伝う	妻も夫も同じように行う	主に夫が行うが、妻も手伝う	もっぱら夫が行う	無回答	総計
就学前児童	人	56	410	383	3	3	52	907
	%	6.2%	45.2%	42.2%	0.3%	0.3%	5.7%	100.0%
小学生	人	31	192	146	2	0	12	383
	%	8.1%	50.1%	38.1%	0.5%	0.0%	3.1%	100.0%
全体	人	87	602	529	5	3	64	1,290
	%	6.7%	46.7%	41.0%	0.4%	0.2%	5.0%	100.0%

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人

※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人

【父親】－現実

H30	SA	もっぱら妻が行う	主に妻が行うが、夫も手伝う	妻も夫も同じように行う	主に夫が行うが、妻も手伝う	もっぱら夫が行う	無回答	総計
就学前児童	人	206	514	130	4	0	53	907
	%	22.7%	56.7%	14.3%	0.4%	0.0%	5.8%	100.0%
小学生	人	113	200	52	4	1	13	383
	%	29.5%	52.2%	13.6%	1.0%	0.3%	3.4%	100.0%
全体	人	319	714	182	8	1	66	1,290
	%	24.7%	55.3%	14.1%	0.6%	0.1%	5.1%	100.0%

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人

※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人

【母親】－理想

H30	SA	もっぱら妻が行う	主に妻が行うが、夫も手伝う	妻も夫も同じように行う	主に夫が行うが、妻も手伝う	もっぱら夫が行う	無回答	総計
就学前児童	人	17	357	510	3	4	16	907
	%	1.9%	39.4%	56.2%	0.3%	0.4%	1.8%	100.0%
小学生	人	11	139	223	3	0	7	383
	%	2.9%	36.3%	58.2%	0.8%	0.0%	1.8%	100.0%
全体	人	28	496	733	6	4	23	1,290
	%	2.2%	38.4%	56.8%	0.5%	0.3%	1.8%	100.0%

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人

※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人

【母親】－現実

H30	SA	もっぱら妻が行う	主に妻が行うが、夫も手伝う	妻も夫も同じように行う	主に夫が行うが、妻も手伝う	もっぱら夫が行う	無回答	総計
就学前児童	人	217	524	140	6	0	20	907
	%	23.9%	57.8%	15.4%	0.7%	0.0%	2.2%	100.0%
小学生	人	117	198	54	4	2	8	383
	%	30.5%	51.7%	14.1%	1.0%	0.5%	2.1%	100.0%
全体	人	334	722	194	10	2	28	1,290
	%	25.9%	56.0%	15.0%	0.8%	0.2%	2.2%	100.0%

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人

※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人

【理想合計】		もっぱら妻が行う	主に妻が行うが、夫も手伝う	妻も夫も同じように行う	主に夫が行うが、妻も手伝う	もっぱら夫が行う	無回答	総計
父親	人	87	602	529	5	3	64	1,290
	%	6.7%	46.7%	41.0%	0.4%	0.2%	5.0%	100.0%
母親	人	28	496	733	6	4	23	1,290
	%	2.2%	38.4%	56.8%	0.5%	0.3%	1.8%	100.0%
全体	人	115	1,098	1,262	11	7	87	2,580
	%	4.5%	42.6%	48.9%	0.4%	0.3%	3.4%	100.0%

※就学前と小学生の父親と母親の【理想】合計

【現実合計】		もっぱら妻が行う	主に妻が行うが、夫も手伝う	妻も夫も同じように行う	主に夫が行うが、妻も手伝う	もっぱら夫が行う	無回答	総計
父親	人	319	714	182	8	1	66	1,290
	%	24.7%	55.3%	14.1%	0.6%	0.1%	5.1%	100.0%
母親	人	334	722	194	10	2	28	1,290
	%	25.9%	56.0%	15.0%	0.8%	0.2%	2.2%	100.0%
全体	人	653	1,436	376	18	3	94	2,580
	%	25.3%	55.7%	14.6%	0.7%	0.1%	3.6%	100.0%

※就学前と小学生の父親と母親の【現実】合計

次の問26から問30は、ひとり親家庭の場合は記入しなくて結構です。ひとり親家庭の場合は10ページの間31に進んでください。
問27 あて名のお子さんの誕生から現在まで、父親は育児・家事のどの分野で参加してきましたか(参加していますか)。(複数回答)

【育児】

H30	MA	お風呂に入れる	遊び相手をする	ご飯を食べさせる	おむつ替え	寝かしつける	保育所などの送迎	妻の労をねぎらう	妻からの子育ての相談にのる	運動会など保育所等行事への参加
就学前児童	人	772	758	565	619	417	405	324	427	635
	%	85.1%	83.6%	62.3%	68.2%	46.0%	44.7%	35.7%	47.1%	70.0%
小学生	人	314	283	185	205	169	171	107	147	300
	%	82.0%	73.9%	48.3%	53.5%	44.1%	44.6%	27.9%	38.4%	78.3%
全体	人	1,086	1,041	750	824	586	576	431	574	935
	%	84.2%	80.7%	58.1%	63.9%	45.4%	44.7%	33.4%	44.5%	72.5%
H30	MA	病気の時の通院	ほとんど何もしていない	その他	対象					
就学前児童	人	316	21	16	907					
	%	34.8%	2.3%	1.8%						
小学生	人	135	20	4	383					
	%	35.2%	5.2%	1.0%						
全体	人	451	41	20	1,290					
	%	35.0%	3.2%	1.6%						

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人

※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人

【家事】

H30	MA	ゴミ出し	日常の買い物	部屋の掃除	洗濯	料理	風呂洗い	食後の片付け	その他	対象
就学前児童	人	623	302	347	317	227	475	394	41	907
	%	68.7%	33.3%	38.3%	35.0%	25.0%	52.4%	43.4%	4.5%	
小学生	人	246	101	121	118	101	176	144	36	383
	%	64.2%	26.4%	31.6%	30.8%	26.4%	46.0%	37.6%	9.4%	
全体	人	869	403	468	435	328	651	538	77	1,290
	%	67.4%	31.2%	36.3%	33.7%	25.4%	50.5%	41.7%	6.0%	

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人

※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人

次の問26から問30は、ひとり親家庭の場合は記入しなくて結構です。ひとり親家庭の場合は10ページの間31に進んでください。
問28 父親は、週平均で育児・家事に関して一日にどのくらい参加していますか。□

【平日－育児】

H30	SA	0分	30分未満	30分～ 1時間未 満	1～2時間 未 満	2～3時間 未 満	3～4時間 未 満	4時間以 上	総計
就学前 児童	人	66	65	156	239	157	99	80	862
	%	7.7%	7.5%	18.1%	27.7%	18.2%	11.5%	9.3%	100.0%
小学生	人	54	48	74	106	43	12	20	357
	%	15.1%	13.4%	20.7%	29.7%	12.0%	3.4%	5.6%	100.0%
全体	人	120	113	230	345	200	111	100	1,219
	%	9.8%	9.3%	18.9%	28.3%	16.4%	9.1%	8.2%	100.0%

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人から無回答45人を除いた862人

※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人から無回答26人を除いた357人

【平日－家事】

H30	SA	0分	30分未満	30分～ 1時間未 満	1～2時間 未 満	2～3時間 未 満	3～4時間 未 満	4時間以 上	総計
就学前 児童	人	210	218	217	143	39	10	12	849
	%	24.7%	25.7%	25.6%	16.8%	4.6%	1.2%	1.4%	100.0%
小学生	人	111	91	76	57	18	2	6	361
	%	30.7%	25.2%	21.1%	15.8%	5.0%	0.6%	1.7%	100.0%
全体	人	321	309	293	200	57	12	18	1,210
	%	26.5%	25.5%	24.2%	16.5%	4.7%	1.0%	1.5%	100.0%

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人から無回答58人を除いた849人

※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人から無回答22人を除いた361人

【休日－育児】

H30	SA	0分	30分未満	30分～ 1時間未 満	1～2時間 未 満	2～3時間 未 満	3～4時間 未 満	4時間以 上	総計
就学前 児童	人	8	10	30	100	83	103	507	841
	%	1.0%	1.2%	3.6%	11.9%	9.9%	12.2%	60.3%	100.0%
小学生	人	27	20	38	57	46	42	121	351
	%	7.7%	5.7%	10.8%	16.2%	13.1%	12.0%	34.5%	100.0%
全体	人	35	30	68	157	129	145	628	1,192
	%	2.9%	2.5%	5.7%	13.2%	10.8%	12.2%	52.7%	100.0%

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人から無回答66人を除いた841人

※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人から無回答32人を除いた351人

【休日－家事】

H30	SA	0分	30分未満	30分～ 1時間未 満	1～2時間 未 満	2～3時間 未 満	3～4時間 未 満	4時間以 上	総計
就学前 児童	人	128	145	173	236	87	38	42	849
	%	15.1%	17.1%	20.4%	27.8%	10.2%	4.5%	4.9%	100.0%
小学生	人	80	58	74	85	36	13	13	359
	%	22.3%	16.2%	20.6%	23.7%	10.0%	3.6%	3.6%	100.0%
全体	人	208	203	247	321	123	51	55	1,208
	%	17.2%	16.8%	20.4%	26.6%	10.2%	4.2%	4.6%	100.0%

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人から無回答58人を除いた849人

※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人から無回答24人を除いた359人

次の問26から問30は、ひとり親家庭の場合は記入しなくて結構です。ひとり親家庭の場合は10ページの間31に進んでください。
問29 父親の子育てへの参画の割合が低い理由は何かと思いますか。(複数回答)

H30	MA	仕事で子育てをする時間がとれないから	「子育ては女性の仕事」と考えているから	子育て参加を後押しする行政支援が少ないから	子育ては面倒くさいと考えているから	その他	対象
就学前児童	人	745	254	119	83	90	907
	%	82.1%	28.0%	13.1%	9.2%	9.9%	
小学生	人	294	120	43	46	44	383
	%	76.8%	31.3%	11.2%	12.0%	11.5%	
全体	人	1,039	374	162	129	134	1,290
	%	80.5%	29.0%	12.6%	10.0%	10.4%	

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人
※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人

次の問26から問30は、ひとり親家庭の場合は記入しなくて結構です。ひとり親家庭の場合は10ページの間31に進んでください。
問30 父親の子育てへの参画を進めるために必要なことは何かと思いますか。(複数回答)

H30	MA	長時間労働の是正	勤務体系の多様化	休暇の取得促進	職場の理解	社会全体の気運醸成	乳児健診等の休日実施など参加しやすい行政サービス	男性トイレのおむつ替え設備など子育てしやすい環境整備	男性自身の意識改革(子育ての楽しさや大変さへの理解)	わからない	
											人
就学前児童	人	411	202	384	299	163	109	198	422	47	
	%	45.3%	22.3%	42.3%	33.0%	18.0%	12.0%	21.8%	46.5%	5.2%	
小学生	人	110	80	129	130	75	34	46	203	25	
	%	28.7%	20.9%	33.7%	33.9%	19.6%	8.9%	12.0%	53.0%	6.5%	
全体	人	521	282	513	429	238	143	244	625	72	
	%	40.4%	21.9%	39.8%	33.3%	18.4%	11.1%	18.9%	48.4%	5.6%	
H30	MA	その他	対象								
就学前児童	人	35	907								
	%	3.9%									
小学生	人	23	383								
	%	6.0%									
全体	人	58	1,290								
	%	4.5%									

※就学前の母数は問3の「父母同居」の907人
※小学生の母数は問3の「父母同居」の383人

4 子育て支援策の評価・期待

問31 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。

【就学前児童】

1		A: 知っている				
お お い た ス ポ ー ト 子 育 て 応 援 パ	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	237	719	20	976	
	%	24.3%	73.7%	2.0%	100.0%	
	B: 利用している・利用したことがある					
	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	72	801	103	976	
	%	7.4%	82.1%	10.6%	100.0%	
	C: 今後は利用したい・必要時に利用したい					
	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	644	209	123	976	
	%	66.0%	21.4%	12.6%	100.0%	

2		A: 知っている				
お お い た ク ー ポ ン 子 育 て ほ っ と	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	867	80	29	976	
	%	88.8%	8.2%	3.0%	100.0%	
	B: 利用している・利用したことがある					
	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	731	203	42	976	
	%	74.9%	20.8%	4.3%	100.0%	
	C: 今後は利用したい・必要時に利用したい					
	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	840	68	68	976	
	%	86.1%	7.0%	7.0%	100.0%	

3		A: 知っている				
地 域 子 育 て 支 援 拠 点	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	503	444	29	976	
	%	51.5%	45.5%	3.0%	100.0%	
	B: 利用している・利用したことがある					
	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	347	541	88	976	
	%	35.6%	55.4%	9.0%	100.0%	
	C: 今後は利用したい・必要時に利用したい					
	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	604	263	109	976	
	%	61.9%	26.9%	11.2%	100.0%	

4		A: 知っている				
フ ア ミ リ ー ・ セ ン タ ー ・ サ ポ ー	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	457	501	18	976	
	%	46.8%	51.3%	1.8%	100.0%	
	B: 利用している・利用したことがある					
	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	47	845	84	976	
	%	4.8%	86.6%	8.6%	100.0%	
	C: 今後は利用したい・必要時に利用したい					
	SA	はい	いいえ	無回答	総計	
	人	414	455	107	976	
	%	42.4%	46.6%	11.0%	100.0%	

5	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	838	104	34	976
	%	85.9%	10.7%	3.5%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	509	419	48	976
	%	52.2%	42.9%	4.9%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	736	164	76	976	
%	75.4%	16.8%	7.8%	100.0%	

6	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	612	337	27	976
	%	62.7%	34.5%	2.8%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	300	610	66	976
	%	30.7%	62.5%	6.8%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	661	225	90	976	
%	67.7%	23.1%	9.2%	100.0%	

7	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	851	104	21	976
	%	87.2%	10.7%	2.2%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	103	817	56	976
	%	10.6%	83.7%	5.7%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	622	283	71	976	
%	63.7%	29.0%	7.3%	100.0%	

8	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	864	90	22	976
	%	88.5%	9.2%	2.3%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	235	688	53	976
	%	24.1%	70.5%	5.4%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	648	256	72	976	
%	66.4%	26.2%	7.4%	100.0%	

9 いつでも子育てほっとライン	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	688	270	18	976
	%	70.5%	27.7%	1.8%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	65	840	71	976
	%	6.7%	86.1%	7.3%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	617	273	86	976
	%	63.2%	28.0%	8.8%	100.0%

10 乳児家庭全戸訪問	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	788	167	21	976
	%	80.7%	17.1%	2.2%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	697	213	66	976
	%	71.4%	21.8%	6.8%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	622	266	88	976
	%	63.7%	27.3%	9.0%	100.0%

11 ショートステイ	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	233	724	19	976
	%	23.9%	74.2%	1.9%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	5	887	84	976
	%	0.5%	90.9%	8.6%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	285	591	100	976
	%	29.2%	60.6%	10.2%	100.0%

12 トワイライトステイ	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	103	855	18	976
	%	10.6%	87.6%	1.8%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	4	885	87	976
	%	0.4%	90.7%	8.9%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	266	606	104	976
	%	27.3%	62.1%	10.7%	100.0%

13	大分県 子ども救急電話 相談	A: 知っている				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	780	174	22	976
		%	79.9%	17.8%	2.3%	100.0%
		B: 利用している・利用したことがある				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	373	541	62	976
		%	38.2%	55.4%	6.4%	100.0%
		C: 今後は利用したい・必要時に利用したい				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	778	124	74	976
		%	79.7%	12.7%	7.6%	100.0%

14	県 や市町村が 発行して 情報誌	A: 知っている				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	588	365	23	976
		%	60.2%	37.4%	2.4%	100.0%
		B: 利用している・利用したことがある				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	426	475	75	976
		%	43.6%	48.7%	7.7%	100.0%
		C: 今後は利用したい・必要時に利用したい				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	724	164	88	976
		%	74.2%	16.8%	9.0%	100.0%

15	県 や市町村が 開設して サイト	A: 知っている				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	455	495	26	976
		%	46.6%	50.7%	2.7%	100.0%
		B: 利用している・利用したことがある				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	279	614	83	976
		%	28.6%	62.9%	8.5%	100.0%
		C: 今後は利用したい・必要時に利用したい				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	667	214	95	976
		%	68.3%	21.9%	9.7%	100.0%

16	各保健センター で実施 している 親学級など	A: 知っている				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	635	318	23	976
		%	65.1%	32.6%	2.4%	100.0%
		B: 利用している・利用したことがある				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	291	611	74	976
		%	29.8%	62.6%	7.6%	100.0%
		C: 今後は利用したい・必要時に利用したい				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	536	354	86	976
		%	54.9%	36.3%	8.8%	100.0%

17 各保健 ・相 談セ ンタ ーサ ービ スで の情	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	515	439	22	976
	%	52.8%	45.0%	2.3%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	180	719	77	976
	%	18.4%	73.7%	7.9%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	596	289	91	976
	%	61.1%	29.6%	9.3%	100.0%

18 各地 域公 民館 での 家庭 教育 講座	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	287	670	19	976
	%	29.4%	68.6%	1.9%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	71	827	78	976
	%	7.3%	84.7%	8.0%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	480	404	92	976
	%	49.2%	41.4%	9.4%	100.0%

【小学生】

1	A:知っている				
お お い た 子 育 て 応 援 パ ス ポ ー ト	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	105	311	9	425
	%	24.7%	73.2%	2.1%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	28	353	44	425
	%	6.6%	83.1%	10.4%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	221	148	56	425	
%	52.0%	34.8%	13.2%	100.0%	

2	A:知っている				
お お い た 子 育 て ほ っ と ク ー ポ ン	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	263	151	11	425
	%	61.9%	35.5%	2.6%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	177	217	31	425
	%	41.6%	51.1%	7.3%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	259	120	46	425	
%	60.9%	28.2%	10.8%	100.0%	

3	A:知っている				
地 域 子 育 て 支 援 拠 点	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	107	306	12	425
	%	25.2%	72.0%	2.8%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	61	317	47	425
	%	14.4%	74.6%	11.1%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	159	204	62	425	
%	37.4%	48.0%	14.6%	100.0%	

4	A:知っている				
フ ア ミ リ ー サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	163	252	10	425
	%	38.4%	59.3%	2.4%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	14	367	44	425
	%	3.3%	86.4%	10.4%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	125	248	52	425	
%	29.4%	58.4%	12.2%	100.0%	

5	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	361	49	15	425
	%	84.9%	11.5%	3.5%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	251	146	28	425
	%	59.1%	34.4%	6.6%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	261	129	35	425	
%	61.4%	30.4%	8.2%	100.0%	

6	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	234	176	15	425
	%	55.1%	41.4%	3.5%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	126	259	40	425
	%	29.6%	60.9%	9.4%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	158	216	51	425	
%	37.18%	50.82%	12.00%	100.00%	

7	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	345	69	11	425
	%	81.2%	16.2%	2.6%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	43	349	33	425
	%	10.1%	82.1%	7.8%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	164	218	43	425	
%	38.6%	51.3%	10.1%	100.0%	

8	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	331	82	12	425
	%	77.9%	19.3%	2.8%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	83	306	36	425
	%	19.5%	72.0%	8.5%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	163	216	46	425	
%	38.4%	50.8%	10.8%	100.0%	

9 いつでも子育てほっと ライン	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	281	135	9	425
	%	66.1%	31.8%	2.1%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	20	370	35	425
	%	4.7%	87.1%	8.2%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	198	182	45	425
	%	46.6%	42.8%	10.6%	100.0%

10 乳児家庭全戸訪問	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	272	140	13	425
	%	64.0%	32.9%	3.1%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	225	162	38	425
	%	52.9%	38.1%	8.9%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	169	202	54	425
	%	39.8%	47.5%	12.7%	100.0%

11 ショートステイ	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	87	329	9	425
	%	20.5%	77.4%	2.1%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	3	377	45	425
	%	0.7%	88.7%	10.6%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	100	273	52	425
	%	23.5%	64.2%	12.2%	100.0%

12 トワイライトステイ	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	39	376	10	425
	%	9.2%	88.5%	2.4%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	3	376	46	425
	%	0.7%	88.5%	10.8%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	90	283	52	425
	%	21.2%	66.6%	12.2%	100.0%

13	大分県 子ども救急電話 相談	A:知っている				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	316	99	10	425
		%	74.4%	23.3%	2.4%	100.0%
		B:利用している・利用したことがある				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	100	295	30	425
		%	23.5%	69.4%	7.1%	100.0%
		C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	253	132	40	425
		%	59.5%	31.1%	9.4%	100.0%

14	県 や市町村が 発行して 情報誌	A:知っている				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	213	200	12	425
		%	50.1%	47.1%	2.8%	100.0%
		B:利用している・利用したことがある				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	122	265	38	425
		%	28.7%	62.4%	8.9%	100.0%
		C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	223	151	51	425
		%	52.5%	35.5%	12.0%	100.0%

15	県 や市町村が 開設して サイト	A:知っている				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	171	242	12	425
		%	40.2%	56.9%	2.8%	100.0%
		B:利用している・利用したことがある				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	68	316	41	425
		%	16.0%	74.4%	9.6%	100.0%
		C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	216	155	54	425
		%	50.8%	36.5%	12.7%	100.0%

16	各保健センター で実施 している 親学級など	A:知っている				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	253	158	14	425
		%	59.5%	37.2%	3.3%	100.0%
		B:利用している・利用したことがある				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	112	280	33	425
		%	26.4%	65.9%	7.8%	100.0%
		C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
		SA	はい	いいえ	無回答	総計
		人	164	213	48	425
		%	38.6%	50.1%	11.3%	100.0%

17 各保健 ・相 談セ ンタ ーサ ービ スで の情	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	184	228	13	425
	%	43.3%	53.6%	3.1%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	56	332	37	425
	%	13.2%	78.1%	8.7%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	184	192	49	425	
%	43.3%	45.2%	11.5%	100.0%	

18 各地 域公 民館 での 家庭 教育 講座	A:知っている				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	136	277	12	425
	%	32.0%	65.2%	2.8%	100.0%
	B:利用している・利用したことがある				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
	人	44	345	36	425
	%	10.4%	81.2%	8.5%	100.0%
	C:今後は利用したい・必要時に利用したい				
	SA	はい	いいえ	無回答	総計
人	162	213	50	425	
%	38.1%	50.1%	11.8%	100.0%	

問32 あなたのお住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、

H30	SA	とても満足	まあまあ満足	どちらでもない	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答	総計
就学前児童	人	93	435	246	112	22	68	976
	%	9.5%	44.6%	25.2%	11.5%	2.3%	7.0%	100.0%
小学生	人	21	189	132	55	18	10	425
	%	4.9%	44.5%	31.1%	12.9%	4.2%	2.4%	100.0%
全体	人	114	624	378	167	40	78	1,401
	%	8.1%	44.5%	27.0%	11.9%	2.9%	5.6%	100.0%

問33 問32で「1. とても満足」「2. まあまあ満足」と答えた方にお聞きします。どういった点でそのように感じますか。(複数回答)

H30	MA	子育てを支援する施設やサービスが充実している	地域の雰囲気や子どもや子育て家庭に協力的である	親子で気軽に出入りできる場所(居場所)がある	子どもが安心して遊べる場が多い	地域で子育てを支援する設備(トイレ内のおむつ替えコーナーや幼児用便器、乳幼児コーナー、道路の段差解消など)が整っている	同年代の子どもが多い	その他	対象
就学前児童	人	259	226	268	162	81	159	23	528
	%	49.1%	42.8%	50.8%	30.7%	15.3%	30.1%	4.4%	
小学生	人	92	106	80	49	24	66	18	210
	%	43.8%	50.5%	38.1%	23.3%	11.4%	31.4%	8.6%	
全体	人	351	332	348	211	105	225	41	738
	%	47.6%	45.0%	47.2%	28.6%	14.2%	30.5%	5.6%	

※就学前の母数は問32の「1. 満足度が高い」「2. 満足度がやや高い」で答えた528人

※小学生の母数は問32の「1. 満足度が高い」「2. 満足度がやや高い」で答えた210人

問34 問32で「3. どちらでもない」「4. あまり満足していない」「5. まったく満足していない」と答えた方にお聞きします。どういった点でそのように感じますか。(複数回答)

H30	MA	子育てを支援する施設やサービスが不足している	地域の雰囲気や子どもや子育て家庭に協力的でない	親子で気軽に出入りできる場所(居場所)がない	子どもが安心して遊べる場が少ない	地域で子育てを支援する設備(トイレ内のおむつ替えコーナーや幼児用便器、乳幼児コーナー、道路の段差解消など)が整っていない	同年代の子どもが少ない	その他	対象
就学前児童	人	206	50	221	192	176	94	66	380
	%	54.2%	13.2%	58.2%	50.5%	46.3%	24.7%	17.4%	
小学生	人	100	35	96	98	46	41	38	205
	%	48.8%	17.1%	46.8%	47.8%	22.4%	20.0%	18.5%	
全体	人	306	85	317	290	222	135	104	585
	%	52.3%	14.5%	54.2%	49.6%	37.9%	23.1%	17.8%	

※就学前の母数は問32の「3. どちらでもない」「4. 満足度がやや低い」「5. 満足度が低い」で答えた380人

※小学生の母数は問32の「3. どちらでもない」「4. 満足度がやや低い」「5. 満足度が低い」で答えた205人

問35 あなたが、子ども・子育て支援において重要であると考えられるものはどれですか。(複数回答)

H30	MA	経済的な支援	保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充	出産・育児のための休業・短時間勤務制度	出産・子育てによる退職後に就業を希望する場合の再就職支援	仕事と子育ての両立の推進に取り組む事業所への支援	小児医療体制整備など子どもへの健康支援	妊娠・出産の支援体制、産後医療体制の充実	ファミリー向け賃貸住宅の優先入居	夫婦や親子を対象とした地域における子育て支援事業の推進		
											人	%
就学前児童	人	735	420	245	159	273	271	74	82	71		
	%	75.3%	43.0%	25.1%	16.3%	28.0%	27.8%	7.6%	8.4%	7.3%		
小学生	人	321	147	90	62	129	153	23	29	22		
	%	75.5%	34.6%	21.2%	14.6%	30.4%	36.0%	5.4%	6.8%	5.2%		
全体	人	1,056	567	335	221	402	424	97	111	93		
	%	75.4%	40.5%	23.9%	15.8%	28.7%	30.3%	6.9%	7.9%	6.6%		
H30	MA	子どものための設備、交通機関などにおけるバリアフリーの推進	自然・社会体験、ボランティア、スポーツ活動など子どものための事業の促進	様々な悩みをワンストップで受けられる相談窓口(電話相談含む)	その他	対象	人	157	114	35	18	976
							%	16.1%	11.7%	3.6%	1.8%	
就学前児童	人	157	114	35	18	976						
	%	16.1%	11.7%	3.6%	1.8%							
小学生	人	39	56	15	16	425						
	%	9.2%	13.2%	3.5%	3.8%							
全体	人	196	170	50	34	1,401						
	%	14.0%	12.1%	3.6%	2.4%							

問36 県では、結婚・子育てに対する前向きな社会機運を醸成するため、テレビ、映画館でのCMの放映や、テレビ番組でのイベント情報や婚活支援の取組を紹介する等の「結婚・子育てポジティブキャンペーン」に取り組んでいます。

(1) 県の結婚支援に係るテレビCMやテレビ番組、Web広告等をこれまでに見たことがありますか。

H30	SA	ある	ない	無回答	総計
就学前児童	人	308	655	13	976
	%	31.6%	67.1%	1.3%	100.0%
小学生	人	116	298	11	425
	%	27.3%	70.1%	2.6%	100.0%
全体	人	424	953	24	1,401
	%	30.3%	68.0%	1.7%	100.0%

(2) 問36(1)で「ある」と答えた方にお聞きします。CMや番組を見てどのような印象を受けましたか。

H30	SA	よい印象(プラスイメージ)を受けた	わるい印象(マイナスイメージ)を受けた	どちらの印象も受けなかった	無回答	総計
就学前児童	人	141	7	159	1	308
	%	45.8%	2.3%	51.6%	0.3%	100.0%
小学生	人	60	0	56	0	116
	%	51.7%	0.0%	48.3%	0.0%	100.0%
全体	人	201	7	215	1	424
	%	47.4%	1.7%	50.7%	0.2%	100.0%

※就学前の母数は問36の(1)で「1. ある」と答えた308人
 ※小学生の母数は問36の(1)で「1. ある」と答えた116人

「子ども・子育て県民意識調査」へのご協力をお願い

子育て中の保護者の皆さま

日頃より県政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

大分県では、平成21年度から「子育て満足度日本一」の実現を目指し、より多くの子どもの笑顔を育み、生んで良かった、生まれて良かった、住んで良かったと思える県づくりに取り組んでいます。

平成27年3月には「おおいた子ども・子育て応援プラン（第3期計画）」を策定し、家庭、地域、学校及び企業等の皆さまにご協力をいただきながら、県民総参加による子ども・子育て支援を進めているところです。

今回のこの調査は、プランをきめ細かく評価し、着実に推進するために、皆さまの子育てに関する生活実態や子育て支援に対するご意見・ご要望などをお伺いするもので、毎年実施しています。調査対象者は、県内全市町村の住民基本台帳の中から就学前のお子さん又は小学生の保護者の皆さまを無作為に抽出しています。

ご回答いただいた調査内容は、県の子育て支援施策の検討にのみ利用し、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

今後の子育て環境の整備を考えていくうえで大切な調査となりますので、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成30年11月

大分県福祉保健部 こども未来課

子ども・子育て県民意識調査

いただいた回答は、『大分県の次世代育成支援施策の検討』に利用します。

調査票ご記入にあたってのお願い

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 回答は、選択肢の番号に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
該当する回答がない場合でも、一番近いと思われるものを必ず選んでください。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きに従ってご回答ください。
6. ご記入が済みましたら、お手数ですが、本調査票を三つ折りにして同封の返信用封筒に入れて11月30日（金）までに投函してください。（切手は不要です）

この調査についてご不明な点やご質問がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問合せ先】

大分県福祉保健部 こども未来課 こども企画班



おおいた子育て支援

電話 097-506-2718

FAX 097-506-1739

I あて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 **あて名のお子さんの年齢（平成30年4月1日現在の年齢）に1つだけ○をつけてください。**

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 0歳 | 2. 1歳 | 3. 2歳 |
| 4. 3歳 | 5. 4歳 | 6. 5歳 |

問2 **あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の年齢（平成30年4月1日現在の年齢）を記入してください。**

人 末子の年齢 歳

問3 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。**続柄はあて名のお子さんから見た関係です。**
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------|--------------------------------|----------------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居（ひとり親家庭） | 3. 母同居（ひとり親家庭） |
| 4. 祖父同居 | 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 |
| 7. 祖母近居 | 8. その他（ ） | |

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。**続柄はあて名のお子さんから見た関係です。**

- | | | | |
|---------|---------|----------|--------------------------------|
| 1. 主に父親 | 2. 主に母親 | 3. 主に祖父母 | 4. その他（ ） |
|---------|---------|----------|--------------------------------|

問6 お住まいのまちに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---------|---------|-----------|
| 1. 大分市 | 2. 別府市 | 3. 中津市 | 4. 日田市 |
| 5. 佐伯市 | 6. 臼杵市 | 7. 津久見市 | 8. 竹田市 |
| 9. 豊後高田市 | 10. 杵築市 | 11. 宇佐市 | 12. 豊後大野市 |
| 13. 由布市 | 14. 国東市 | 15. 姫島村 | 16. 日出町 |
| 17. 九重町 | 18. 玖珠町 | | |

Ⅱ 子育て中の皆さんの生活状況や子育て環境についてお伺いします。

1 少子化・子育てに対する意識

問7 あなたの理想とする子どもの数と実際に予定している子どもの数は何人ですか。

【理想】1つだけ○をつけてください

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人以上 | 6. わからない |
| 7. 子どもをほしいとは思わない | |

【予定】1つだけ○をつけてください

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人以上 | 6. わからない |
| 7. 子どもをほしいとは思わない | |

問8 問7で理想よりも予定の子どもの数の方が少なかった方にお聞きします。

その理由として何があげられますか。(3つまで○をつけてください。)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから |
| 2. 自分の仕事（勤めや家業）が忙しいから |
| 3. 家が狭いから |
| 4. 高年齢で生むのはいやだから |
| 5. 欲しいけれどもできないから |
| 6. 健康上の理由から |
| 7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから |
| 8. 夫（妻）の家事・育児への協力が得られないから |
| 9. 一番末の子が夫（妻）の定年退職までに成人してほしいから |
| 10. 夫（妻）が望まないから |
| 11. 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから |
| 12. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから |

問9 お母さんはゆったりとした気分で、子どもと過ごす時間がありますか。
あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. どちらともいえない
-------	--------	--------------

問10 あて名のお子さんは朝食を週に何回食べていますか。
あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 毎日	2. 5~6回	3. 3~4回
4. 1~2回	5. 全く食べない	

問11 あて名のお子さんは普段、誰と朝食・夕食を食べていますか。
朝食・夕食のあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

【朝食】	1. 父母（家族）と一緒に	2. 母と	3. 父と
	4. 他の大人の誰かと	5. 子どもだけで	6. ひとりで
【夕食】	1. 父母（家族）と一緒に	2. 母と	3. 父と
	4. 他の大人の誰かと	5. 子どもだけで	6. ひとりで

2 子育てについての不安・悩み・地域のかかわり

問12 子育てについて、気軽に相談できる近所の人や友人がいますか。
あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. いる	2. いない
-------	--------

問13 子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じますか。
あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 十分に感じる	2. まあまあ感じる
3. あまり感じない	4. まったく感じない

問18 あなたは、初めての子どもが生まれる前に、赤ちゃんのおむつを替えたり食事をさせた経験がありましたか。あてはまる答えの番号に**1つだけ**○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問19 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。あてはまる答えの番号**すべてに**○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 親族（親・兄弟など） | 2. 近所の人・地域の知人・友人 |
| 3. 職場の人・サークルの仲間 | 4. 保育所・幼稚園・学校 |
| 5. 産婦人科・小児科 | 6. 地域子育て支援拠点※ ² |
| 7. 児童館 | 8. 民生児童委員・主任児童委員 |
| 9. 役所・保健所 | 10. 市町村の広報やパンフレット |
| 11. テレビ・ラジオ・新聞 | 12. インターネット（パソコン） |
| 13. 携帯用子育てサイト（スマートフォンアプリ含む） | |
| 14. 育児書や子育て雑誌など | 15. 情報の入手先がない |
| 16. その他（ | ） |

※2 「地域子育て支援拠点」（「子育て支援センター」、「こどもルーム」、「ひろば」とも呼ぶ）とは、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供することを目的とし、市町村が公共施設や保育所、児童館など地域の身近な施設に設置しているところです。

問20 現在の子育てにかかる費用において、最も負担が大きいと感じているものは何ですか。次の中から**1つだけ**○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 食費 | 2. 衣類費 |
| 3. 居住費 | 4. 日用品費 |
| 5. 保育料、幼稚園授業料 | 6. 医療費（予防接種等） |
| 7. 習い事、お稽古費用 | 8. 負担があると感じていない |
| 9. その他（ | ） |

3 子育てと仕事の両立の推進

問21 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をどの程度ご存じですか。次の中から**1つだけ**○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 言葉も内容も知っている |
| 2. 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない |
| 3. 言葉も内容も知らない |

問 2 2 現在の就労状況を（自営業、家族従業者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号に **1つだけ**○をつけてください。

（1）父親【母子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム）
2. 就労しているが育休中
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

（2）母親【父子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム）
2. 就労しているが育休・産休中
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

問 2 3 現在の勤務先では産前産後休暇や育児休業制度※³はありますか、また、その制度は利用できますか。

父親・母親別々に答えてください。【専業主婦（夫）家庭、母子・父子家庭の場合はどちらか一方に答えてください。】

それぞれあてはまる答えの番号に **1つだけ**○をつけてください。

- 【父親】
1. 制度があり、職場の理解も得られ、利用できる
 2. 制度はあるが、同僚や上司の理解が得にくく、とりにくい
 3. 制度はあるが、職場の人員体制や勤務実態から、実質、利用できない
 4. 制度自体がない
 5. あるかどうか知らない

- 【母親】
1. 制度があり、職場の理解も得られ、利用できる
 2. 制度はあるが、同僚や上司の理解が得にくく、とりにくい
 3. 制度はあるが、職場の人員体制や勤務実態から、実質、利用できない
 4. 制度自体がない
 5. あるかどうか知らない
 6. 出産1年前は、すでに働いていなかった
 7. 出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職した

次の問26から問30は、ひとり親家庭の場合は記入しなくて結構です。

ひとり親家庭の場合は10ページの問31に進んでください。

問26 父親・母親の子育てに関する役割分担に関して理想と現実の姿をお伺いします。父親・母親別々に答えてください。理想と現実でそれぞれ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【父親】

理 想	現 実
1. もっぱら妻が行う	1. もっぱら妻が行う
2. 主に妻が行うが、夫も手伝う	2. 主に妻が行うが、夫も手伝う
3. 妻も夫も同じように行う	3. 妻も夫も同じように行う
4. 主に夫が行うが、妻も手伝う	4. 主に夫が行うが、妻も手伝う
5. もっぱら夫が行う	5. もっぱら夫が行う

【母親】

理 想	現 実
1. もっぱら妻が行う	1. もっぱら妻が行う
2. 主に妻が行うが、夫も手伝う	2. 主に妻が行うが、夫も手伝う
3. 妻も夫も同じように行う	3. 妻も夫も同じように行う
4. 主に夫が行うが、妻も手伝う	4. 主に夫が行うが、妻も手伝う
5. もっぱら夫が行う	5. もっぱら夫が行う

問27 あて名のお子さんの誕生から現在まで、父親は育児・家事のどの分野で参加してきましたか(参加していますか)。育児・家事それぞれのあてはまる答えの番号にすべてに○をつけてください。

【育児】

1. お風呂に入れる	2. 遊び相手をする
3. ご飯を食べさせる	4. おむつ替え
5. 寝かしつける	6. 保育所などの送迎
7. 妻の労をねぎらう	8. 妻からの子育ての相談にのる
9. 運動会など保育所等行事への参加	10. 病気の時の通院
11. ほとんど何もしていない	12. その他 ()

【家事】

1. ゴミ出し	2. 日常の買い物
3. 部屋の掃除	4. 洗濯
5. 料理	6. 風呂洗い
7. 食後の片付け	
8. その他 ()	

問 2 8 父親は、週平均で育児・家事に関して一日にどのくらい参加していますか。

【平日】**数字を直接ご記入**してください

育児	一日あたり	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分
家事	一日あたり	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分

【休日】**数字を直接ご記入**してください

育児	一日あたり	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分
家事	一日あたり	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分

問 2 9 父親の子育てへの参加の割合が低い理由は何だと思えますか。あてはまる答えの番号に**2つまで**○をつけてください。

1. 仕事で子育てをする時間がとれないから
2. 「子育ては女性の仕事」と考えているから
3. 子育て参加を後押しする行政支援が少ないから
4. 子育ては面倒くさいと考えているから
5. その他 ()

問 3 0 父親の子育てへの参加を進めるために必要なことは何だと思えますか。あてはまる答えの番号に**3つまで**○をつけてください。

1. 長時間労働の是正
2. 勤務体系の多様化
3. 休暇の取得促進
4. 職場の理解
5. 社会全体の気運醸成
6. 乳児健診等の休日実施など参加しやすい行政サービス
7. 男性トイレのおむつ替え設備など子育てしやすい環境整備
8. 男性自身の意識改革（子育ての楽しさや大変さへの理解）
9. わからない
10. その他 ()

4 子育て支援策の評価・期待

問3 1 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。サービスごとに、A、B、Cの「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービスの種類	A 知っている	B 利用している 利用したことがある	C 今後も利用したい 必要時に利用したい
①おおいた子育て応援パスポート※ ⁴	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
②おおいた子育てほっとクーポン※ ⁵	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③地域子育て支援拠点	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④ファミリー・サポート・センター※ ⁶	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤児童館※ ⁷	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥保育所や幼稚園の園庭開放等	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦病児保育※ ⁸	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧一時預かり※ ⁹	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑨いつでも子育てほっとライン※ ¹⁰	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑩乳児家庭全戸訪問※ ¹¹	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑪ショートステイ※ ¹²	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑫トワイライトステイ※ ¹³	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑬大分県こども救急電話相談※ ¹⁴	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑭県や市町村が発行している 子育て情報誌	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑮県や市町村が開設している 子育て支援サイト	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑯各保健センターで実施している 母親学級、父親学級など	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑰各保健センターでの情報・相談 サービス	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑱各地域公民館での家庭教育講座	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

※4 「おおいた子育て応援パスポート」とは、子育て中や妊娠中の方が、「子育て応援店」でパスポートを提示すると、お店・施設が独自に提供する商品の割引やサービスなど様々な特典が受けられる事業です。

※5 「おおいた子育てほっとクーポン」とは、3歳の誕生日の前日まで子育て支援サービスに使えるクーポンを出生時に市町村の子育て支援窓口で配布している事業です。

※6 「ファミリー・サポート・センター」とは、保護者の病気や買い物等の用事の際に地域の人たちが会員制で有料で子育てを助け合う制度です。

※7 「児童館」とは、健全な遊びを通して、子どもの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした施設です。

※8 「病児保育」とは、病気や病気の回復期で、保育所などでの保育が困難な子どもを病院などで預かることです。

※9 「一時預かり」とは、冠婚葬祭、保護者の育児疲れや病気等のため、一時的に家庭での子育てが困難になったときに子どもを保育所等で預かることです。

※10 「いつでも子育てほっとライン」とは、子育てに関する悩みを受け付ける県の電話相談。24時間365日相談に応じています。
(TEL 0120-462-110)

※11 「乳児家庭全戸訪問」とは、保健師や助産師等が生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育ての悩みや不安を聞き相談に応じたり、子育て支援に関する情報を提供したりする事業です。

※12 「ショートステイ」とは、保護者の病気など一時的に家庭での子育てが困難になったときに、児童養護施設などにおいて保護を行うことです。(原則7日以内)

※13 「トワイライトステイ」とは、保護者が仕事などで平日の夜間または休日に不在となり家庭での子育てが困難になった場合等に、児童養護施設などで預かることです。

※14 「大分県こども救急電話相談」とは、こどもが病気やケガで心配なときや、病院へ行った方が良いかどうか判断に迷ったときなどに、看護師が相談に応じる県の電話相談。受付時間：月曜日～土曜日は午後7時から翌朝8時まで、日曜・祝日は、午前9時から午後5時までと午後7時から翌朝8時までです。
(TEL #8000または097-503-8822)

問 3 7 子育て支援施策に関するご意見やその他のご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入下さい。



**お手数ですが、今一度記入漏れがないかご確認ください。
ご協力ありがとうございました。**

子ども・子育て県民意識調査

いただいた回答は、『大分県の次世代育成支援施策の検討』に利用します。

調査票ご記入にあたってのお願い

1. 特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さんについて**ご記入ください。
2. アンケートは、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。
3. 回答は、選択肢の番号に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
該当する回答がない場合でも、一番近いと思われるものを必ず選んでください。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「**その他**」をお選びいただいた場合は、**その後にある（ ）内に具体的な内容**をご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きに従ってご回答ください。
6. ご記入が済みましたら、お手数ですが、**本調査票を三つ折りにして**同封の返信用封筒に入れて**11月30日（金）まで**に投函してください。（切手は不要です）

この調査についてご不明な点やご質問がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問合せ先】

大分県福祉保健部 こども未来課 こども企画班



電話 097-506-2718

FAX 097-506-1739

I あて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 あて名のお子さんは小学校何年生（平成30年4月1日現在）ですか。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 |
| 4. 4年生 | 5. 5年生 | 6. 6年生 |

問2 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の年齢（平成30年4月1日現在の年齢）を記入してください。

人

末子の年齢

歳

問3 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------|----------------|----------------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居（ひとり親家庭） | 3. 母同居（ひとり親家庭） |
| 4. 祖父同居 | 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 |
| 7. 祖母近居 | 8. その他（ | ） |

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

- | | | | | |
|---------|---------|----------|---------|---|
| 1. 主に父親 | 2. 主に母親 | 3. 主に祖父母 | 4. その他（ | ） |
|---------|---------|----------|---------|---|

問6 お住まいのまちに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---------|---------|-----------|
| 1. 大分市 | 2. 別府市 | 3. 中津市 | 4. 日田市 |
| 5. 佐伯市 | 6. 臼杵市 | 7. 津久見市 | 8. 竹田市 |
| 9. 豊後高田市 | 10. 杵築市 | 11. 宇佐市 | 12. 豊後大野市 |
| 13. 由布市 | 14. 国東市 | 15. 姫島村 | 16. 日出町 |
| 17. 九重町 | 18. 玖珠町 | | |

Ⅱ 子育て中の皆さんの生活状況や子育て環境についてお伺いします。

1 少子化・子育てに対する意識

問7 あなたの理想とする子どもの数と実際に予定している子どもの数は何人ですか。

【理想】1つだけ○をつけてください

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人以上 | 6. わからない |
| 7. 子どもをほしいとは思わない | |

【予定】1つだけ○をつけてください

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人以上 | 6. わからない |
| 7. 子どもをほしいとは思わない | |

問8 問7で理想よりも予定の子どもの数の方が少なかった方にお聞きします。

その理由として何があげられますか。(3つまで○をつけてください。)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから |
| 2. 自分の仕事（勤めや家業）が忙しいから |
| 3. 家が狭いから |
| 4. 高年齢で生むのはいやだから |
| 5. 欲しいけれどもできないから |
| 6. 健康上の理由から |
| 7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから |
| 8. 夫（妻）の家事・育児への協力が得られないから |
| 9. 一番末の子が夫（妻）の定年退職までに成人してほしいから |
| 10. 夫（妻）が望まないから |
| 11. 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから |
| 12. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから |

問9 お母さんはゆったりとした気分で、子どもと過ごす時間がありますか。
あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-------|--------|--------------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. どちらともいえない |
|-------|--------|--------------|

問10 あて名のお子さんは朝食を週に何回食べていますか。
あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------|-----------|---------|
| 1. 毎日 | 2. 5~6回 | 3. 3~4回 |
| 4. 1~2回 | 5. 全く食べない | |

問11 あて名のお子さんは普段、誰と朝食・夕食を食べていますか。
朝食・夕食のあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|------|---------------|-----------|---------|
| 【朝食】 | 1. 父母（家族）と一緒に | 2. 母と | 3. 父と |
| | 4. 他の大人の誰かと | 5. 子どもだけで | 6. ひとりで |
| 【夕食】 | 1. 父母（家族）と一緒に | 2. 母と | 3. 父と |
| | 4. 他の大人の誰かと | 5. 子どもだけで | 6. ひとりで |

2 子育てについての不安・悩み・地域のかかわり

問12 子育てについて、気軽に相談できる近所の人や友人がいますか。
あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問13 子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じますか。
あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 十分に感じる | 2. まあまあ感じる |
| 3. あまり感じない | 4. まったく感じない |

問14 希望した時期や時間に放課後児童クラブ※¹などの子育て支援サービスが利用できますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. できる | 2. できない |
|--------|---------|

※1 「放課後児童クラブ」(児童育成クラブ、学童保育とも呼ぶ)とは、共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余裕教室や児童館、公民館などで、放課後等に適切な遊び、生活の場を提供するものです。

問15 子どもを育てていて良かったと思うことについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 家族の結びつきが深まった |
| 2. 兄弟姉妹どうしのふれあいがあって楽しい |
| 3. 子どものおかげで家庭が明るい |
| 4. 子どもとのふれあいが楽しい |
| 5. 毎日の生活にはりあいがある |
| 6. 子どもを通して自分の友人が増えた |
| 7. 子育てを通して自分の視野が広まった |
| 8. 子どもの成長によるこびを感じる |
| 9. 子どもを通して近所づきあいが広がった |
| 10. その他 () |

問16 あて名のお子さんの妊娠期から出産までの環境や支援について、お母さんの満足感・充実感はいかがでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 十分あった | 2. まあまああった |
| 3. あまりなかった | 4. まったくなかった |

問17 あて名のお子さんが受けた乳幼児健診で、適切なアドバイスを得られるなどの安心感や満足感が得られましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 十分得られた | 2. まあまあ得られた |
| 3. あまり得られなかった | 4. まったく得られなかった |
| 5. まだ受けていない | 6. 受けたことがない |

問18 あなたは、初めての子どもが生まれる前に、赤ちゃんのおむつを替えたり食事をさせた経験がありましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問19 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. 親族（親・兄弟など） | 2. 近所の人・地域の知人・友人 |
| 3. 職場の人・サークルの仲間 | 4. 学校・保育所・幼稚園 |
| 5. 産婦人科・小児科 | 6. 児童館 |
| 7. 民生児童委員・主任児童委員 | 8. 教育センター・家庭相談室 |
| 9. 役所・保健所 | 10. 市町村の広報やパンフレット |
| 11. テレビ・ラジオ・新聞 | 12. インターネット（パソコン） |
| 13. 携帯用子育てサイト（スマートフォンアプリ含む） | |
| 14. 育児書や子育て雑誌など | 15. 情報の入手先がない |
| 16. その他（ | ） |

問20 現在の子育てにかかる費用において、最も負担が大きいと感じているものは何ですか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 食費 | 2. 衣類費 |
| 3. 居住費 | 4. 日用品費 |
| 5. 医療費（予防接種等） | 6. 習い事、お稽古費用 |
| 7. 負担があると感じていない | |
| 8. その他（ | ） |

3 子育てと仕事の両立の推進

問21 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をどの程度ご存じですか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 言葉も内容も知っている |
| 2. 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない |
| 3. 言葉も内容も知らない |

問 2 2 現在の就労状況を（自営業、家族従業者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号に **1つだけ**○をつけてください。

（1）父親【母子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム）
2. 就労している育休中
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

（2）母親【父子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム）
2. 就労している育休・産休中
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

問 2 3 現在の勤務先では産前産後休暇や育児休業制度※²はありますか、また、その制度は利用できますか。

父親・母親別々に答えてください。【専業主婦（夫）家庭、母子・父子家庭の場合はどちらか一方に答えてください。】

それぞれあてはまる答えの番号に **1つだけ**○をつけてください。

- 【父親】
1. 制度があり、職場の理解も得られ、利用できる
 2. 制度はあるが、同僚や上司の理解が得にくく、とりにくい
 3. 制度はあるが、職場の人員体制や勤務実態から、実質、利用できない
 4. 制度自体がない
 5. あるかどうか知らない

- 【母親】
1. 制度があり、職場の理解も得られ、利用できる
 2. 制度はあるが、同僚や上司の理解が得にくく、とりにくい
 3. 制度はあるが、職場の人員体制や勤務実態から、実質、利用できない
 4. 制度自体がない
 5. あるかどうか知らない
 6. 出産1年前は、すでに働いていなかった
 7. 出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職した

※ 2「育児休業制度」とは、子どもが1歳（一定の場合には1歳半）になるまで育児のために休業することができる制度です。休業中の賃金は必ずしも保証されませんが、雇用保険法による育児休業給付を受けることができます。

問24 あて名のお子さんについて、当時母親または父親が育児休業制度を利用しましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 母親が利用した
2. 父親が利用した
3. 母親と父親の両方が利用した
4. 利用しなかった
5. 育児休業制度がないので、利用できなかった

問25 お子さんが病気の回復期であった場合について、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(回復期の例：ピークは過ぎたが微熱が続く状態、インフルエンザの解熱後数日間)

(1) これまでどのように対応しましたか。

1. 仕事を休んで保護者自身が看護した
2. 祖父母に預けた
3. 民間保育業者（ベビーシッター等）に預けた
4. 病児保育施設に預けた
5. 仕事をしていないため、保護者自身が自宅で看護した
6. その他（)

(2) 今後どのように対応したいですか。

1. 仕事を休んで保護者自身が看護したい
2. 祖父母に預けたい
3. 民間保育業者（ベビーシッター等）に預けたい
4. 病児保育施設に預けたい
5. 仕事をしていないため、保護者自身が自宅で看護したい
6. その他（)

(3) (1) と (2) の回答が異なった場合、その理由を教えてください。

(例：自分で看護したいが、仕事を休みづらいため。)

次の問26から問30は、ひとり親家庭の場合は記入しなくて結構です。

ひとり親家庭の場合は10ページの問31に進んでください。

問26 父親・母親の子育てに関する役割分担に関して理想と現実の姿をお伺いします。父親・母親別々に答えてください。理想と現実でそれぞれ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【父親】

理 想	現 実
1. もっぱら妻が行う	1. もっぱら妻が行う
2. 主に妻が行うが、夫も手伝う	2. 主に妻が行うが、夫も手伝う
3. 妻も夫も同じように行う	3. 妻も夫も同じように行う
4. 主に夫が行うが、妻も手伝う	4. 主に夫が行うが、妻も手伝う
5. もっぱら夫が行う	5. もっぱら夫が行う

【母親】

理 想	現 実
1. もっぱら妻が行う	1. もっぱら妻が行う
2. 主に妻が行うが、夫も手伝う	2. 主に妻が行うが、夫も手伝う
3. 妻も夫も同じように行う	3. 妻も夫も同じように行う
4. 主に夫が行うが、妻も手伝う	4. 主に夫が行うが、妻も手伝う
5. もっぱら夫が行う	5. もっぱら夫が行う

問27 あて名のお子さんの誕生から現在まで、父親は育児・家事のどの分野で参加してきましたか(参加していますか)。育児・家事それぞれのあてはまる答えの番号にすべてに○をつけてください。

【育児】

1. お風呂に入れる	2. 遊び相手をする
3. ご飯を食べさせる	4. おむつ替え
5. 寝かしつける	6. 保育所などの送迎
7. 妻の労をねぎらう	8. 妻からの子育ての相談にのる
9. 運動会など保育所等行事への参加	10. 病気の時の通院
11. ほとんど何もしていない	12. その他 ()

【家事】

1. ゴミ出し	2. 日常の買い物
3. 部屋の掃除	4. 洗濯
5. 料理	6. 風呂洗い
7. 食後の片付け	
8. その他 ()	

問28 父親は、週平均で育児・家事に関して一日にどのくらい参加していますか。

【平日】数字を直接ご記入してください

育児	一日あたり	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分
家事	一日あたり	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分

【休日】数字を直接ご記入してください

育児	一日あたり	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分
家事	一日あたり	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分

問29 父親の子育てへの参加の割合が低い理由は何だと思えますか。あてはまる答えの番号に**2つまでに**○をつけてください。

1. 仕事で子育てをする時間がとれないから
2. 「子育ては女性の仕事」と考えているから
3. 子育て参加を後押しする行政支援が少ないから
4. 子育ては面倒くさいと考えているから
5. その他（ ）

問30 父親の子育てへの参加を進めるために必要なことは何だと思えますか。あてはまる答えの番号に**3つまでに**○をつけてください。

1. 長時間労働の是正
2. 勤務体系の多様化
3. 休暇の取得促進
4. 職場の理解
5. 社会全体の気運醸成
6. 乳児健診等の休日実施など参加しやすい行政サービス
7. 男性トイレのおむつ替え設備など子育てしやすい環境整備
8. 男性自身の意識改革（子育ての楽しさや大変さへの理解）
9. わからない
10. その他（ ）

4 子育て支援策の評価・期待

問3 1 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。サービスごとに、A、B、Cの「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービスの種類	A 知っている	B 利用している 利用したことがある	C 今後も利用したい 必要時に利用したい
①おおいた子育て応援パスポート※ ³	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
②おおいた子育てほっとクーポン※ ⁴	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③地域子育て支援拠点	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④ファミリー・サポート・センター※ ⁵	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤児童館※ ⁶	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥保育所や幼稚園の園庭開放等	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦病児保育※ ⁷	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧一時預かり※ ⁸	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑨いつでも子育てほっとライン※ ⁹	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑩乳児家庭全戸訪問※ ¹⁰	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑪ショートステイ※ ¹¹	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑫トワイライトステイ※ ¹²	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑬大分県こども救急電話相談※ ¹³	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑭県や市町村が発行している子育て情報誌	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑮県や市町村が開設している子育て支援サイト	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑯各保健センターで実施している母親学級、父親学級など	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑰各保健センターでの情報・相談サービス	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑱各地域公民館での家庭教育講座	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

※3 「おおいた子育て応援パスポート」とは、子育て中や妊娠中の方が、「子育て応援店」でパスポートを提示すると、お店・施設が独自に提供する商品の割引やサービスなど様々な特典が受けられる事業です。

※4 「おおいた子育てほっとクーポン」とは、3歳の誕生日の前日まで子育て支援サービスに使えるクーポンを出生時に市町村の子育て支援窓口で配布している事業です。

※5 「ファミリー・サポート・センター」とは、保護者の病気や買い物等の用事の際に地域の人たちが会員制で有料で子育てを助け合う制度です。

※6 「児童館」とは、健全な遊びを通して、子どもの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした施設です。

※7 「病児保育」とは、病気や病気の回復期で、保育所などでの保育が困難な子どもを病院などで預かることです。

※8 「一時預かり」とは、冠婚葬祭、保護者の育児疲れや病気等のため、一時的に家庭での子育てが困難になったときに子どもを保育所等で預かることです。

※9 「いつでも子育てほっとライン」とは、子育てに関する悩みを受け付ける県の電話相談。24時間365日相談に応じています。
(TEL 0120-462-110)

※10 「乳児家庭全戸訪問」とは、保健師や助産師等が生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育ての悩みや不安を聞き相談に応じたり、子育て支援に関する情報を提供したりする事業です。

※11 「ショートステイ」とは、保護者の病気など一時的に家庭での子育てが困難になったときに、児童養護施設などにおいて保護を行うことです。(原則7日以内)

※12 「トワイライトステイ」とは、保護者が仕事などで平日の夜間または休日に不在となり家庭での子育てが困難になった場合等に、児童養護施設などで預かることです。

※13 「大分県こども救急電話相談」とは、こどもが病気やケガで心配なときや、病院へ行った方が良いかどうか判断に迷ったときなどに、看護師が相談に応じる県の電話相談。受付時間：月曜日～土曜日は午後7時から翌朝8時まで、日曜・祝日は、午前9時から午後5時までと午後7時から翌朝8時までです。
(TEL #8000または097-503-8822)

問37 子育て支援施策に関するご意見やその他のご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入下さい。



**お手数ですが、今一度記入漏れがないかご確認ください。
ご協力ありがとうございました。**

平成31年1月発行

「子ども・子育て県民意識調査」

発行 大分県福祉保健部 こども未来課

〒870-8501 大分市大手町 3-1-1